

2018 年度
年 報



巻 頭 言

令和の時代が始まりました。

「令和」とは万葉集から出典され、「人々が美しい心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。私達、福井厚生病院もそうでありたいと願っています。

さて、近年は「働き方改革」で時間外労働の短縮が求められるとともに医療スタッフへのより優しい職場環境作りが重要になっています。医療を提供する側がより良い環境で仕事をできるようにすることで、患者さまへより優しい癒しの対応ができるようにしていかなければならないと思います。その一方、引き続き、2025年に向けての病床数削減方針と、そのために地域包括ケアシステムを充実させて医療・介護の密接な連携により患者さまが自宅などで住み続けられる「地域完結型」の医療を充実させていくことも重要な目標です。

2018年度を振り返りますと、4月に診療報酬と介護報酬の同時改定があり、また周囲の病院の新築や常勤医の退職の影響で福井厚生病院にとっては厳しい年でありました。外来患者数は-3.3%、入院延人数も対前年-4.2%と減少しました。費用節減などに加え、7月よりストレスケア科の病床数を50床から41床に減らして総病床数を208床から199床に削減し、より患者対応の向上を目指すとともに、外来での特定疾患指導管理料を算定することにより診療単価を増加させるなどの対策にて黒字を確保している現状です。

医師の異動に関しては4月に細川元男副部長が退職され、整形外科医が古澤修章部長の一人体制となり、至緊の補充が必要になっています。4月に内山崇医長が救急・総合診療科に、多田朋子医長が形成外科に着任され、今後の活躍に期待しております。

引き続き新棟の建築に向けて、全国各地の同規模の新築病院（新小山市民病院、稲沢市民病院、JCHO大阪病院、桜十字病院）の見学を行い、病院のコンセプト、外来や病棟構成などについて検討を重ね、基本設計がまとまりました。ユーアイ・ふくいの向かい側の駐車場に延床面積12,500m²、地上3階建て、199床の新病院で、2019年度に入ってから実施設計の段階に入りました。7月にはその実施設計に協力していただく建築業者選定の公告をホームページに掲載、2019年度末の建築確認に向けて作業を進めています。スタッフ一人ひとりが働いていることを誇りに思い、また、当病院の機能・役割を今一度確認し、皆の思いが調和した病院にしたいと思います。

新病院を核として充実した医療・介護・健診部門を有機的に発展させて、急性期機能を高めつつ、訪問診療や訪問看護、訪問リハビリなど患者宅への訪問を積極的に行い、より地域の方々が安心して生活できるように支援する「地域完結型の医療」に貢献できるよう取り組みを進めていきます。

今後の病院の向かうべき方向を確かめながら、新棟建設を目標に力を結集していきたいと思っています。今後とも、皆さま方のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

福井厚生病院
院長

羽場利博

理念

患者さまのため、まごころをこめて
良質の医療と保健・福祉のサービスを
提供します。

基本方針

良質の医療を提供します

患者さまの権利を尊重します

患者さまにやさしく誠実に接します

患者さまが安らげる環境作りを目指します

福井厚生病院 2018 年度 年報 目次

■ 巻頭言

■ 理念・基本方針

■ 目次

01 年間行事表

02 沿革

06 施設概要

10 組織図

12 関連施設

13 学会別指導医・専門医・認定医等資格一覧

16 委員会

20-33 学会・講演・研究発表等

診療部

院内研究発表会

院内勉強会

コメディカル

講演・講師協力依頼

実習・見学受入れ

34-49 患者統計

診療科別 外来患者数推移

年齢別 外来患者数内訳

年齢別 入院患者数内訳

ICD-10 による疾病統計

がん統計

地域別 外来患者数内訳

地域別 入院患者数内訳

外来・入院患者人口比率

ICD-10 による死因統計

救急搬送患者疾病別内訳

50-97 診療状況等

内科

消化器・一般外科

透析センター

整形外科

婦人科

看護部

画像課

栄養課

臨床工学課

健康増進センター

循環器科

消化器内科

ストレスケアセンター

放射線科

形成外科

リハビリ課

検査課

薬剤課

医療連携センター

介護事業部

年間行事表

4 月	2 日	入社式 入職 41 名（正社員 37 名、契約職員 1 名、パート 3 名）
	2～3 日	新入オリエンテーション
5 月	11 日	看護展
	26 日	第 55 回定時社員総会・理事会
8 月	2 日	医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入検査〔福井県福井保健所〕
	21～25 日	看護補助者・介護プチ体験会（高校生向け）
	25 日	第 20 回夏祭り
10 月	26 日	避難訓練
11 月	22 日	精神科病院に対する実地審査
12 月	1 日	医療連携勉強会
	18 日	クリスマス会
1 月	4 日	年賀式
2 月	19 日	適時調査
3 月	23 日	病院・施設見学会
	30 日	第 56 回定時社員総会・理事会

沿革

福井厚生病院関連

年	月日	内 容
1983	4	福井厚生病院開設 50 床
	8	30 床増床 計 80 床
1984	8	57 床増床 計 137 床
1986	4	基準看護・基準給食・基準寝具の認可
	10	基準看護特Ⅰ類の認可
1987	8	在宅酸素療法指導管理の認可
		管理棟・リハビリ室落成
1988	1	運動療法の実施の認可
	8	総合病院の認可
1989	11	MRI 装置の設備
1990	2	作業療法の実施の認可
		救急病院に認定
	6	福井工大付属 福井高校准看護実習開始
1991	5	医療法人 厚生会 設立
	12	基準看護特Ⅱ類の認可
1992	4	加算入院時医学管理料算定の認可
	11	人工腎臓透析用灌流液の水処理加算の認可
1993	3	新館完成 精神科病棟落成 (50 床増床 計 187 床)
	5	院内託児所「いちごルーム」開設
	7	職員寮「ファミリー厚生」落成
	8	精神科デイ・ケア（小規模）の認可
		特別管理給食加算の認可
1994	3	薬剤管理指導料の認可
	8	精神科デイ・ケア（大規模）の認可
	10	新看護（3：1（A）看護・10：1 看護補助）の認可
1995	10	外来部門増築リニューアル

年	月日	内 容
1995	10	内視鏡センター開設
1996	6	院内感染防止対策の施設基準の認可
1998	4	ペースメーカー移植術の施設基準の認可
	5.1	院外処方箋発行
	10.1	新看護（3：1（A）看護・10：1 看護補助、平均在院日数 60 日以内）の認可
1999	5.1	大動脈バルーンパンピング法等にかかる施設基準の認可
	5	南館完成（精神デイ・ケア移設）
	7.3	3B 病棟完成
	8.1	21 床増床 187 床→208 床
	10.1	看護体系変更 一般病床 3：1（A）→2.5：1（A）
2000	2.1	療養型病床群 環境加算 8 床の認可 (医療保険適用 4 床・介護保険適用 4 床)
		一般病床 140 床、精神 50 床、特例老人病床 10 床、療養型病床 8 床 計 208 床
2001	1.1	健康増進課 敦賀営業所開設
	4.1	OP 中材設備リニューアル
	8.1	日帰り手術センター 産科センター開設
	9.1	診療支援管理室開設
2002	1.31	MRI 更新（北陸初フィリップス社製 1.5T）
	4.1	循環器科開設
		言語聴覚療法Ⅱの認可
	10.1	医療安全管理体制実施の認可
2003		褥瘡対策体制整備の認可
	1.1	診療録管理体制加算の認可
	5.1	特殊 MRI 撮影の認可
	7.1	一般病床 150 床、精神 50 床、療養型病床 8 床 計 208 床
2004	9.1	画像診断管理加算 1 の認可
	1.1	画像診断管理加算 2 の認可

年	月日	内 容
2004	1.13	外来処置室 リニューアル
	4.1	褥瘡患者管理加算の認可
	7	睡眠外来開始
	8.1	診療時間変更届出 月～金 8：30～19：00 土 8：30～17：00 日・祭 9：00～12：30
	8	不整脈外来開始
	10	肝臓外来開始
2005	1.1	検体検査管理加算Ⅰの認可
	1	総合外来（17：00～19：00）開始
	2	亜急性期病床（10床）の認可
	5	16列マルチスライス CTを導入
	7	日本医療機能評価機構認定
	10	亜急性期病床（10床→14床）へ病床数変更
	12末	診療科目変更：産科閉鎖
2006	2	診療科目変更：胃腸科追加
	4	一般病棟入院基本料 10：1、 精神病棟入院基本料 15：1 の認可 診療科目変更：神経科、精神科→精神科 診療科目変更：神経内科追加 脳血管疾患等・運動器・ 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）の認可 栄養管理実施加算の認可
	6	診療科目変更：産婦人科→婦人科
	6.1	一般病床 42床休止
	6.8	指定介護療養型医療施設（8床）辞退
	4.1	精神科作業療法の認可
		精神科ナイト・ケアの認可
	5.1	特殊 CT 撮影および特殊 MRI 撮影の認可
2007	4.1	精神科作業療法の認可
		精神科ナイト・ケアの認可
	5.1	特殊 CT 撮影および特殊 MRI 撮影の認可
2008	1.1	診療科目変更：眼科閉鎖
	2.1	検体検査管理加算Ⅱの認可 病棟再編 3F 病棟→3A・3B 病棟復活 一般病床休止 42床→38床
	4.1	診療科目変更：脳神経外科閉鎖

年	月日	内 容
2008	4.1	診療科目変更：乳腺外科追加
	4	福井県エイズ基幹病院に認定
2009	1	病棟再編 3A・3B・4F 病棟：10床復活 一般病床 130床・精神 50床稼働 診療科目変更：リハビリテーション科追加
	4	「特例社団法人日本精神科看護技術協会 精神科認定看護師 認定看護師教育機関」認定
	6	一般病棟入院基本料（10：1）の受理 （一般病床 133床（3床増）増床）
2010	1	診療科目変更：麻酔科追加
	3	中棟稼働（健診センター・透析センター）
	4	「日本老年医学会 認定施設」に認定
	6	2A 病棟 37床稼働
	8	回復期リハビリテーション病棟開設 32床稼働
2011	1	日本医療機能評価機構認定
	1.4	専門夕診開始
	5	診療科目変更：形成外科追加
	10	電子カルテ稼働
2012	1	整形外科診察室リニューアル 血管造影室新設 心臓カテーテル装置増設
	2	208床稼働
	4	院長交代（山本 誠→羽場 利博） 名誉院長就任（山本 誠）
	6	急性心筋梗塞救急搬送指定病院認定
	9	診療科目変更：脳神経外科追加
	11	診療科目変更：乳腺外科閉鎖
		MRI 装置増設（GE 社製 1.5T）
2013	3	CT 入替（GE 社製 64列マルチスライス）
	6.7	防犯カメラ設置
	8	胸部 X 線検診車を導入
	9.14	感謝の集い（ユアアイふくい）
	9.22	30周年記念式典（ユアーズホテル福井）

年	月日	内 容
2013	12.9	自動精算機を導入
2014	6	褥瘡ラウンドへの外部専門看護師 (認定看護師) の介入開始
		院内託児所「みつばちルーム」開設
	7	亜急性期病床の廃止、一般病床へ変更
	10	透析監視装置の入替
2015	3	職員寮「La Mer」落成
	4.1	理事長交代 (林 好孝→林 譲也)
	7	日本医療機能評価機構認定
	9	新規胸部 X 線検診車を導入
	12	診療日変更：日曜日、祝祭日を休日扱いとする
2016	4	診療科目変更：小児整形外科追加
	8	地域包括ケア病棟開設 43 床稼動
	12	診療科目変更：眼科追加
2017	2	眼科リニューアル
	9	診療科目変更：内分泌代謝内科→内分泌・代謝・糖尿病内科
2018	3	ふくいメディカルネット開示医療機関として参画
	4.1	診療科目変更：外科→消化器・一般外科
		診療科目変更：胃腸科→消化器内科
		「しあわせ元気リハ」開設
	7.20	精神科病棟 9 床減床 計 199 床
2019	3	厨房施設落成

介護事業部関連

年	月日	内 容
1992	6	訪問看護ひまわりステーション開設
1993	4	福井厚生病院在宅支援センター開設
	8	福井厚生病院ホームヘルプ事業開設
1994	5	訪問看護ステーション美山開設
1997	2	訪問看護さくらステーション 大野市に開設
1999	10.1	介護支援事業所 5カ所開設 (病院 1、ステーション 4)
2000	1.1	通所リハビリセンター開設 (1単位 4月以降 2単位)
	4.1	西館完成 ホームヘルプ事業開始
2001	1.1	通所リハビリセンター3単位に拡張
2003	1.1	ほほえみネットワークさくら 大野市に開設
2004	10.1	ナーシングケアひまわり福井市浅水町に開設
2005	12	デイサービスほっと館みやま開設
2006	3	ほほえみネットワークさくら増築
	10.4	小規模多機能型居宅介護 「ほっと館みやま」に名称変更
2007	4.1	管理棟 (旧ツーリング眼鏡) 使用開始 (1F 西: 介護事業部事務所・3F 東: デイ・ケア)
2010	5	グループホーム匠 福井市灯明寺に開設
2012	10	ぶる〜夢森目 大野市森目に開設
2013	4.1	すまいる・厚生 福井市下馬に開設
		小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわり 福井市下馬に開設
		グループホームさくら日和 大野市に開設
2016	3.31	小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわり廃止
		福井中央包括支援センター委託終了
	4.1	看護小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわり開設
		訪問看護ステーション あったかホームひまわり開設
2017	3.31	訪問看護ステーション美山廃止
	4.1	訪問看護ひまわりステーション 美山サテライト開設
2018	10.1	中央在宅介護支援事業所休止

年	月日	内 容
2019	3.31	中央在宅介護支援事業所廃止

施設概要

所在地	〒918-8537 福井県福井市下六条町 201 番地		
T E L	0776-41-3377 (代表)	F A X	0776-41-3372
U R L	http://www.koseikaigroup.jp/hospital/		
標榜科目	内科 呼吸器内科 内分泌・代謝・糖尿病内科 腎臓内科 循環器内科 消化器・一般外科 消化器内科 心臓血管外科 神経内科 精神科 脳神経外科 整形外科 小児整形外科 形成外科 麻酔科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 リハビリテーション科		
面積	敷地面積 18,719.71 m ²	建築面積 8,189.77 m ²	延面積 17,222.22 m ²
看護形態	一般 10 : 1	地域包括 13 : 1	回復期 15 : 1 精神 15 : 1
管理者	院長 羽場 利博		
開設	1983 年 4 月 1 日		
許可病床	199 床		

施設認定資格

- 日本医療機能評価機構認定 一般病院 I ・リハビリテーション病院 (副) ・精神科病院 (副)
- 日本内科学会 認定医制度教育関連病院
- 日本外科学会 外科専門医制度修練施設
- 日本消化器内視鏡学会 指導施設
- 日本消化器外科学会 専門医制度指定関連施設
- 卒後臨床研修協力施設
- 日本消化器がん検診学会 認定指導施設
- 日本栄養療法推進協議会 NST 稼動施設認定
- 糖尿病学会認定教育施設
- 日本人間ドック学会 指定病院
- 日本精神科看護技術協会 認定看護師教育機関
- 日本循環器学会 循環器専門医研修施設
- 日本消化器病学会 認定施設
- 日本整形外科学会 専門医制度による研修施設
- マンモグラフィ (乳房エックス線写真) 検診施設
- 日本がん治療認定医機構 認定研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼動施設
- 日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士認定教育施設
- THP の労働者健康保持増進サービス機関

診療指定

- 保険医療機関
- 生活保護法指定医療機関
- 労災指定 救急指定病院
- 労災保険二次検診等給付医療機関
- 生活習慣病検診実施機関
- 国保療養取扱期間
- 指定自立支援医療機関 (育成医療・更正医療)
- 指定自立支援医療機関 (精神通院医療)
- 二次救急指定病院
- 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
- 結核予防法指定医療機関
- 精神保健福祉法指定医療機関
- 身体障害者福祉法指定医療機関
- 特定疾患認定医療機関
- 難病医療協力病院

施設基準

- 一般病棟入院基本料 急性期一般入院料 10 : 1
25 対 1 急性期看護補助体制加算
夜間 100 対 1 急性期看護補助体制加算
夜間看護体制加算
- 精神病棟入院基本料（15 対 1）
精神保健福祉士配置加算
- 看護配置加算
- 看護補助加算 1
- 療養環境加算
- 診療録管理体制加算 1
- 医師事務作業補助体制加算 2 30 : 1
- 精神科身体合併症管理加算
- 医療安全対策加算 1
- 感染防止対策加算 1
抗菌薬適正使用支援加算
感染防止対策地域連携加算
- 精神科救急搬送患者地域連携受入加算
- 総合評価加算
- 後発医薬品使用体制加算 2
- データ提出加算 2（200 床未満）
- 入退院支援加算
入院時支援加算
- 認知症ケア加算 2
- 精神疾患診療体制加算
- 回復期リハビリテーション病棟入院料 3
休日リハビリテーション提供体制加算
- 地域包括ケア病棟入院料 1
看護職員配置加算
看護補助者配置加算
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- ニコチン依存症管理料
- がん治療連携指導料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- 薬剤管理指導料
- 地域連携診療計画加算
- 検査・画像情報提供加算
および電子的診療情報評価料
- 医療機器安全管理料 1
- 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料
遠隔モニタリング加算
- 持続血糖測定器加算および
皮下連続式グルコース測定
- HPV 核酸検出および
HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- 検体検査管理加算（Ⅱ）
- 心臓カテーテル法による諸検査の
血管内視鏡検査加算
- 時間内歩行試験
- ヘッドアップティルト試験
- コンタクトレンズ検査料 1
- 画像診断管理加算 2
- CT 撮影および MRI 撮影
- 冠動脈 CT 撮影加算
- 心臓 MRI 撮影加算
- 外来化学療法加算 2
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
注 5 に規定する施設基準
- 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
注 5 に規定する施設基準
- 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- がん患者リハビリテーション料
- 精神科作業療法
- 精神ショート・ケア「大規模なもの」
- 精神科デイ・ケア「大規模なもの」
- 精神科ナイト・ケア
- 医療保護入院等診療料
- 人工腎臓
慢性維持透析を行った場合 1
導入期加算 1
透析液水質確保加算
および慢性維持透析濾加算

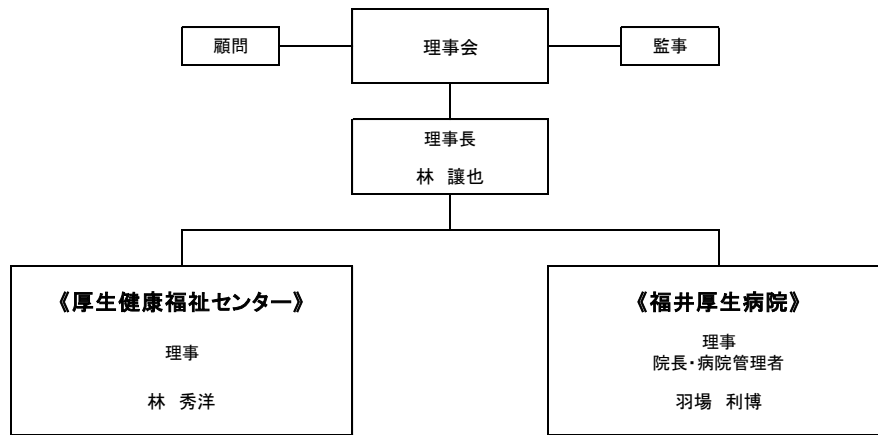
- 食道縫合術、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻閉鎖術、胃瘻閉鎖術、小腸瘻閉鎖術、結腸瘻閉鎖術、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術、尿管腸瘻閉鎖術、膀胱腸瘻閉鎖術および腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
- ペースメーカー移植術およびペースメーカー交換術
- 大動脈バルーンポンピング法（IABP 法）
- 医療点数表第 2 章第 10 部手術の 16 に掲げる手術
- 胃瘻造設術
- 輸血管理料（Ⅱ）
- 輸血適正使用加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料（Ⅰ）
- 保険医療機関間の連携による病理診断
- 入院時食事療養（Ⅰ）

職員数

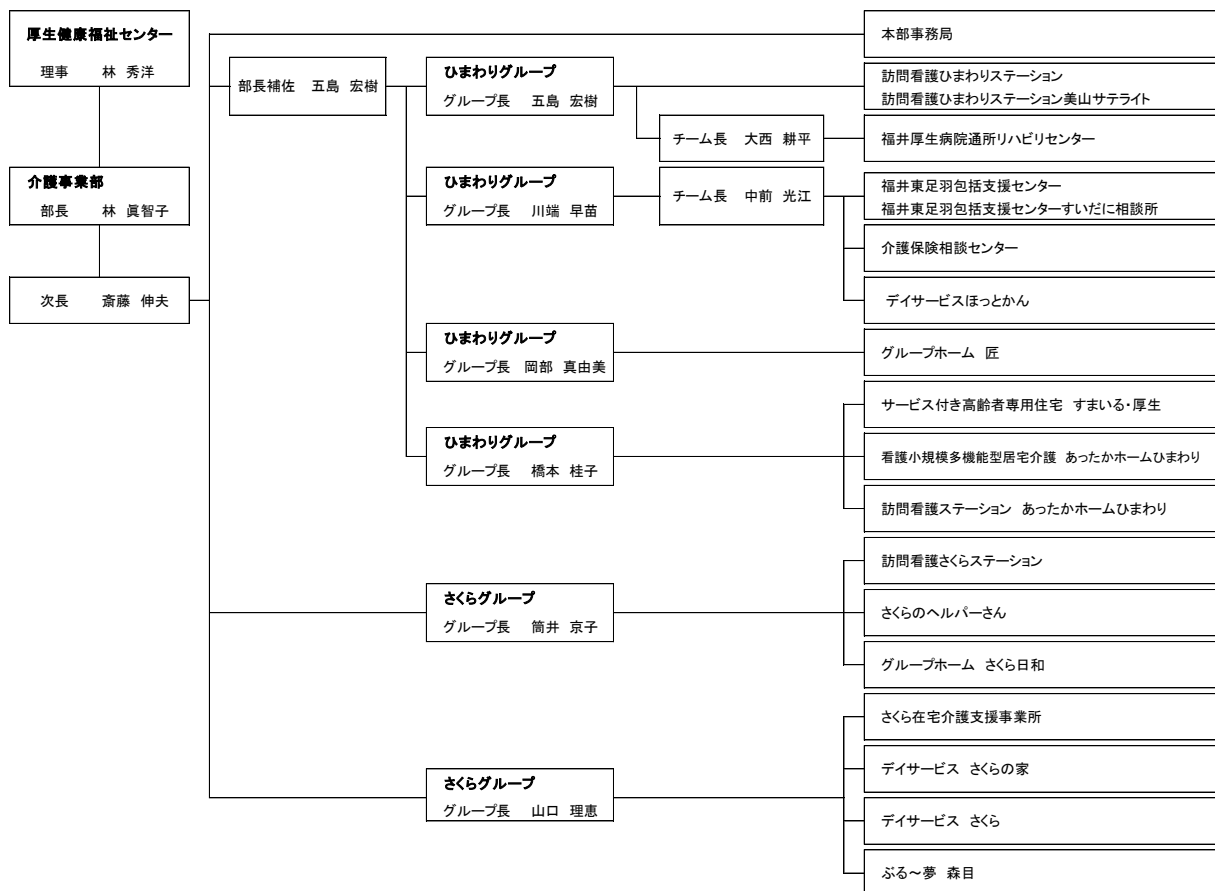
単位：人 （2019年3月31日現在）

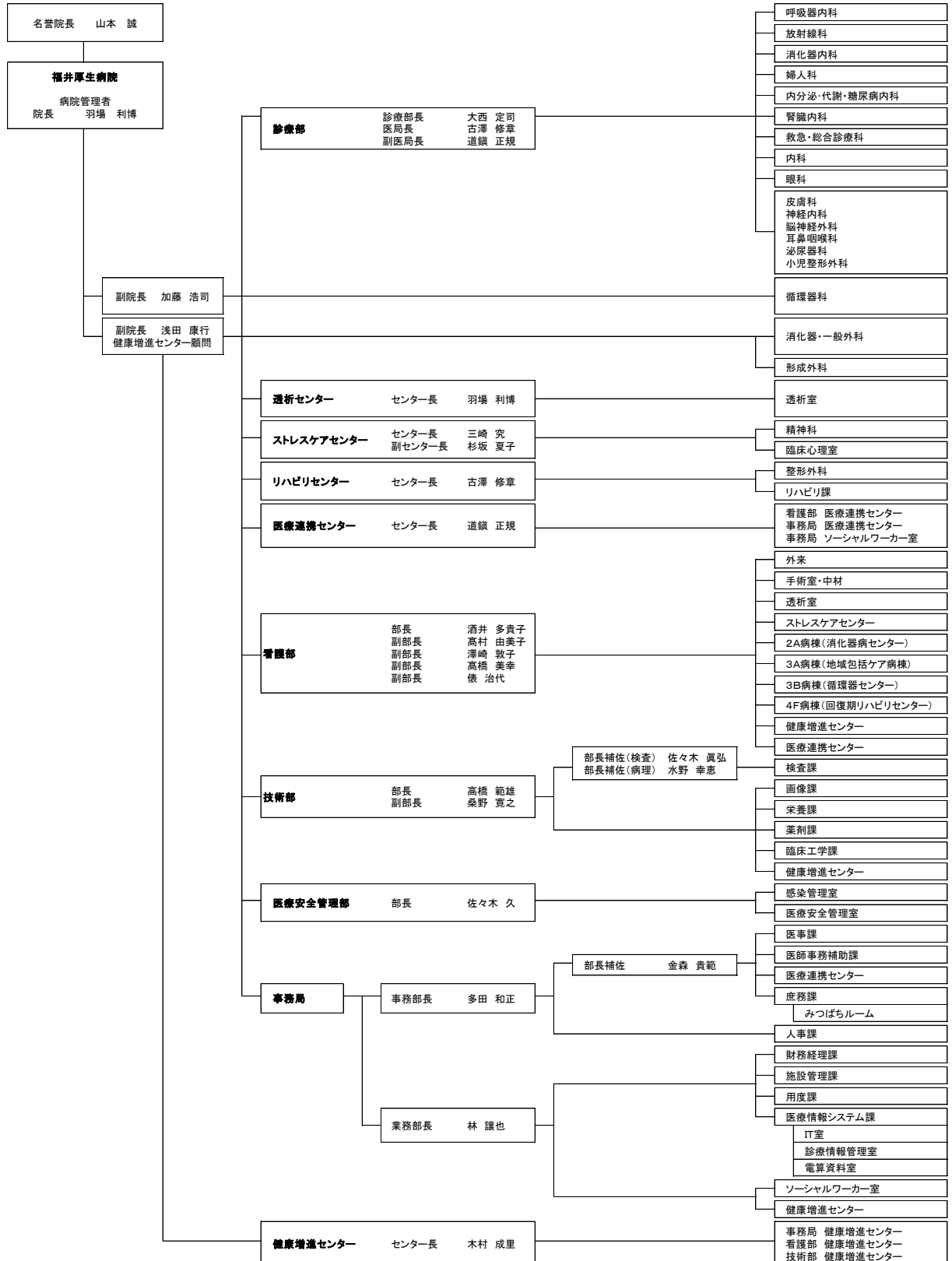
		常勤	非常勤	合計
役員	役員	3		3
診療部門	医師	27		27
看護部門	保健師	3		3
	看護師	145	25	170
	准看護師	11	6	17
	介護福祉士	14	2	16
	看護補助者	14	4	18
	事務	2		2
技術部門	薬剤師	7	1	8
	管理栄養士	4		4
	臨床工学技士	6		6
	診療放射線技師	18	1	19
	臨床検査技師	17	5	22
	理学療法士	39		39
	作業療法士	19		19
	言語聴覚士	3	1	4
	視能訓練士	1		1
	臨床心理士	5	1	6
	リハビリ助手		1	1
	事務	4		4
事務部門	精神保健福祉士	7		7
	社会福祉士	6		6
	事務	84	9	93
	施設管理士	8		8
	保育士	4	2	6
	保育補助者	1		1
介護事業部門	看護師	32	10	42
	准看護師	3	3	6
	管理栄養士	1		1
	理学療法士	9	1	10
	作業療法士	7		7
	言語聴覚士	1		1
	社会福祉士	1		1
	介護福祉士	58	19	77
	介護職	17	16	33
	事務	7	1	8
	その他職員	1	5	6
合計		589	113	702

組織図



厚生健康福祉センター 介護事業部（2019 年度～在宅医療部）





関連施設

■ひまわりグループ

施設・事業所名	郵便番号	住所	電話番号
介護事業部本部事務局	918-8135	福井市下六条町 217	0776-41-8300
福井厚生病院介護保険相談センター			0776-41-8020
訪問看護ひまわりステーション			0776-41-8484
福井厚生病院通所リハビリセンター			0776-41-4747
福井東足羽包括支援センター	918-8537	福井市下六条町 201	0776-41-4135
サービス付高齢者向け住宅すまいる・厚生	918-8112	福井市下馬三丁目 2302	0776-33-6517
看護小規模多機能型居宅介護			0776-33-6515
あったかホームひまわり			
訪問看護ステーション あったかホームひまわり			
看護小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわりサテライト	918-8135	福井市下六条町第7号26番地1	0776-41-4001
グループホーム匠	910-0063	福井市灯明寺四丁目 1706	0776-28-3232

■さくらグループ

施設・事業所名	郵便番号	住所	電話番号
訪問看護さくらステーション	912-0004	大野市中津川 32-33	0779-69-7090
さくらのヘルパーさん			
デイサービスさくらの家			
デイサービスさくら			0779-69-7236
看護小規模多機能型居宅介護			
あったかホームさくら			
さくら在宅介護支援事業所			0776-69-7762
グループホームさくら日和	912-0804	大野市森目 22-7	0779-69-7339
ぶる～夢森目			0779-66-7739

■みやまグループ

施設・事業所名	郵便番号	住所	電話番号
訪問看護ひまわりステーション 美山サテライト	910-2346	福井市梶谷町 12-9-2	0776-90-3838
デイサービスセンターほっとかん			
福井東足羽包括支援センター すいだに相談所			0776-90-3858

学会別指導医・専門医・認定医等資格一覧

日本内科学会	総合専門医	加藤 浩司 大西 定司 木村 記代 藤井 美紀 後藤 拓也 内山 崇 越野 繭子
	認定医	山本 誠 羽場 利博 加藤 浩司 大西 定司 道鎮 正規 東田 元 熊本 輝彦 藤井 美紀 後藤 拓也 松浦 宏之 内山 崇 越野 繭子
	教育関連病院指導医	山本 誠 羽場 利博 加藤 浩司 大西 定司 道鎮 正規 前川 直美 東田 元
日本肝臓学会	専門医	山本 誠
日本糖尿病学会	専門医	藤井 美紀 松浦 宏之
	研修指導医	藤井 美紀
日本血液学会	指導医	羽場 利博
	専門医	羽場 利博 越野 繭子
日本循環器学会	専門医	加藤 浩司 熊本 輝彦 後藤 拓也
日本呼吸器学会	専門医	大西 定司
日本外科学会	指導医	浅田 康行
	専門医・認定医	浅田 康行 木村 成里 佐々木 久
日本消化器外科学会	指導医・専門医・認定医	浅田 康行
	消化器がん外科治療認定医	浅田 康行
日本消化器病学会	指導医	山本 誠 浅田 康行 東田 元
	専門医	山本 誠 浅田 康行 道鎮 正規 東田 元
日本消化器内視鏡学会	指導医	浅田 康行 東田 元
	専門医	山本 誠 浅田 康行 道鎮 正規 東田 元 内山 崇
日本消化器がん検診学会	指導医	浅田 康行
	総合認定医	浅田 康行
	認定医	浅田 康行 木村 成里
日本静脈経腸栄養学会	認定医	浅田 康行
	TNT	浅田 康行 道鎮 正規 前川 直美 木村 成里 佐々木 久 内山 崇
日本救急医学会	専門医	後藤 拓也 内山 崇
日本集中治療医学会	専門医	後藤 拓也
日本プライマリ・ケア 連合学会	指導医	内山 崇
	認定医	内山 崇
日本精神神経学会	精神科専門医	三崎 究 杉坂 夏子
日本睡眠学会	睡眠医療認定医	三崎 究

日本総合病院精神医学会	指導医・専門医	三崎 究
日本整形外科学会	専門医	古澤 修章
	リウマチ医	古澤 修章
	スポーツ医	古澤 修章
日本整形外科学会	脊椎脊髄病医	古澤 修章
	運動器リハビリテーション医	古澤 修章
日本リウマチ学会	専門医	古澤 修章
日本医学放射線学会	専門医	高橋 範雄
日本超音波医学会	専門医	加藤 浩司
	指導医（循環器）	加藤 浩司
日本臨床内科医会	専門医	山本 誠 前川 直美
	認定医	山本 誠 前川 直美 内山 崇
日本内分泌学会	内分泌代謝科指導医	藤井 美紀
	内分泌代謝科（内科）専門医	藤井 美紀
日本腎臓学会	専門医・指導医	木村 記代
日本透析医学会	専門医	木村 記代
日本形成外科学会	専門医	多田 朋子
日本眼科学会	専門医	河野 伸二郎
日本乳がん検診 精度管理中央機構	読影認定	木村 成里 佐々木 久 銅 愛
日本産科婦人科学会	専門医	福岡 哲二 銅 愛
	認定医	福岡 哲二
日本人間ドック学会	認定施設指導医・専門医	山本 誠 木村 成里
	認定医	山本 誠 羽場 利博 木村 成里 岡村 誠太郎
ICD 制度協議会	人間ドック健診情報管理指導士	前川 直美 木村 成里
	インфекションコントロールドクター	大西 定司
日本医師会	認定産業医	前川 直美 木村 成里 岡村 誠太郎 熊本 輝彦 銅 愛 内山 崇
	認定健康スポーツ医	古澤 修章 前川 直美
日本病院会	医療安全管理者	佐々木 久 内山 崇
福井県医師会	母体保護法指定医	福岡 哲二

その他

身体障害者福祉法指定医	山本 誠	羽場 利博	加藤 浩司
	浅田 康行	大西 定司	古澤 修章
	道鎮 正規	三崎 究	前川 直美
	木村 成里	東田 元	佐々木 久
	熊本 輝彦	木村 記代	藤井 美紀
	後藤 拓也	松浦 宏之	内山 崇
	河野 伸二郎		
福井大学医学部臨床教授	加藤 浩司		
福井県臨床研修指導医	前川 直美		
精神保健指定医	三崎 究	杉坂 夏子	
がん治療に携わる医師を対象とした 緩和ケアに関する研修修了	羽場 利博	大西 定司	道鎮 正規
	東田 元	佐々木 久	杉坂 夏子
	内山 崇		
眼瞼痙攣・片側顔面痙攣 ボトックス 講習・実技セミナー終了	河野 伸二郎		
厚生労働省認定 DMAT 隊員	内山 崇		
厚生労働省認定 麻酔科標榜医	内山 崇		
JPTEC 協議会認定 JPTEC インストラクター	内山 崇		
日本外傷診療研究機構認定 JATEC プロバイダー	内山 崇		
周産期医療支援機構認定 BLSO・ALSO プロバイダー	内山 崇		
1 day MIMMS コース終了	山本 誠		

委員会

法令に基づく委員会

労働安全衛生委員会	職員の危険防止、健康障害の防止および健康の保持増進を図る。	医療ガス安全管理委員会	医療ガス設備の安全管理を図り、患者、利用者、職員の安全を確保する。
防火管理委員会	防火・防災業務の適正な運営を図り、患者、利用者、職員の安全を確保する。	個人情報保護管理委員会	個人情報の保護に関する法律第20条に定める個人データの安全管理措置の一環として、個人情報保護の推進を図る。
輸血療法委員会	輸血に関する適応・管理・事故や合併症等を検討し、適切な輸血療法を推進する。		

診療報酬の算定に基づく委員会

医療安全管理委員会	医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。	セーフティマネジメント委員会	事故の原因分析や事故防止の具体策等について調査・検討し、迅速に職場にフィードバックする。
院内感染防止対策委員会	院内感染の予防および感染症発生時における適正な処理を図る。	ICT委員会	感染症発症と予防に関し、医療安全管理部 感染管理室が企画立案した院内感染対策の実施・評価・報告を行う。
NST委員会	患者に適切な治療を行うため、医療行為の基本である栄養療法について理解を深める。	栄養委員会	栄養管理業務の円滑化と充実を図る。
褥瘡対策委員会	院内で確認される褥瘡患者への対策を的確に推進することおよび褥瘡発生防止に努める。	臨床検査適正化委員会	臨床検査を適正かつ円滑に遂行するための検討を行う。

診療録管理委員会	病歴管理業務の円滑な運営を図る。診療録開示に積極的に応じ、また院内教育に利用できるよう整備、管理する。	DPC コーディング 委員会	DPC コーディングの適切性を図る。
精神科入院 処遇検討 委員会	入院治療を受ける患者の人権を守り、精神保健福祉法を遵守する。	医療機器 安全管理 委員会	医療機器にかかわる事故を防止し、安全かつ適切な医療を提供する。
透析機器 安全管理 委員会	透析液の製造、品質管理、透析機器設備に関する適正な管理および必要に応じた改善を行う。		

組織運営に関する委員会 <医療の質>

倫理委員会	医療行為および研究等に関する全般的事項について、倫理的観点等から審議する。	手術室運営 委員会	手術室の円滑な運営を図り、患者に安全な手術および麻酔の提供ができる体制を維持する。
個人情報 調査部会	個人情報の保護管理について、実施確認等を行う。	クリニカル パス委員会	医療の質と安全の保証、業務の効率性および在院日数短縮を図る。
糖尿病療養 指導委員会	糖尿病に関する正しい知識と情報を提供し、治療への姿勢を共に考え、合併症を防止するための動機づけの手法について協議する。	病床管理 委員会	病床の利用状況、入院患者の動向等を把握し、円滑な入退院、チーム医療の向上を図る。
サービス 向上委員会	患者サービスの向上ならびに職員間での節度ある対応と人間関係の調和を保つ。	業務改善 委員会	部門間・職種間の円滑な連携等の課題を検討し、業務改善および職種間の役割分担を推進する。
研修委員会	患者主体の対応、医療に関わる専門職として自己啓発および部門間連携を図るための相互理解と協働ができる人材の育成を目指し、職員への研修活動等を行う。	緩和ケア 委員会	外来・入院診療においてがん緩和医療の標準化を図る。

臓器・組織提供委員会	臓器の移植に関する法律に基づき、移植医療の適正な実施を図る。	循環器専門医研修管理委員会	循環器専門医研修カリキュラム達成のためその施設内容が適正であるかを検討し評価する。
------------	--------------------------------	---------------	---

組織運営に関する委員会 <経営>

SPD 委員会	診療材料の新規採用・試用・削除を決定し、材料の機能を保持しつつコスト低減により病院経営に資する。診療材料の円滑な管理およびコスト低減を図る。	薬事委員会	病院の医薬品の採用、医薬品の適正使用および管理を行う。
---------	--	-------	-----------------------------

組織運営に関する委員会 <その他>

ふれあいサービス委員会	職員の親睦と融和を図り、福利厚生の一環として各種行事の企画、運営を行う。また患者さま、地域の皆様との交流を図る企画、運営も推進する。	夏祭り実行委員会	夏祭りを継続的に企画・運営する。職員の福利厚生および交流を図る。地域との交流を図り、地域と病院との連携を密接にする。
-------------	--	----------	--

看護部 委員会

業務委員会	患者の安全を保障し、安心して療養生活を送れるよう、また医療技術の進歩と高度化に伴う看護業務の見直し、看護業務の整理、改善を推進する。	教育委員会	看護職員が期待される責務と役割を認識し、自己の能力を開発するための機会を企画・実践する。
記録委員会	診療録内の看護記録の適切な記載方法や関連する各書式の提案・作成、および監査を行い、看護の質を向上する。	感染予防リンクナース会	感染管理室の活動を支援し、患者や職員を感染から守り、安全な医療の提供のために活動を行うことを、より具体的・効率的に行う。
安全委員会	患者の安全を保障し、安心して療養生活を送れるよう、各部署で委員が中心となって活動する。	プリセプター委員会	プリセプターの役割を認識し、新人看護職員の OJT による指導、育成を効果的に実施する。

学会・講演・研究発表等

診療部	・ ・ ・ ・ ・ 20
コメディカル	・ ・ ・ ・ ・ 24
院内研究発表会	・ ・ ・ ・ ・ 26
講演・講師等協力依頼	・ ・ ・ ・ ・ 27
院内勉強会	・ ・ ・ ・ ・ 30
実習・職場体験等受入れ	・ ・ ・ ・ ・ 32

学会・講演・研究発表

診療部

国際・全国学会・地方会

開催日	学会名	演 題	発表者	開催地
5 月 24 日	第 61 回日本糖尿病学会 年次学術集会	GLUT9 (SLC2A9) 遺伝子多型と レニンアンジオテンシン系活性化に関する メンデルランダム化法による関連解析	○(此下 忠志) 藤井 美紀 (鈴木 仁弥) 他	東京都
		心筋 Perilipin2 の過剰発現は dynamic steatosis を誘発する	○(鈴木 仁弥) 藤井 美紀 (此下 忠志) (石塚 全) 他	
		SGLT2 (SLC5A2) 遺伝子多型と肥満度 指数の相関解析	○(浦邊 真知) 藤井 美紀 (鈴木 仁弥) (此下 忠志) 他	
		ATP binding cassette subfamily G member2 (ABCG2) 遺伝子多型と 糖尿病性腎症の関連解析	○(浦邊 真知) 藤井 美紀 (鈴木 仁弥) (此下 忠志) 他	
6 月 9 日	28th European Meeting on Hypertension and Cardiovascular Protection	Association study of uric acid transporter GLUT9 genotype with the renin-angiotensin system	○(此下 忠志) 藤井 美紀 (鈴木 仁弥) 他	スペイン
6 月 10 日	第 126 回日本消化器病学会 北陸支部例会	原発性肝類上皮血管内皮腫の 1 例	○大澤 武 東田 元 道鎮 正規 山本 誠 (原田 憲一)	福井県
7 月 14 日	第 65 回日本不整脈心電学会 学術大会	Dispersion Ablation Using a Novel Single Overlay Display of Multipolar Intracardiac Electrograms and Pulmonary Vein Isolation in Patients with Persistent Atrial Fibrillation	○加藤 浩司 宮永 大 後藤 拓也 羽場 利博 山本 誠	東京都
9 月 9 日	第 35 回日本臨床細胞学会 北陸連合会 学術集会	肝臓原発類上皮型血管内皮腫 (epithelioid hamangioendothelioma; EHE) の 1 例	○水野 幸恵 佐々木 久 浅田 康行 山本 誠 海崎 泰治 (寺畑信太郎)	福井県
9 月 14 日	第 41 回日本高血圧学会総会	SLC2A9 遺伝子多型と レニンアンジオテンシン系活性化に関する メンデルランダム化法による関連解析	○(此下 忠志) 藤井 美紀 (鈴木 仁弥) 他	北海道

開催日	学会名	演 題	発表者	開催地
2 月 14 日	第 52 回日本痛風・核酸代謝学会 総会	SLC2A9 遺伝子多型とレニンアンジオテン シン系活性化に関するメンデルランダム化 法による関連解析	○(此下 忠志) 藤井 美紀 他	東京都
3 月 17 日	第 237 回日本内科学会 北陸地方会	原発性胆汁性胆管炎経過中に 自己免疫性膵炎を発症した 1 例	○道鎮 正規 東田 元 松浦 宏之 藤井 美紀 内山 崇 木村 記代 大西 定司 越野 繭子 羽場 利博 山本 誠	石川県
3 月 29 日	第 83 回日本循環器学会 学術集会	Ablation Guided by Spatiotemporal Electrogram Dispersion Can Improve Cardiac Function in Patients Undergoing Pulmonary Vein Isolation for Persistent Atrial Fibrillation	○宮永 大 後藤 拓也 加藤 浩司	神奈川県
3 月 30 日		Mid-term Results of Ablation Guided by Spatiotemporal Electrogram Dispersion in Patients Undergoing Pulmonary Vein Isolation for Persistent Atrial Fibrillation	○加藤 浩司 宮永 大 後藤 拓也	神奈川県

注. () 内は他施設医師

研究会・講演会等

開催日	会 名	演 題	発表者	開催地
4 月 11 日	第 686 回福井県胃腸疾患懇話会	症例呈示	浅田 康行	福井県
5 月 18 日	福井第一医師会学術講演会	糖尿病治療の現状と今後の展望	藤井 美紀	福井県
7 月 11 日	第 688 回福井県胃腸疾患懇話会	症例呈示	佐々木 久	福井県
9 月 28 日	第 53 回福井肝癌研究会	肝外に発育した肝類上皮血管内皮腫の 1 例	○佐々木 久 木村 成里 浅田 康行 山本 誠 高橋 範雄 (濱中 英樹)	福井県
10 月 10 日	第 691 回福井県胃腸疾患懇話会	症例呈示	佐々木 久	福井県
11 月 21 日	第 552 回福井県内科臨床懇話会	原発性胆汁性胆管炎の経過中に急激な 肝機能障害を認めた一例	○道鎮 正規 東田 元 宮永 大 後藤 拓也 加藤 浩司 松浦 宏之 藤井 美紀 内山 崇 木村 記代 大西 定司 前川 直美 越野 繭子 羽場 利博 山本 誠	福井県

開催日	会 名	演 題	発表者	開催地
12 月 12 日	第 693 回福井県胃腸疾患懇話会	特別講演： 当院における内視鏡診療の現況～ H.pylori 陰性胃癌の症例を中心に～	○東田 元	福井県

注．（ ）内は他施設医師

座長・司会等

学会

開催日	学 会 名	担 当	担当者	開催地
8 月 18 日	第 9 回日本静脈経腸栄養学会北陸支部 学術集会	当番会長 特別講演 司会	浅田 康行 浅田 康行	福井県 福井県
2 月 14 日	第 34 回日本静脈経腸栄養学会 学術集会	一般演題（口演）座長	浅田 康行	東京都

研究会・講演会等

開催日	会 名	担 当	担当者	開催地
5 月 18 日	福井第一医師会学術講演会	座長	加藤 浩司	福井県
6 月 13 日	第 687 回福井県胃腸疾患懇談会	司会、ミニレクチャー	東田 元	福井県
8 月 3 日	Total Management of Atrial Fibrillation ～心房細動と心不全の合併を考える～	座長	加藤 浩司	福井県
11 月 8 日	福井第一医師会学術講演会	座長	加藤 浩司	福井県
12 月 12 日	福井第一医師会学術講演会	座長	加藤 浩司 藤井 美紀	福井県 福井県
1 月 26 日	福井県内科臨床懇話会	特別講演会 座長	藤井 美紀	福井県
2 月 8 日	福井第一医師会学術講演会	座長	三崎 究 加藤 浩司	福井県 福井県

著書・論文等

著書・誌名等	タイトル	著 者
痛風と尿酸・核酸 43(1): 19-24, 2019	がん化学療法に伴う腫瘍崩壊症候群と急性尿酸性腎症に関する後方 視的アンケート調査研究	○（大岩 加奈） （山内 高弘） 羽場 利博 （上田 孝典） 他
北陸公衆衛生学会誌 45(2): 27-36, 2019	HDL コレステロールの変動におよぼす生活習慣行動変容の影響 ー人間ドック健康診断における縦断的調査研究ー	○（竹越 忠美） 木村 成里 岡村誠太郎 山本 誠

著書・誌名等	タイトル	著 者
痛風と核酸代謝 42(1): 7-14, 2018	糖代謝障害の進展と血清尿酸値	○ (浦邊 真知) (埴山 沙織) (中屋 隆裕) (山田 実夏) (市川 麻衣) (佐藤さつき) (今川美智子) 藤井 美紀 (牧野 耕和) (銭丸 康夫) (鈴木 仁弥) (此下 忠志)

注. () 内は他施設医師

コメディカル
全国学会・地方会

開催日	学会名	演 題	発表者	開催地
5 月 27 日	第 12 回日本緩和医療薬学会年会	薬剤師増員による緩和ケア領域の開拓と介入した結果報告	○山田 憲和 野村 真里 藤原 洋介 中村 智子 吉川 知世 吉田 明弘	東京都
6 月 15 日	第 43 回日本精神科看護学会集	感情表出が困難な患者に対しての関係作りの手段	○坂本 真葉 山下 千鶴 大谷 基司	愛知県
7 月 8 日	日本病院薬剤師会 平成 30 年度 中小病院薬剤師実践セミナー	中小病院だからこそ取り組める徹底した調剤前監査システム ～ブレアボイド、抗菌薬適正使用、薬剤師教育への取り組み～	吉田 明弘	大阪府
8 月 18 日	第 9 回日本静脈経腸栄養学会 北陸支部学会集	神経性やせ症に対する経鼻栄養療法	明城摩利子	石川県
9 月 9 日	第 35 回日本臨床細胞学会 北陸連合会	肝臓原発類上皮型血管内皮腫の 1 例	○水野 幸恵 佐々木 久 浅田 康行 山本 誠 (海崎 泰治) (寺畑信太郎)	福井県
11 月 10 日	第 16 回日本神経理学療法学会 学術大会	当院回復期リハビリテーション病棟における高齢脳卒中患者の入棟時栄養障害と退棟時 ADL の予後予測	○中村 友美 桑野 寛之 天野 美鶴 (久保田雅史) (山村 修)	大阪府
11 月 17 日	第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会	切除不能であった肝臓原発類上皮型血管内皮腫の 1 例	○水野 幸恵 (海崎 泰治) (寺畑信太郎)	神奈川県
11 月 18 日	第 18 回東海北陸作業療法学会	当院地域包括ケア病棟のリハビリテーション介入における現状と課題	○高田 優衣 桑野 寛之 笠川 悟	福井県
2 月 22 日	日本環境感染学会	通所介護・介護予防通所介護施設におけるインフルエンザアウトブレイク 空気感染様態に広がったインフルエンザ	○中島 治代	兵庫県
		当院における尿培養検査における現状と取り組み	○高木結美果 中島 治代	兵庫県
		透析室における効果的な手指衛生指導	○森田 栄治	兵庫県
2 月 24 日	日本栄養改善学会北陸支部学術総会	回復期病棟における退院時自立を 目指した栄養指標について	○齋藤 祐衣 明城摩利子 吉岡 沙織 天野 美鶴	富山県

研究会

開催日	会 名	演 題	発表者	開催地
6 月 7 日	福井赤十字病院 連携実務担当者情報交換会	地域包括ケア病棟について	源甲斐幹江	福井県
8 月 26 日	福井県臨床工学技士会	当院の血液浄化業務における 臨床工学技士の現状と課題	○朝日 悠作 岸上 香織 渡邊 諒 清水 里海 中川 恭兵 吉崎 貴大	福井県
11 月 10 日	日本精神科看護協会 福井県支部看護研究発表会	精神科病棟患者の外出・外泊の正しい 服薬に向けての取り組み	○山根 祐子 澤田 菜緒	福井県
11 月 24 日	栄養食育研究会	回復期病棟における退院時自立を 目指した栄養指標について	○齋藤 祐衣 明城摩利子 吉岡 沙織 天野 美鶴	福井県
1 月 22 日	JHAstis 勉強会	ユーザー活用事例紹介	○金森 貴範 山本 拓史	東京都

著書・論文等

著書・論文名	タイトル	著 者
日本自殺予防学会	救急医療から地域へとつなげる自殺未遂者支援のエッセンス HOPE ガイドブック	下田 重朗

院内研究発表会

第Ⅰ群（開催日：2019年1月16日）

座長 事務局 金森 貴範

新人看護師におけるストレス実態の把握と その支援について（新人看護師に必要な支援とは）	3A 病棟	中野 謙吾・南 早紀・笹川 佳世
今までの看取り支援を振り返って ～すまいる・厚生での看取りのあり方～	すまいる・厚生	長谷川 達啓

第Ⅱ群（開催日：2019年1月18日）

座長 リハビリセンター 江川 健一

気管内挿管介助に強くなる ～急変時対応シミュレーション研修を通して～	3B 病棟	谷田 名留美・森下 恵・杉森 裕 高坂 佳織・木村 里美
当院におけるがんリハビリテーションの現状と 今後の課題	リハビリ課	林 慶祐
IP テスターの性能評価	臨床工学課	渡辺 諒

第Ⅲ群（開催日：2019年1月21日）

座長 介護事業部 五島 宏樹

災害時における自宅での食事管理について （透析患者の災害時の食料備蓄の現状をふまえて）	透析室	林 清美・山内 真弥
輸液ポンプの清掃前後における ATP+AMP の差異	臨床工学課	中川 恭兵
統合失調症患者の病識に関する傾向から 求められる支援	ソーシャルワーカー室	森島 豊

第Ⅳ群（開催日：2019年1月30日）

座長 看護部 熊野 直美

関節注射における手指衛生の遵守率向上のための 取り組み	外来	山田 由香・山本 康代 和田 美恵子
がん検診における追跡調査を開始して ～巡回健診部門～	健康増進センター	山川 智恵子

講演・講師等協力依頼

講義先	講 師	内 容
福井工業大学附属福井高等学校 衛生看護科	羽場 利博 古澤 修章 木村 記代 藤井 美紀 後藤 拓也 銅 愛	解剖生理学
	森川 裕美 岸上 香織	看護の統合と実践Ⅰ・医療安全
	林 眞智子 五島 宏樹	在宅看護論（目的論）
	天野 美鶴	食事療法
武生看護専門学校	森川 裕美	看護マネジメント 医療安全
福井健康福祉センター	杉坂 夏子	育児不安解消サポート事業「こあら広場」
坂井健康福祉センター	杉坂 夏子	育児不安解消サポート事業「ぺんぎんクラブ」

講演日	依頼元	会 場	講 師	内 容
5 月 26 日	福井県社会福祉協議会	福井県社会福祉センター	林 眞智子	高齢者支援展開論
5 月 29 日	医療法人雄久会 奥村外科胃腸科	うららの家	森川 裕美	医療安全対策について
5 月 29 日	福井赤十字病院	福井赤十字病院	源甲斐 幹江	第10回連携実務担当者情報交換会 話題提供者
6 月 21 日	杏林製薬株式会社	福井市地域交流プラザ AOSSA	大西 定司	気管支喘息治療の診断と治療について
6 月 25 日 ～ 27 日	福井県社会福祉士会	サンドーム福井	奥脇 由美	高齢者虐待防止関係職員研修会
6 月 28 日	福井県社会福祉協議会	嶺南地域福祉相談・介護 実習普及センター	森川 裕美	介護現場を守るリスクマネジメント
6 月 30 日	福井厚生病院	福井厚生病院	山本 誠	第 29 回肝臓病教室 ウィルス 性肝炎および脂肪肝の変遷
7 月 6 日	福井県社会福祉協議会	福井県自治会館	岡部 真由美	福井県介護支援専門員専門研 修・更新研修（経験者）過程Ⅱ ファシリテーター
7 月 12 日	福井県社会福祉協議会	福井県社会福祉センター	森川 裕美	介護現場を守るリスクマネジメント

講演日	依頼元	会 場	講 師	内 容
7 月 13 日	福井県社会福祉協議会	サンドーム福井	林 眞智子 岡倉 ちづ子	福井県介護支援専門員専門研修・更新研修（経験者）過程Ⅱ ファシリテーター
7 月 17 日	福井県社会福祉協議会	サンドーム福井	桑野 寛之 五島 宏樹	福井県介護支援専門員実務研修
7 月 19 日 20 日	福井県社会福祉士会	サンドーム福井	奥脇 由美	高齢者虐待防止関係職員研修会
7 月 26 日	福井県看護協会	福井県看護協会	森下 恵	「看護職への道」講演会
7 月 29 日	日本オストミー協会 福井県支部	福井市地域交流プラザ AOSSA	宮腰 心	高齢者のスキンケア
8 月 21 日 22 日	福井大学医学部	ホテルせくみ屋	内山 崇	福井県学生地域夏季研修 2018
8 月 24 日	丹南 精神保健福祉センター	丹南 精神保健福祉センター	山崎 利道	平成 30 年度障害者相談支援 連携に係る研修会
8 月 29 日	医療法人池慶会 池端病院	医療法人池慶会 池端病院	森川 裕美	身体拘束・虐待防止委員会 合同研修会
9 月 8 日 29 日 10 月 13 日	福井市医師会	県営陸上競技場	松浦 宏之	福井国体 出務協力
9 月 12 日	福井県社会福祉協議会	福井県自治会館	山原 香里	福井県介護支援専門員専門研修・更新研修（経験者）過程Ⅱ ファシリテーター
9 月 14 日	福井県社会福祉協議会	福井県自治会館	林 淳子	福井県介護支援専門員専門研修・更新研修（経験者）過程Ⅱ ファシリテーター
9 月 19 日	福井県看護協会	福井中央クリニック	宮腰 心	「スキン・ケア」について
9 月 29 日 ～10 月 9 日	福井しあわせ元気 国体・障害者スポーツ 大会実行委員会	福井市	看護部	各競技会場への看護師派遣
10 月 3 日	福井市医師会	福井県産業会館	山本 誠 古澤 修章	福井国体 出務協力
10 月 5 日	福井市医師会	福井市企業局	松浦 宏之	福井国体出務協力
10 月 13 日	福井市医師会	スポーツプラザ WAVE40	古澤 修章	福井国体出務協力
10 月 17 日	福井県福井健康福祉 センター	福井県福井健康福祉 センター	天野 美鶴	ふくい認知症予防メニュー 普及者育成研修会
11 月 4 日	国民健康保険織田病院	国民健康保険織田病院	内山 崇	ICLS 研修会 講師

講演日	依頼元	会 場	講 師	内 容
11 月 7 日	福井県社会福祉協議会	福井県自治会館	林 眞智子	福井県介護支援専門員専門研修・更新研修（経験者）過程Ⅱ ファシリテーター
11 月 17 日	福井第一医師会	ユー・アイふくい	山本 誠	第 15 回福井第一医師会 市民 公開講座「肥満から脂肪肝・肝 がんへ」
11 月 23 日	一般社団法人 ライフトレーニング	ユー・アイふくい	杉坂 夏子	摂食障害からの回復に向けて
12 月 1 日	福井厚生病院	福井厚生病院	山本 誠	第 30 回肝臓病教室 肝炎・肝が んの治療
12 月 5 日	福井県看護協会	福井中央クリニック	中島 治代	専門・認定看護師出前講座
12 月 6 日	福井県社会福祉協議会	福井県自治会館	川端 早苗	福井県介護支援専門員専門研 修・更新研修（経験者）過程Ⅱ ファシリテーター
12 月 6 日	医療法人健康会 嶋田病院	嶋田病院	中島 治代	医療関連感染防止に関する 研修会
12 月 7 日	福井県看護協会	特別養護老人ホーム 宝珠苑	宮腰 心	ポジショニングと圧抜きの効果
1 月 17 日	福井県 介護支援専門員協会	サンドーム福井	山口 理恵	平成 30 年度福井県 介護支援専門員研修 指導者
2 月 14 日	福井県福井健康福祉 センター	福井健康福祉センター	中島 治代	結核患者に対する コホート検討会
2 月 19 日	福井県社会福祉協議会	福井県産業会館	桑野 寛之 五島 宏樹	福井県介護支援専門員実務研修
2 月 27 日	福井県消防学校	福井県消防学校	内山 崇	平成 30 年度専科教育「救急科」

院内勉強会

開催日	主 催	内 容	講 師
4 月 27 日	NST 委員会	低栄養～サルコペニアからリフィーディング症候群まで～	栄養課 明城 摩利子
5 月 24 日	NST 委員会	検査値の見方	検査課 小木 友実
6 月 4 日 ～ 13 日	ICT 委員会	怖い！！心臓の感染症	循環器科 宮永 大
	医療安全管理室	AED のショックボタンを押す前に！	臨床工学課 岸上 香織
6 月 28 日	NST 委員会	輸液について	薬剤課 吉川 知世
7 月 20 日 23 日	院内感染防止対策委員会 ICT 委員会	抗菌薬適正使用支援研修 ～抗菌薬を学び直してみませんか？～	薬剤課 吉田 明弘
7 月 31 日	NST 委員会	症例検討会	3B 病棟 吉田 瞬 4F 病棟 杉田 聖香、清水 敬
7 月 26 日	緩和ケア委員会	抗がん剤の脱毛について 医療用ウィッグについて	薬剤課 山田 憲和 PARCO 美容室 吉田 純子先生
8 月 24 日	NST 委員会	嚥下・サルコペニア	リハビリ課 中川 史織
8 月 28 日 30 日	サービス向上委員会	プロフェッショナルとしてのマナー 受付から始まる外来患者へのマナー	サービス向上委員
9 月 20 日	臓器・組織提供委員会	献眼について	福井県アイバンクコーディネーター 平澤 ゆみ子先生
9 月 27 日	NST 委員会	症例検討	3A 病棟 竹内千彩 2A 病棟 大西彩花
10 月 19 日	研修委員会	救急診療のトラブル事例	福井大学医学部 地域医療推進講座 教授 寺澤 秀一先生
10 月 25 日	NST 委員会	経腸栄養について	株式会社 大塚製薬 石田 康弘先生
11 月 5 日 ～ 30 日	ICT 委員会	医療に携わる者として、これだけは 押さえておきたい！！術後感染症	消化器・一般外科 浅田 康行
	医療安全管理室	ハイリスク薬 危機一髪！ システムと医療安全 医療ガスについて	薬剤課 吉田 明弘 電算資料室 山本 拓史 臨床工学課 岸上 香織
11 月 22 日	個人情報調査部会 医療安全管理室	個人情報漏えいについて	SOMPO リスクマネジメント株式会社 医療コンサルティング部 上席コンサルタント 泉 泰子先生
11 月 22 日	NST 委員会	症例検討	SC 病棟 竹内 由樹 栄養課 吉岡 沙織
12 月 11 日	緩和ケア委員会	1 人暮らしの患者さんのケースから キーパーソンの意味を考える	ソーシャルワーカー室 清水 絵麻
12 月 27 日	NST 委員会	臨床検査の正しい仕方 姿勢や食事・薬剤による検査値の変動 について	株式会社シノテスト 平 貴司先生
1 月 17 日	研修委員会	解剖検討会	たけふクリニック 院長 窪田 彰一先生
1 月 24 日	NST 委員会	褥瘡と栄養管理 ～失禁関連皮膚炎 から考える褥瘡予防の栄養管理～	ネスレ日本（株）ネスレヘルスサイエンス 稲尾 勝雅先生

開催日	主 催	内 容	講 師
2 月 13 日	労働安全衛生委員会	禁煙セミナー	健康増進センター 木村 成里
2 月 28 日	研修委員会	医の倫理	看護部 俵 治代
2 月 28 日	NST 委員会	DESIGN-R 評価方法	透析室 宮腰 心
3 月 7 日	研修委員会	総合評価加算に関する研修会	内科 羽場 利博
3 月 15 日	防火管理委員会	防火管理講習会	六条厚生会顧問 塚本 政敏先生
3 月 22 日	NST 委員会	褥瘡発生時の対処方法 褥瘡とスキンケアの違い	形成外科 多田 朋子
3 月 25 日 29 日	院内感染防止対策委員会 ICT 委員会	抗菌薬投与エムピリック断	薬剤課 吉田 明弘

実習・職場体験等受入れ

実習依頼機関	受入れ部署	人数	課程
福井大学医学部附属病院	医局	1	卒前臨床研修
		20	耳鼻咽喉科学外病院実習
		2	地域医療学実習
		13	医学科シャドーイング研修
	訪問看護ひまわりステーション	1	在宅看護学臨地実習
福井県看護協会	訪問看護ひまわりステーション	3	訪問看護 e ラーニングを活用した 訪問看護師養成講習会
	訪問看護さくらステーション	1	
	看護部	10	看護学生インターンシップ
福井県立大学	ソーシャルワーカー室	2	精神保健ソーシャルワーク実習
	訪問看護ひまわりステーション	4	在宅看護学臨地実習
	訪問看護さくらステーション	3	
福井県立看護専門学校	訪問看護ひまわりステーション	10	在宅看護論実習
	介護保険相談センター	10	
福井県ナースセンター	看護部	15	一日看護体験
奥越明成高等学校生活福祉科	さくらグループ	6	臨地実習
福井工業大学附属福井高等学校	看護部	152	看護学生臨地実習
	介護保険相談センター	14	臨地実習（在宅看護論）
	訪問看護ひまわりステーション	6	臨地実習（在宅看護論）
	訪問看護さくらステーション	2	在宅看護学臨地実習
	グループホーム匠	16	臨地実習
	看護部	1	新採用教員の病院見学実習
仁愛大学	栄養課	1	臨地実習
北陸大学	薬剤課	1	実務実習
金城大学	リハビリセンター	3	臨床実習
つくば国際大学	リハビリセンター	1	臨床実習
京都橘大学	リハビリセンター	1	臨床実習
朝日医療大学校	リハビリセンター	1	臨床実習
福井医療短期大学	リハビリセンター	2	臨床実習
若狭医療福祉専門学校	リハビリセンター	2	臨床実習
あいち福祉医療専門学校	リハビリセンター	1	臨床実習
理学・作業名古屋専門学校	リハビリセンター	2	臨床実習
岡山医療技術専門学校	リハビリセンター	1	臨床実習
株式会社医療サポート	医事課	1	公共職業訓練・医療調剤事務科

職場体験・見学

依頼機関	受入れ部署	人数	課程
福井市足羽中学校	病院全体	4	職場体験
福井市足羽第一中学校	病院全体	4	職場体験
福井市光陽中学校	病院全体	6	職場体験
福井市高志中学校	病院全体	13	職場体験
福井市至民中学校	病院全体	10	職場体験
福井市成和中学校	病院全体	6	職場体験
福井市藤島中学校	病院全体	4	職場体験
福井市明倫中学校	病院全体	8	職場体験
同志社女子大学	薬剤課	3	病院見学

患者統計

診療科別 外来患者数推移	・ ・ ・ ・ ・ 34
地域別 外来患者数内訳	・ ・ ・ ・ ・ 37
年齢別 外来患者数内訳	・ ・ ・ ・ ・ 39
地域別 入院患者数内訳	・ ・ ・ ・ ・ 41
年齢別 入院患者数内訳	・ ・ ・ ・ ・ 43
外来・入院患者人口比率	・ ・ ・ ・ ・ 45
ICD-10 による疾病統計	・ ・ ・ ・ ・ 46
ICD-10 による死因統計	・ ・ ・ ・ ・ 47
がん統計	・ ・ ・ ・ ・ 48
救急搬送患者疾病別内訳	・ ・ ・ ・ ・ 49

診療科別 外来患者数推移

診療科別 患者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2,188	2,238	2,239	2,253	2,246	2,062	2,292	2,159	2,405	2,742	2,128	2,171	27,123
ストレスケア科	2,451	2,634	2,646	2,633	2,732	2,383	2,761	2,698	2,699	2,644	2,516	2,723	31,520
神経内科	130	138	126	127	147	101	153	126	127	117	109	129	1,530
消化器内科	331	355	392	386	368	352	427	400	386	363	345	398	4,503
循環器科	1,280	1,217	1,295	1,274	1,312	1,230	1,325	1,294	1,239	1,278	1,151	1,287	15,182
消化器・一般外科	516	524	562	589	634	540	598	549	618	537	546	577	6,790
整形外科	3,660	3,835	4,000	3,870	3,940	3,452	3,785	3,525	3,476	3,400	3,229	3,215	43,387
透析センター	787	847	820	815	894	816	916	901	884	946	843	956	10,425
形成外科	16	54	62	49	55	32	41	46	46	41	33	67	542
脳神経外科	44	39	47	42	37	43	41	37	32	34	38	29	463
皮膚科	248	282	320	321	365	262	323	299	297	274	250	279	3,520
泌尿器科	102	131	101	114	125	106	134	155	130	128	125	83	1,434
婦人科	130	114	160	121	142	121	143	117	145	113	132	154	1,592
眼科	188	179	211	225	201	189	195	183	179	177	144	159	2,230
耳鼻咽喉科	319	287	314	300	310	258	317	281	294	282	310	425	3,697
放射線科	27	32	44	23	30	32	26	19	31	22	42	28	356
合計	12,417	12,906	13,339	13,142	13,538	11,979	13,477	12,789	12,988	13,098	11,941	12,680	154,294

診療科別 初診患者数

単位：人

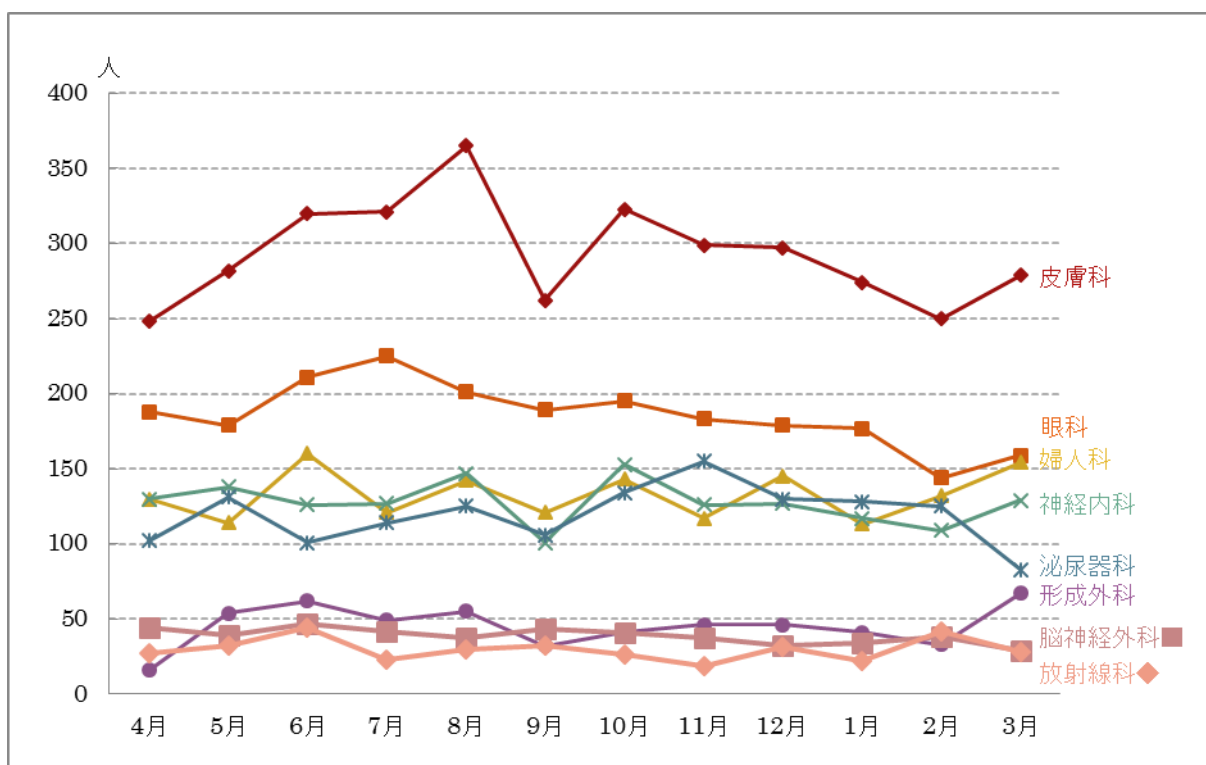
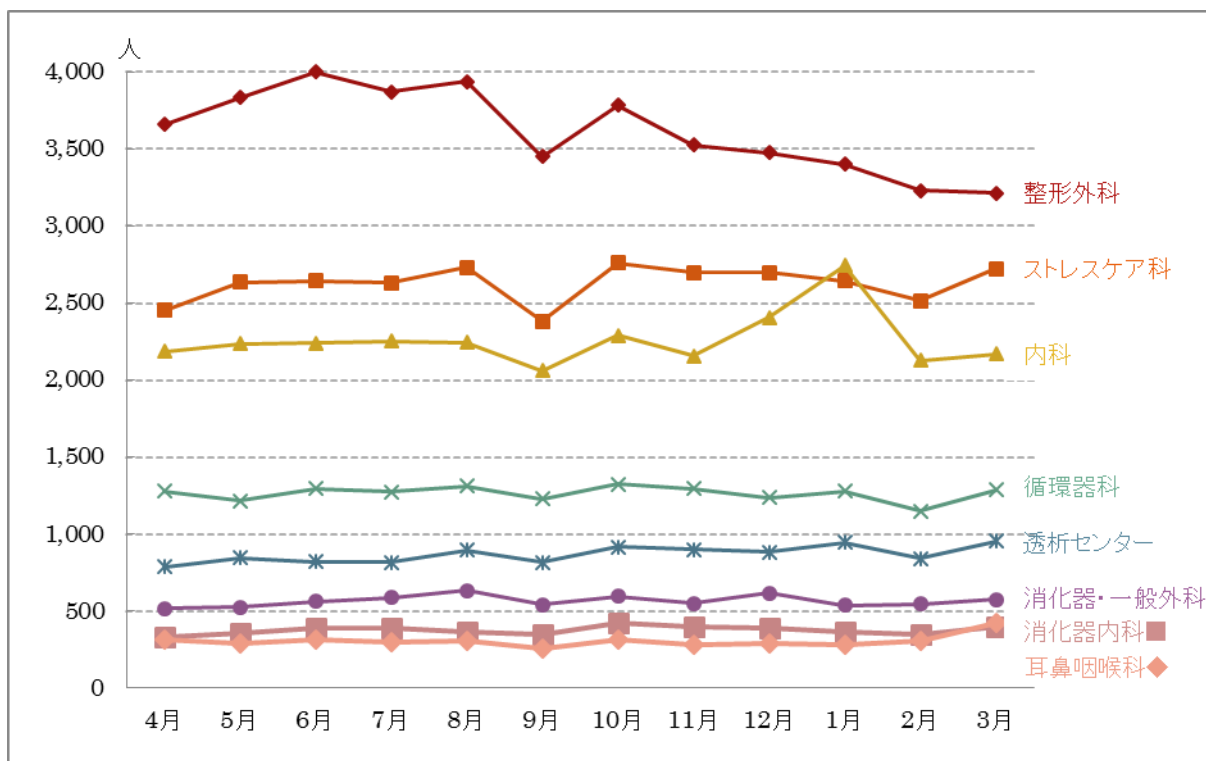
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	268	291	269	253	305	244	246	277	370	657	311	240	3,731
ストレスケア科	33	48	36	27	41	44	53	49	35	35	36	41	478
神経内科	6	7	1	4	5	1	7	3		2	1	4	41
消化器内科	40	46	51	58	54	57	71	58	40	51	63	53	642
循環器科	24	22	26	23	17	16	21	24	18	27	20	35	273
消化器・一般外科	81	92	97	116	107	98	115	103	122	100	94	119	1,244
整形外科	93	115	135	112	141	103	105	86	92	84	92	101	1,259
透析センター	2			2	3		2				1		10
形成外科	4	4	3	3	6	4	6	3	5	6	3	5	52
脳神経外科	6	2	6	7	1	7	5	4	6	8	4	4	60
皮膚科	29	25	28	25	46	30	24	20	30	30	17	23	327
泌尿器科	4	2	2	4	3	6	3	6	2	5	1		38
婦人科	27	28	31	20	27	28	32	20	18	15	15	26	287
眼科	10	10	16	9	21	10	13	15	10	28	7	7	156
耳鼻咽喉科	36	35	25	27	38	26	36	27	19	40	47	67	423
放射線科	27	27	41	21	25	28	23	16	23	18	40	26	315
合計	690	754	767	711	840	702	762	711	790	1,106	752	751	9,336

診療科別 再診患者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1,920	1,947	1,970	2,000	1,941	1,818	2,046	1,882	2,035	2,085	1,817	1,931	23,392
ストレスケア科	2,418	2,586	2,610	2,606	2,691	2,339	2,708	2,649	2,664	2,609	2,480	2,682	31,042
神経内科	124	131	125	123	142	100	146	123	127	115	108	125	1,489
消化器内科	291	309	341	328	314	295	356	342	346	312	282	345	3,861
循環器科	1,256	1,195	1,269	1,251	1,295	1,214	1,304	1,270	1,221	1,251	1,131	1,252	14,909
消化器・一般外科	435	432	465	473	527	442	483	446	496	437	452	458	5,546
整形外科	3,567	3,720	3,865	3,758	3,799	3,349	3,680	3,439	3,384	3,316	3,137	3,114	42,128
透析センター	785	847	820	813	891	816	914	901	884	946	842	956	10,415
形成外科	12	50	59	46	49	28	35	43	41	35	30	62	490
脳神経外科	38	37	41	35	36	36	36	33	26	26	34	25	403
皮膚科	219	257	292	296	319	232	299	279	267	244	233	256	3,193
泌尿器科	98	129	99	110	122	100	131	149	128	123	124	83	1,396
婦人科	103	86	129	101	115	93	111	97	127	98	117	128	1,305
眼科	178	169	195	216	180	179	182	168	169	149	137	152	2,074
耳鼻咽喉科	283	252	289	273	272	232	281	254	275	242	263	358	3,274
放射線科		5	3	2	5	4	3	3	8	4	2	2	41
合計	11,727	12,152	12,572	12,431	12,698	11,277	12,715	12,078	12,198	11,992	11,189	11,929	144,958

診療科別 患者数推移

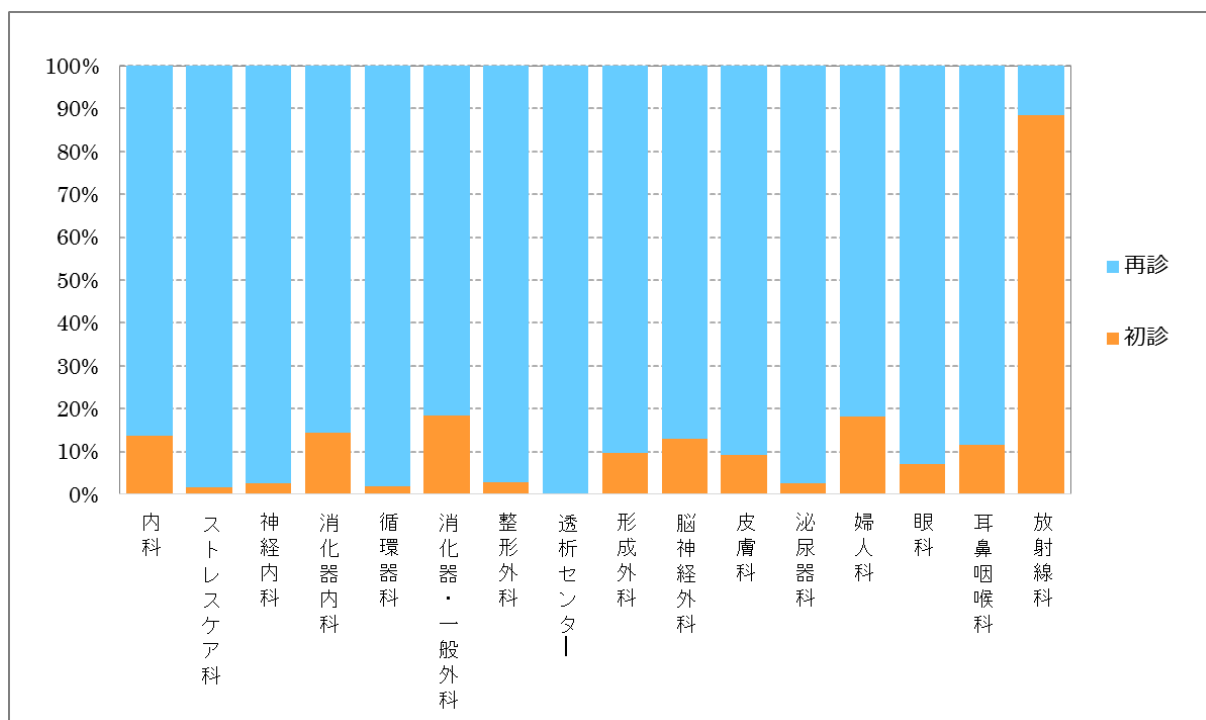


診療科別 初再診数

単位：人

	初診	再診
内科	3,731	23,392
ストレスケア科	478	31,042
神経内科	41	1,489
消化器内科	642	3,861
循環器科	273	14,909
消化器・一般外科	1,244	5,546
整形外科	1,259	42,128
透析センター	10	10,415
形成外科	52	490
脳神経外科	60	403
皮膚科	327	3,193
泌尿器科	38	1,396
婦人科	287	1,305
眼科	156	2,074
耳鼻咽喉科	423	3,274
放射線科	315	41
合計	9,336	144,958

診療科別 初再診割合



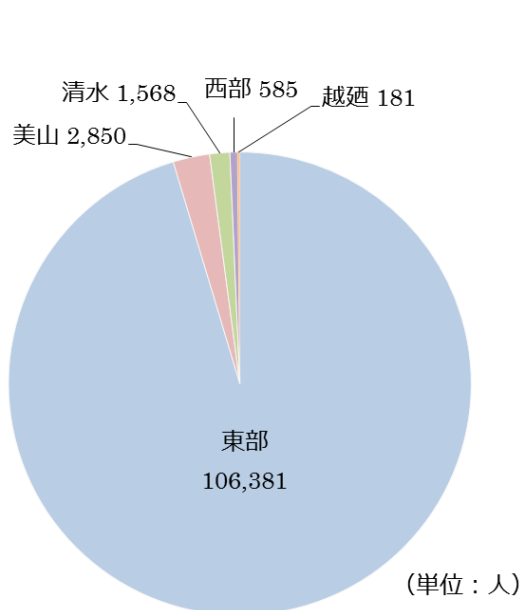
地域別 外来患者数内訳

地域別 外来患者数

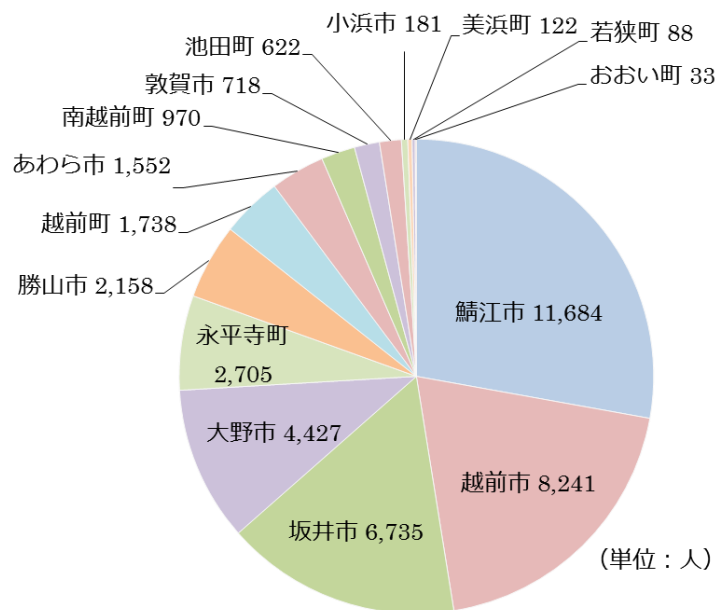
単位：人

	患者数	比率	新患者数	比率	新患者率
福井市内	111,565	72.3%	1,450	56.4%	1.3%
東部	106,381	68.9%	1,394	54.2%	1.3%
美山	2,850	1.8%	21	0.8%	0.7%
清水	1,568	1.0%	23	0.9%	1.5%
西部	585	0.4%	10	0.4%	1.7%
越廼	181	0.1%	2	0.1%	1.1%
福井市外	41,974	27.2%	1,036	40.3%	2.5%
鯖江市	11,684	7.6%	231	9.0%	2.0%
越前市	8,241	5.3%	212	8.2%	2.6%
坂井市	6,735	4.4%	198	7.7%	2.9%
大野市	4,427	2.9%	115	4.5%	2.6%
永平寺町	2,705	1.8%	54	2.1%	2.0%
勝山市	2,158	1.4%	38	1.5%	1.8%
越前町	1,738	1.1%	60	2.3%	3.5%
あわら市	1,552	1.0%	38	1.5%	2.4%
南越前町	970	0.6%	19	0.7%	2.0%
敦賀市	718	0.5%	36	1.4%	5.0%
池田町	622	0.4%	18	0.7%	2.9%
小浜市	181	0.1%	10	0.4%	5.5%
美浜町	122	0.1%	5	0.2%	4.1%
若狭町	88	0.1%	2	0.1%	2.3%
おおい町	33	0.0%	0	0.0%	0.0%
県外	755	0.5%	86	3.3%	11.4%
合計	154,294	100.0%	2,572	100.0%	1.7%

福井市内 外来患者数



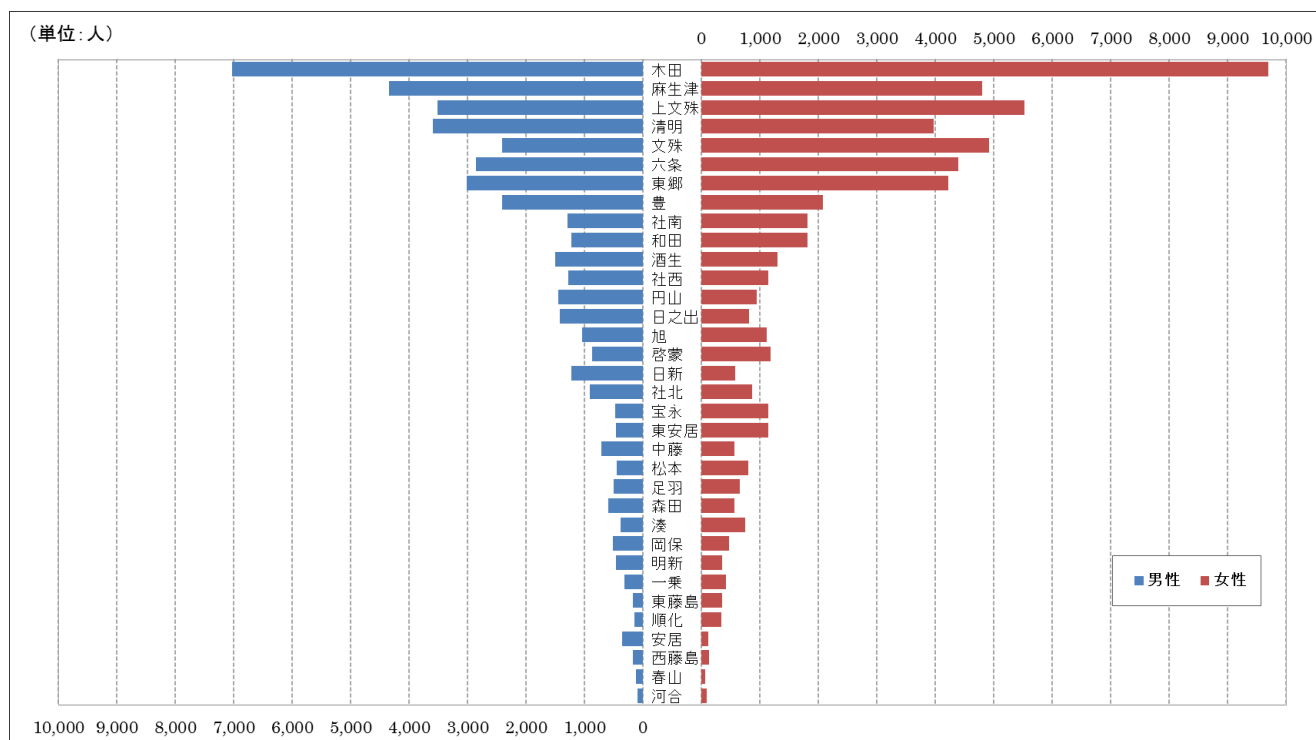
福井市外 外来患者数



福井市東部 外来患者数

単位：人

	男性	女性	延患者数	比率	新患数	比率	新患率
木田	7,028	9,690	16,718	15.7%	237	17.0%	1.4%
麻生津	4,342	4,795	9,137	8.6%	71	5.1%	0.8%
上文殊	3,517	5,521	9,038	8.5%	20	1.4%	0.2%
清明	3,590	3,964	7,554	7.1%	97	7.0%	1.3%
文殊	2,409	4,917	7,326	6.9%	24	1.7%	0.3%
六条	2,856	4,394	7,250	6.8%	28	2.0%	0.4%
東郷	3,019	4,224	7,243	6.8%	65	4.7%	0.9%
豊	2,412	2,073	4,485	4.2%	62	4.4%	1.4%
社南	1,288	1,811	3,099	2.9%	55	3.9%	1.8%
和田	1,229	1,810	3,039	2.9%	77	5.5%	2.5%
酒生	1,505	1,306	2,811	2.6%	28	2.0%	1.0%
社西	1,283	1,140	2,423	2.3%	35	2.5%	1.4%
円山	1,445	949	2,394	2.3%	63	4.5%	2.6%
日之出	1,421	812	2,233	2.1%	46	3.3%	2.1%
旭	1,047	1,114	2,161	2.0%	41	2.9%	1.9%
啓蒙	873	1,186	2,059	1.9%	29	2.1%	1.4%
日新	1,220	570	1,790	1.7%	60	4.3%	3.4%
社北	907	871	1,778	1.7%	35	2.5%	2.0%
宝永	479	1,137	1,616	1.5%	25	1.8%	1.5%
東安居	469	1,139	1,608	1.5%	37	2.7%	2.3%
中藤	710	567	1,277	1.2%	47	3.4%	3.7%
松本	452	794	1,246	1.2%	31	2.2%	2.5%
足羽	506	659	1,165	1.1%	24	1.7%	2.1%
森田	588	561	1,149	1.1%	45	3.2%	3.9%
湊	378	748	1,126	1.1%	16	1.1%	1.4%
岡保	512	469	981	0.9%	9	0.6%	0.9%
明新	468	349	817	0.8%	24	1.7%	2.9%
一乗	315	424	739	0.7%	6	0.4%	0.8%
東藤島	167	354	521	0.5%	12	0.9%	2.3%
順化	141	342	483	0.5%	13	0.9%	2.7%
安居	352	110	462	0.4%	10	0.7%	2.2%
西藤島	168	124	292	0.3%	8	0.6%	2.7%
春山	120	62	182	0.2%	4	0.3%	2.2%
河合	92	87	179	0.2%	10	0.7%	5.6%
合計	47,308	59,073	106,381	100.0%	1,394	100.0%	1.3%

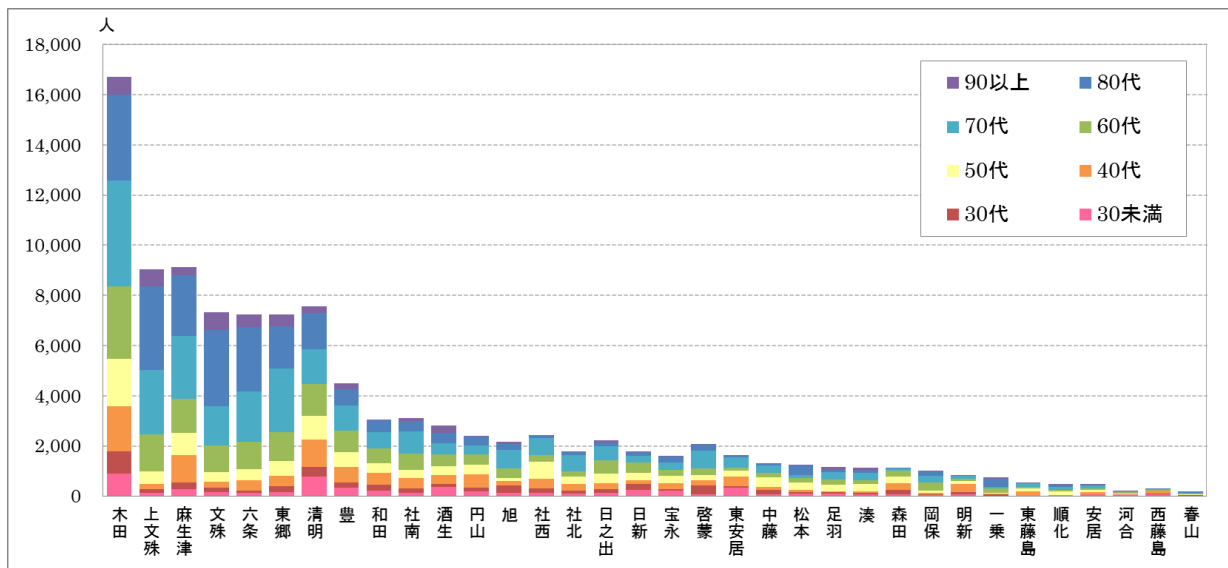


年齢別 外来患者数内訳

福井市東部 年齢別 外来患者数

単位：人

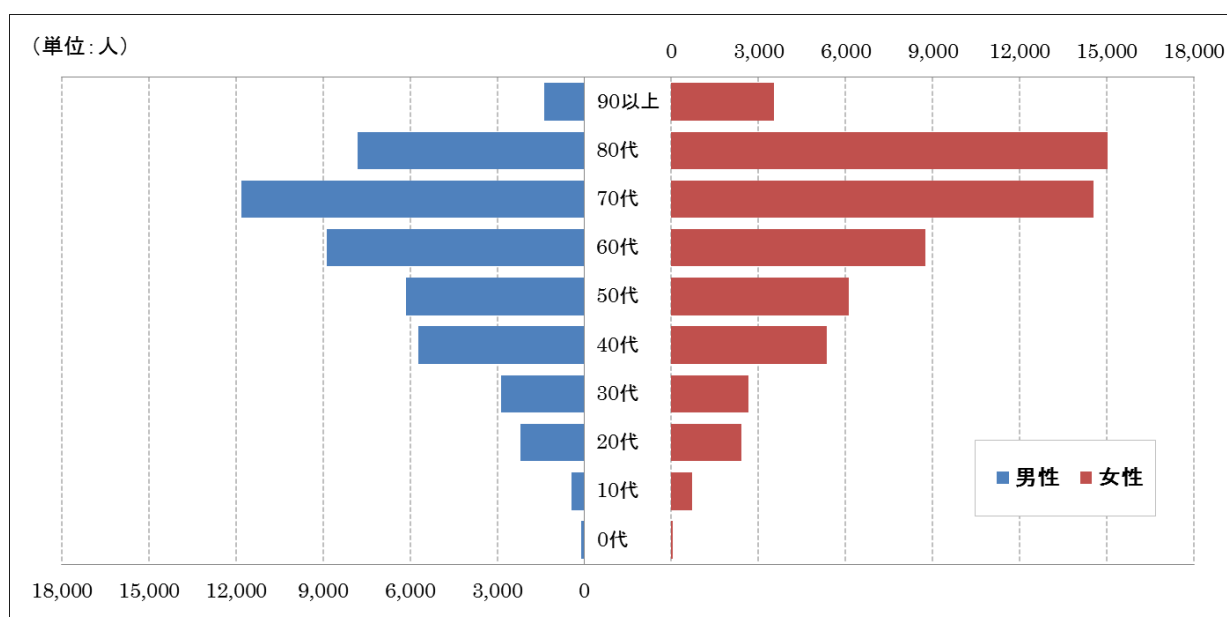
	0代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上
木田	34	304	556	881	1,820	1,866	2,889	4,223	3,435	710
麻生津	3	97	184	260	1,105	872	1,357	2,514	2,410	335
上文殊	5	47	69	145	217	506	1,485	2,549	3,327	688
清明	18	72	685	396	1,097	927	1,285	1,383	1,445	246
文殊	18	19	112	187	252	365	1,056	1,578	3,024	715
六条	5	57	64	90	409	464	1,084	1,993	2,562	522
東郷	19	45	104	244	392	608	1,146	2,529	1,685	471
豊	5	17	309	217	603	591	855	1,007	667	214
社南	1	26	114	171	424	300	663	894	414	92
和田	3	30	187	236	468	400	574	653	476	12
酒生	2	15	346	138	348	338	484	425	438	277
社西	1	23	123	155	383	681	272	681	90	14
円山		36	141	176	520	390	399	362	353	17
日之出	1	19	99	166	243	375	537	550	153	90
旭	3	18	100	295	185	118	377	761	220	84
啓蒙		24	50	364	190	205	282	691	236	17
日新		47	215	237	144	276	426	276	129	40
社北	5	31	66	127	251	297	223	623	139	16
宝永		32	180	77	228	295	243	298	228	35
東安居	3	27	303	69	379	243	125	397	55	7
中藤	1	6	74	159	126	378	198	276	57	2
松本		3	94	68	94	288	172	117	401	9
足羽	1	12	84	66	41	259	203	297	93	109
森田	2	17	53	173	280	271	214	101	38	
湊	17	3	54	71	51	290	159	293	71	117
岡保		3	37	40	67	81	329	261	158	5
明新		13	48	112	323	123	88	90	15	5
一乗	1	2	17	57	29	35	159	76	329	34
東藤島		7	5	5	174	109	80	131	9	1
順化			1	17	25	156	57	119	76	32
安居		8	54	15	71	117	42	135	19	1
西藤島	1	21	51	41	95	8	46	24	5	
春山			7	41	9	13	44	16	52	
河合		47	29	5	1	25	56	15		1
合計	149	1,128	4,615	5,501	11,044	12,270	17,609	26,338	22,809	4,918
構成比	0.1%	1.1%	4.3%	5.2%	10.4%	11.5%	16.6%	24.8%	21.4%	4.6%



福井市東部 男女年齢別 外来患者数

単位：人

	男性	女性	合計
0代	92	57	149
10代	428	700	1,128
20代	2,207	2,408	4,615
30代	2,850	2,651	5,501
40代	5,709	5,335	11,044
50代	6,150	6,120	12,270
60代	8,866	8,743	17,609
70代	11,811	14,527	26,338
80代	7,801	15,008	22,809
90以上	1,394	3,524	4,918
合計	47,308	59,073	106,381

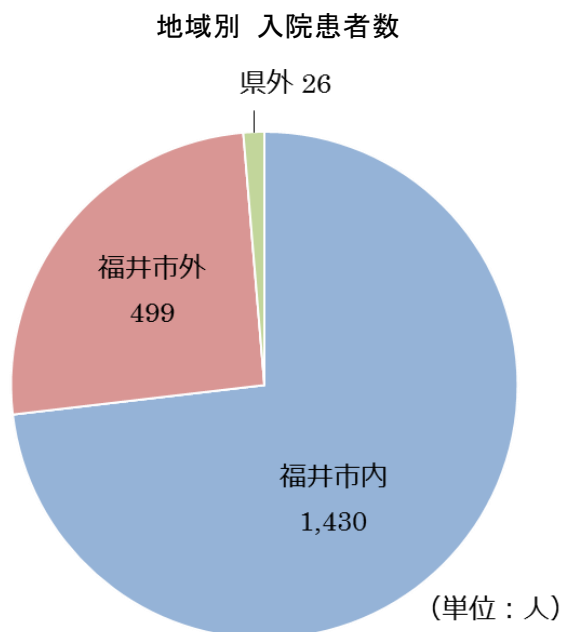


地域別 入院患者数内訳

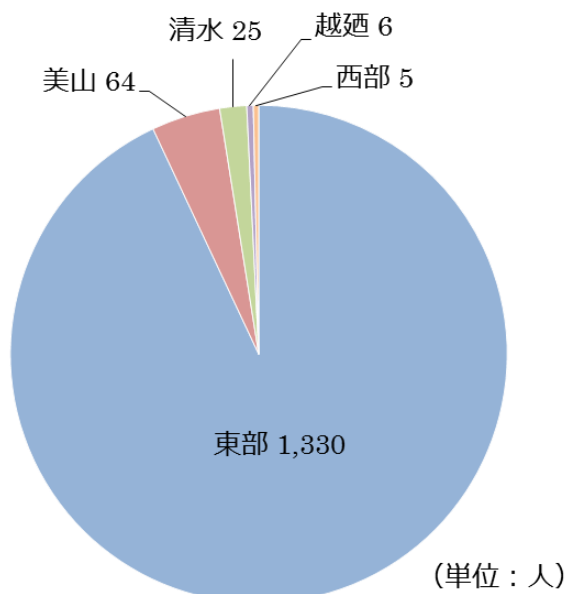
地域別 入院患者数

単位：人

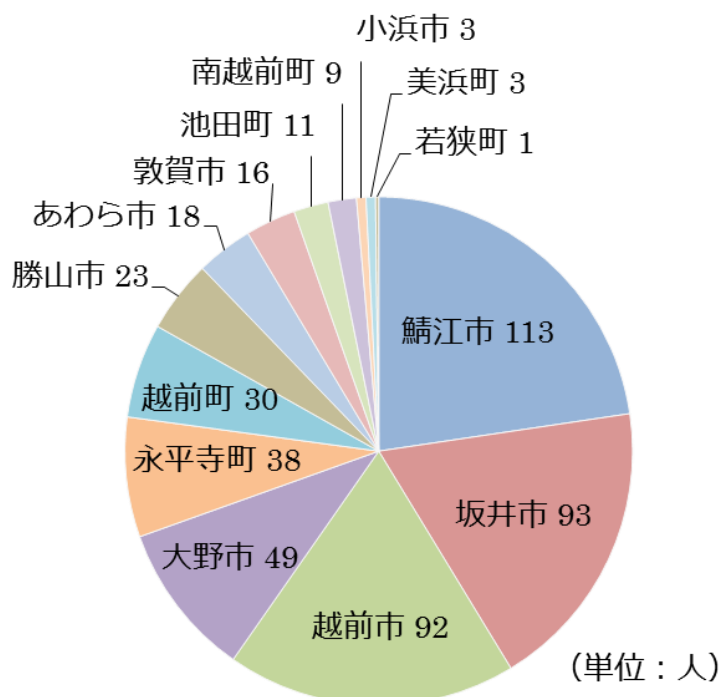
	患者数	比率
福井市内	1,430	73.1%
東部	1,330	68.0%
美山	64	3.3%
清水	25	1.3%
越廼	6	0.3%
西部	5	0.3%
福井市外	499	25.5%
鯖江市	113	5.8%
坂井市	93	4.8%
越前市	92	4.7%
大野市	49	2.5%
永平寺町	38	1.9%
越前町	30	1.5%
勝山市	23	1.2%
あわら市	18	0.9%
敦賀市	16	0.8%
池田町	11	0.6%
南越前町	9	0.5%
小浜市	3	0.2%
美浜町	3	0.2%
若狭町	1	0.1%
県外	26	1.3%
合計	1,955	100.0%



福井市内 入院患者数



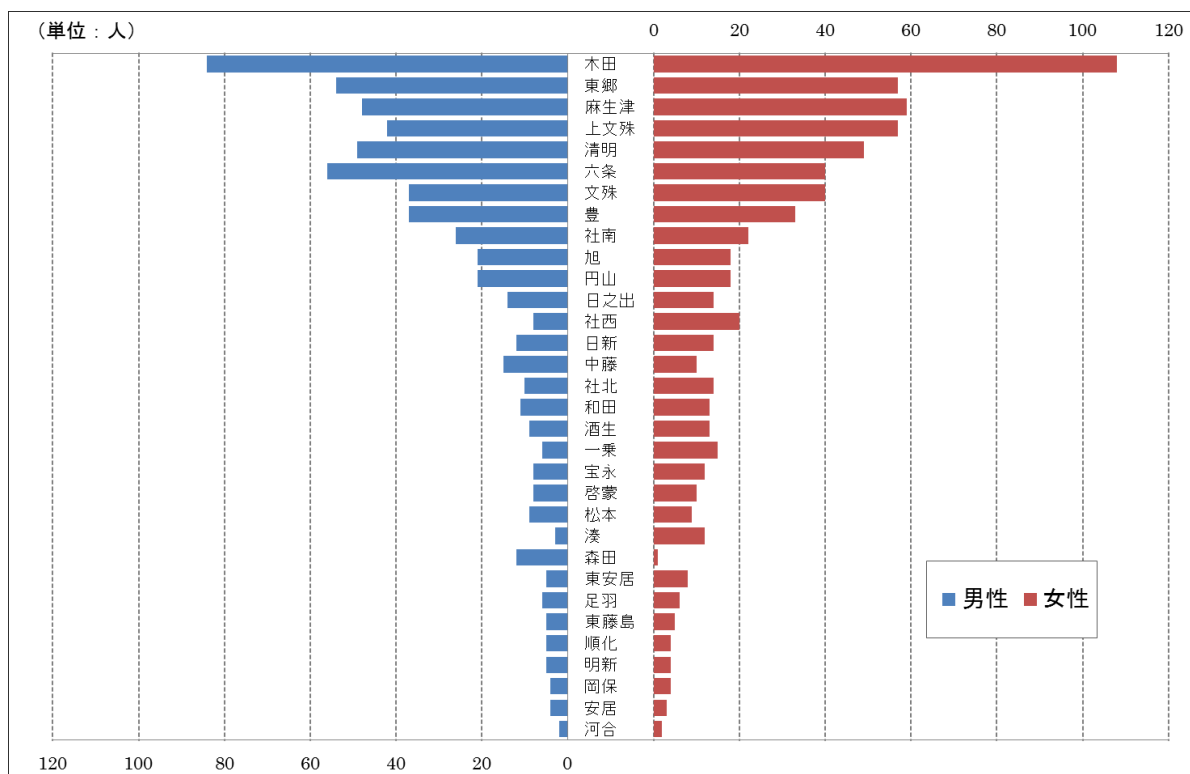
福井市外 入院患者数



福井市東部 入院患者数

単位：人

	男性	女性	患者数	比率
木田	84	108	192	14.4%
東郷	54	57	111	8.3%
麻生津	48	59	107	8.0%
上文殊	42	57	99	7.4%
清明	49	49	98	7.4%
六条	56	40	96	7.2%
文殊	37	40	77	5.8%
豊	37	33	70	5.3%
社南	26	22	48	3.6%
円山	21	18	39	2.9%
旭	21	18	39	2.9%
社西	8	20	28	2.1%
日之出	14	14	28	2.1%
日新	12	14	26	2.0%
中藤	15	10	25	1.9%
和田	11	13	24	1.8%
社北	10	14	24	1.8%
酒生	9	13	22	1.7%
一乗	6	15	21	1.6%
宝永	8	12	20	1.5%
松本	9	9	18	1.4%
啓蒙	8	10	18	1.4%
湊	3	12	15	1.1%
東安居	5	8	13	1.0%
森田	12	1	13	1.0%
足羽	6	6	12	0.9%
東藤島	5	5	10	0.8%
明新	5	4	9	0.7%
順化	5	4	9	0.7%
岡保	4	4	8	0.6%
安居	4	3	7	0.5%
河合	2	2	4	0.3%
合計	636	694	1,330	100.0%

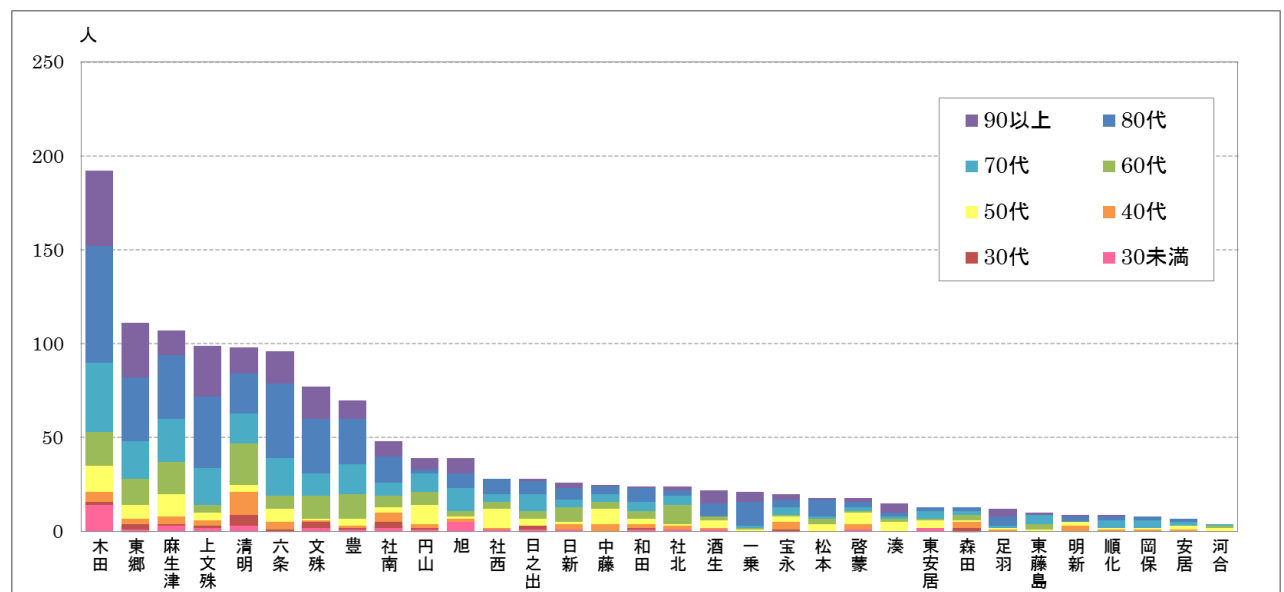


年齢別 入院患者数内訳

福井市東部 年齢別 入院患者数

単位：人

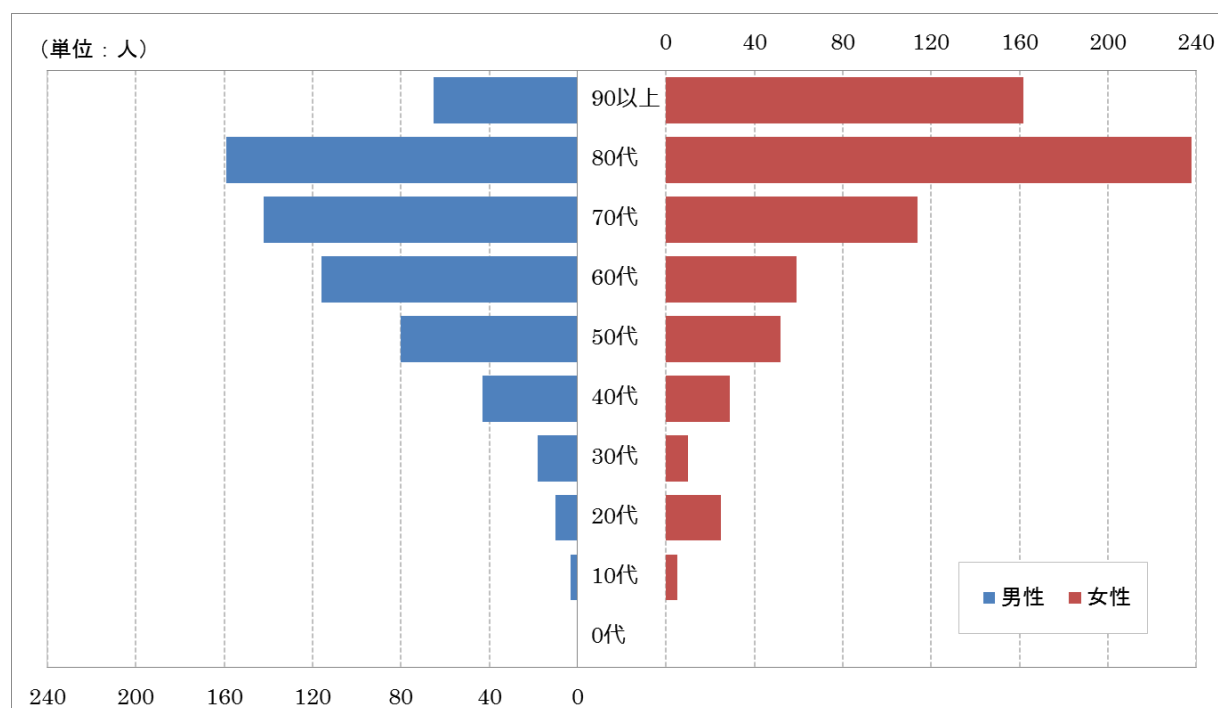
	0代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上
木田		1	13	2	5	14	18	37	62	40
東郷		1		3	3	7	14	20	34	29
麻生津		1	2	1	4	12	17	23	34	13
上文殊		2		1	3	4	4	20	38	27
清明			3	6	12	4	22	16	21	14
六条				1	4	7	7	20	40	17
文殊			2	3	1	1	12	12	29	17
豊			1	1	1	4	13	16	24	10
社南			2	3	5	3	6	7	14	8
円山		1		1	2	10	7	10	2	6
旭		1	4		2	1	3	12	8	8
社西			1		1	10	4	4	8	
日之出		1		2		4	4	9	7	1
日新			1		3	1	8	4	6	3
中藤					4	8	4	4	4	1
和田			1	1	2	3	4	5	7	1
社北			1		2	1	10	5	3	2
酒生			1		1	4	2		7	7
一乗						1	1	1	13	5
宝永				1	4	3	1	4	4	3
松本						4	3	1	9	1
啓蒙			1		3	6	1	2	3	2
湊						5	2	1	2	5
東安居			2			4	1	4	2	
森田				2	3	1	3	2	2	
足羽					1	1		1	5	4
東藤島						1	3	5		1
明新					3	2			3	1
順化					1	1		4	2	1
岡保					1	1		4	2	
安居					1	2		2	2	
河合						2	1	1		
合計	0	8	35	28	72	132	175	256	397	227
構成比	0.0%	0.6%	2.6%	2.1%	5.4%	9.9%	13.2%	19.2%	29.8%	17.1%



福井市東部 男女年齢別 入院患者数

単位：人

	男性	女性	合計
0代			0
10代	3	5	8
20代	10	25	35
30代	18	10	28
40代	43	29	72
50代	80	52	132
60代	116	59	175
70代	142	114	256
80代	159	238	397
90以上	65	162	227
合計	636	694	1,330

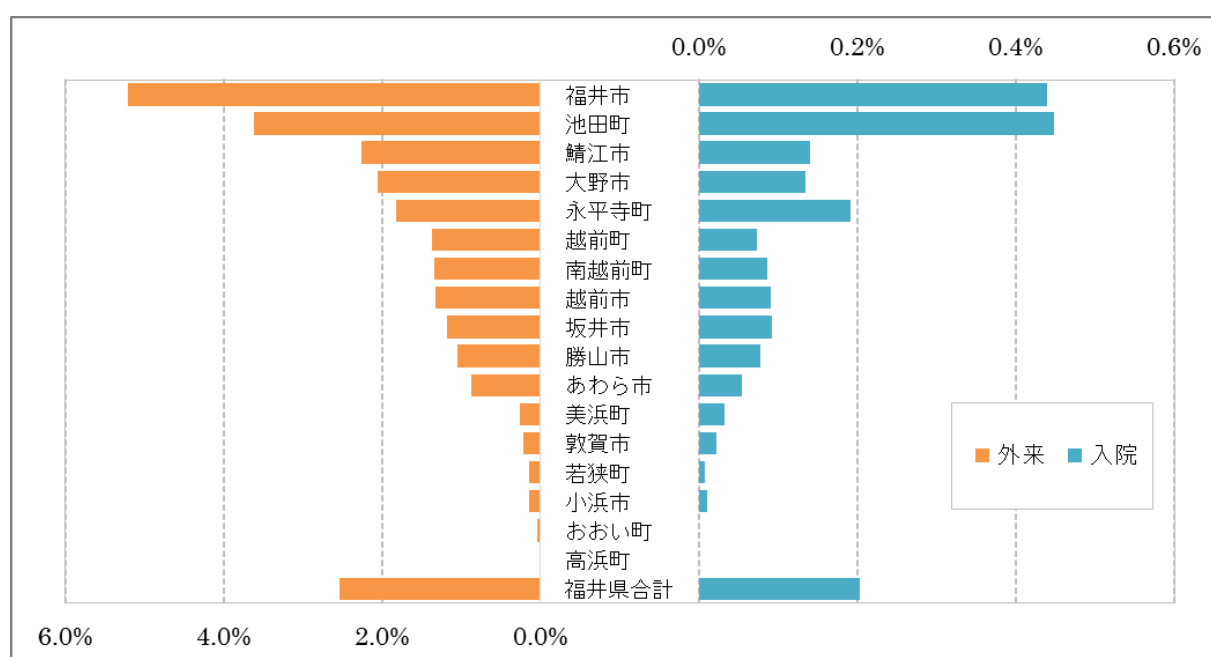


外来・入院患者人口比率

福井県 外来・入院患者人口比率

単位：人

	市町村人口 (2019/4/1 時点)	外来患者数	外来比率	入院患者数	入院比率
福井市	262,400	13,714	5.2%	1,157	0.4%
池田町	2,398	89	3.7%	11	0.5%
鯖江市	68,608	1,555	2.3%	96	0.1%
大野市	31,489	657	2.1%	43	0.1%
永平寺町	19,201	351	1.8%	37	0.2%
越前町	20,330	285	1.4%	15	0.1%
南越前町	10,197	140	1.4%	9	0.1%
越前市	80,568	1,073	1.3%	73	0.1%
坂井市	88,906	1,056	1.2%	82	0.1%
勝山市	22,720	243	1.1%	18	0.1%
あわら市	27,741	243	0.9%	15	0.1%
美浜町	9,317	25	0.3%	3	0.0%
敦賀市	64,462	139	0.2%	14	0.0%
若狭町	14,299	22	0.2%	1	0.0%
小浜市	28,559	40	0.1%	3	0.0%
おおい町	8,054	3	0.0%	0	0.0%
高浜町	10,299	0	0.0%	0	0.0%
福井県合計	769,548	19,635	2.6%	1,577	0.2%



ICD－10 による疾病統計

疾病大分類別 科別患者数

単位：人

疾病大分類	合計	科別								平均在 院日数
		内科	循環器科	消化器・ 一般外科	整形外科	精神科	消化器 内科	形成外科	眼科	
I 感染症および寄生虫症	36	12	6	2			16			17.3
II 新生物	176	54	7	55	1		56	3		24.3
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	9	4	1				4			18.4
IV 内分泌、栄養および代謝疾患	72	33	24	4	2	1	8			24.4
V 精神および行動の障害	265	3	4			258				51.5
VI 神経系の疾患	50	35	7	1	2	2	3			12.4
VII 眼および付属器の疾患	3							1	2	2.3
VIII 耳および乳様突起の疾患	31	13	14				4			6.6
IX 循環器系の疾患	352	42	288	8			14			28.5
X 呼吸器系の疾患	215	126	79				10			28.3
X I 消化器系の疾患	296	8	6	79	1		202			9.1
X II 皮膚および皮下組織の疾患	16	5	5		5		1			41.6
X III 筋骨格系および結合組織の疾患	67	14	5		43		5			50.1
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	87	33	47	4			3			23.3
X VII 先天奇形、変形および染色体異常	1				1					19.0
X VIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6	1	3	1			1			7.7
X IX 損傷、中毒およびその他の外因の影響	267	15	22	13	214	1	2			55.7
合計	1,949	398	518	167	269	262	329	4	2	31.4

疾病大分類別 性別および転帰別患者数

単位：人

疾病大分類		性別		転帰					
		男	女	治癒	軽快	寛解	不変	増悪	死亡
I	感染症および寄生虫症	17	19		35		1		
II	新生物	114	62	13	124		8	1	30
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	6	3		9				
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	33	39		62		4	1	5
V	精神および行動の障害	81	184		12	246	6	1	
VI	神経系の疾患	23	27		45	1	2	1	1
VII	眼および付属器の疾患	1	2	1	2				
VIII	耳および乳様突起の疾患	4	27		30		1		
IX	循環器系の疾患	204	148	1	309	2	12	1	27
X	呼吸器系の疾患	134	81	2	171	3	11	1	27
X I	消化器系の疾患	198	98	43	242	1	8		2
X II	皮膚および皮下組織の疾患	6	10		14		1		1
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	22	45		58		6		3
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	46	41		80		3		4
X VII	先天奇形、変形および染色体異常	1			1				
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3	3		6				
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	100	167		241		17	2	7
合計		993	956	60	1,441	253	80	8	107

ICD-10 による死因統計

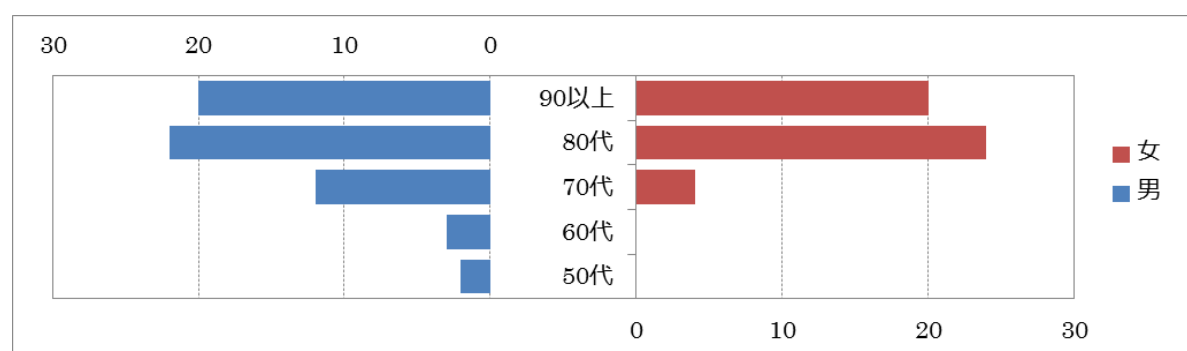
疾病大分類 男女年齢別 死亡数

単位：人

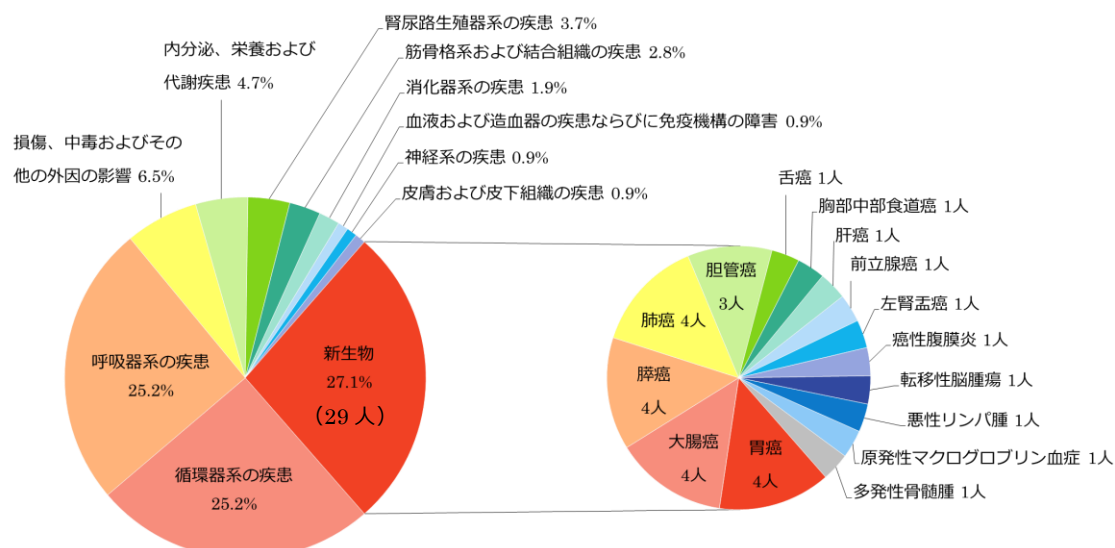
疾病分類	50未満		50代		60代		70代		80代		90以上		合計		平均在 院日数
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
Ⅱ 新生物			2		2		6	2	5	5	4	4	19	11	30 49.2
Ⅳ 内分泌、栄養および代謝疾患									2	2	1		2	3	5 24.2
Ⅵ 神経系の疾患									1				0	1	1 15.0
Ⅸ 循環器系の疾患							1	1	7	5	4	9	12	15	27 27.5
X 呼吸器系の疾患					1		3		6	4	8	5	18	9	27 32.4
XⅠ 消化器系の疾患									1	1			1	1	2 44.5
XⅡ 皮膚および皮下組織の疾患									1				0	1	1 83.0
XⅢ 筋骨格系および結合組織の疾患							1		2				0	3	3 72.0
XⅣ 腎尿路生殖器系の疾患									2	1		1	2	2	4 37.0
XⅠⅩ 損傷、中毒およびその他の外因の影響							2		2	2	1		5	2	7 40.2
合計	0	0	2	0	3	0	12	4	22	24	20	20	59	48	107 —

男女年齢別 死亡数

単位：人



疾病大分類でみる死因の割合



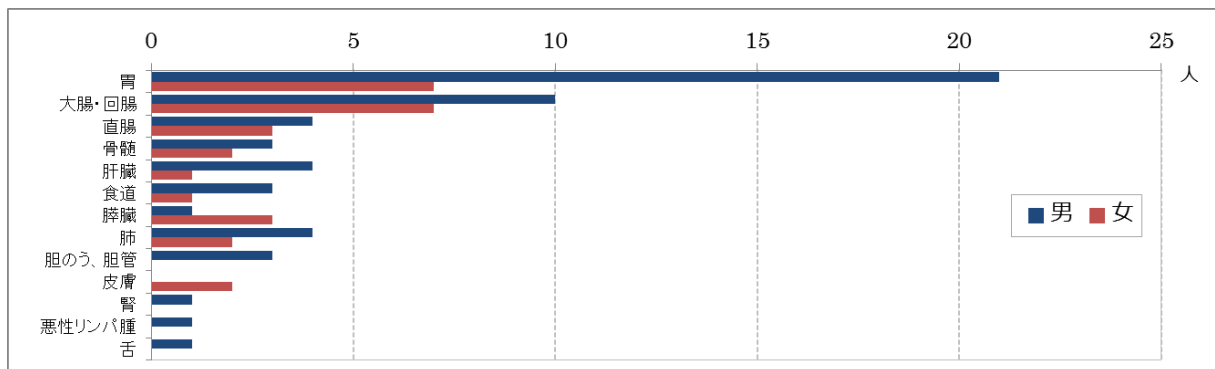
がん統計（2017 年 1 月～12 月）

男女年齢別 部位別 がん罹患数

単位：人

	40未満		40代		50代		60代		70代		80代		90以上		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
胃					5	2	5	2	7		3	3	1		21	7	28
大腸・回腸			1			1	3		4		2	5		1	10	7	17
直腸					1	1	1	1	1	1	1				4	3	7
骨髄					1		1				1		2		3	2	5
肝臓					1		1				1	1	1		4	1	5
食道					1	1	1		1						3	1	4
膵臓							1		1		1		1		1	3	4
肺							2				2		2		4	2	6
胆のう、胆管									2				1		3	0	3
皮膚									2						0	2	2
腎											1				1	0	1
悪性リンパ腫											1				1	0	1
舌					1										1	0	1
合計	0	0	1	0	10	5	15	3	15	4	12	10	3	6	56	28	84

男女別 部位別 がん罹患数



発見経緯、治療法および進行度別 部位別 がん罹患数

単位：人

	発見経緯				観血的治療				病巣の拡がり				
	健診 ドック	他疾患 通院中	自覚 症状等	紹介	手術	内視鏡的	無	上皮内	限局	所属リン パ節転移	隣接臓 器浸潤	遠隔転移	不明
胃	15	5	5	3	17	5	6		25	2	1		
大腸・回腸	3	7	3	4	9	1	7	1	10	2			4
直腸	4	1	2		4		3	1	3	2			1
骨髄	2	2	1				5	—	—	—	—	—	—
肝臓		4	1				5		4				1
食道	2	2				3	1	1	3				
膵臓		2	2		3		1	1	1	1	1		
肺		3	3				6		1	2			2
胆のう、胆管		2	1		1		2		1	1			1
皮膚		2			1		1		2				
腎			1				1						1
悪性リンパ腫			1				1						1
舌		1					1		1				
合計	26	31	20	7	35	9	40	4	51	10	2	8	4

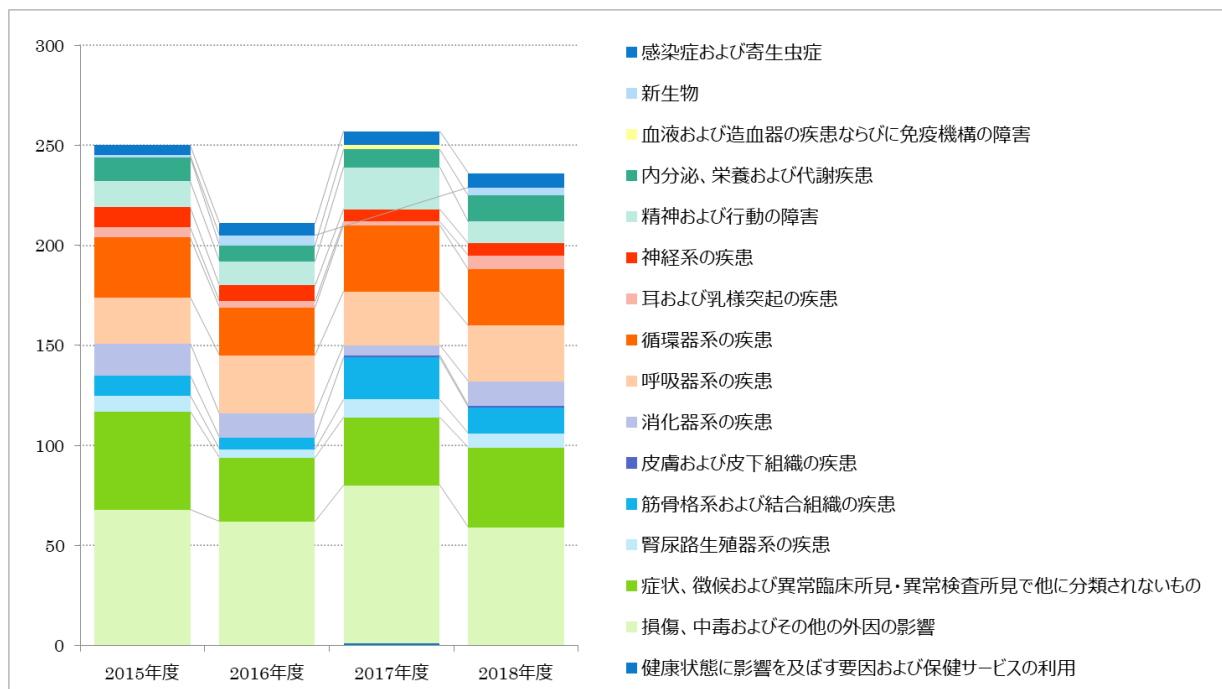
救急搬送患者疾病別内訳

救急搬送数

単位：人

疾病大分類	搬送数	搬送比率	搬送時間帯別		
			時間内	時間外	日祭日
感染症および寄生虫症	7	3.0%	4	3	
新生物	4	1.7%	4		
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		0.0%			
内分泌、栄養および代謝疾患	13	5.5%	6	4	3
精神および行動の障害	11	4.7%	4	5	2
神経系の疾患	6	2.5%	4	1	1
耳および乳様突起の疾患	7	3.0%	5	2	
循環器系の疾患	28	11.9%	22	3	3
呼吸器系の疾患	28	11.9%	18	4	6
消化器系の疾患	12	5.1%	7	4	1
皮膚および皮下組織の疾患	1	0.4%	1		
筋骨格系および結合組織の疾患	13	5.5%	11	1	1
腎尿路生殖器系の疾患	7	3.0%	4	2	1
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	40	16.9%	20	12	8
損傷、中毒およびその他の外因の影響	59	25.0%	39	12	8
健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用		0.0%			
合計	236	100.0%	149	53	34
		比率	57.6%	24.9%	17.5%

救急搬送数推移



診療状況等

内科	・ ・ ・ ・ ・ 50
循環器科	・ ・ ・ ・ ・ 52
消化器・一般外科	・ ・ ・ ・ ・ 55
消化器内科	・ ・ ・ ・ ・ 58
透析センター	・ ・ ・ ・ ・ 60
ストレスケアセンター	・ ・ ・ ・ ・ 62
整形外科	・ ・ ・ ・ ・ 64
放射線科	・ ・ ・ ・ ・ 66
婦人科	・ ・ ・ ・ ・ 67
形成外科	・ ・ ・ ・ ・ 68
看護部	・ ・ ・ ・ ・ 70
リハビリ課	・ ・ ・ ・ ・ 77
画像課	・ ・ ・ ・ ・ 80
検査課	・ ・ ・ ・ ・ 82
栄養課	・ ・ ・ ・ ・ 84
薬剤課	・ ・ ・ ・ ・ 86
臨床工学課	・ ・ ・ ・ ・ 89
医療連携センター	・ ・ ・ ・ ・ 90
健康増進センター	・ ・ ・ ・ ・ 93
介護事業部	・ ・ ・ ・ ・ 95

内科

大西 定司

スタッフ

常勤医	山本 誠（消化器—肝・胆・膵）・羽場 利博（血液・糖尿・透析）・
	前川 直美（透析・腎）・岡村 誠太郎・木村 記代（透析・腎）・
	熊本 輝彦・藤井 美紀（内分泌・糖尿）・内山 崇（救急・総合診療）・
	越野 繭子・松浦 宏之（内分泌・糖尿）・大西 定司（呼吸器）
非常勤医	平井 淳一・林 浩嗣・野原 淳・平松 活志・稲葉 聡・山村 修・
	佐藤 さつき・松永 晶子・大藤 和也・山口 智久

実績報告

非常勤医師の協力を得て、診療実績は別表のようになった。外来患者数はほぼ変わらなかったのに比べ、入院患者数が大きく増加したのは、入院患者を受け持つ医師が増加したことによると考えられる。

診療内容を検討すると、外来部門では、健診センターが充実している影響もあり二次検査を勧められての受診が一定数を占めている。特に土曜日は仕事がある若年層の受診が目立ち、胸部異常陰影・肝機能障害・脂質異常を指摘されての来院が多い印象である。

一方、入院部門では従来と変わることなく高齢の患者さまが圧倒的多数を占めている。発熱・食欲不振・体動困難を主訴に来院され、そのまま入院となるケースが多く、近隣の介護施設から入院依頼を受けることもしばしばである。検査で判明する疾患としては、誤嚥性肺炎を中心とする呼吸器疾患が一番多く、悪性新生物、尿路感染症、菌血症（敗血症）がそれらに次いでいる。病棟の現場では、医師・看護師だけでなく多職種のスタッフ（検査技師・薬剤師・看護補助者・リハビリ職員・管理栄養士など）と協働して治療に当たっているのはこれまで同様であるが、最近の問題として、相次ぐ抗生剤の供給停止が挙げられる。上述のように当院の入院患者は注射用抗生剤を必要とすることが非常に多い（悪性新生物の患者さまにおいても、経過中に細菌感染を発症することが多い）のであるが、在庫を確認しながらの処方となっている。この点については、薬剤師による代替薬の提案がたいへん参考になっており、非常に感謝している。

【外来】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	2017	2,255	2,319	2,225	2,279	2,275	2,200	2,315	2,323	2,393	2,546	2,116	2,372	27,618
	2018	2,188	2,238	2,239	2,253	2,246	2,062	2,292	2,159	2,405	2,742	2,128	2,171	27,123
初診数	2017	324	348	268	252	270	256	268	292	341	536	309	338	3,802
	2018	268	291	269	253	305	244	246	277	370	657	311	240	3,731
再診数	2017	1,931	1,971	1,957	2,027	2,005	1,944	2,047	2,031	2,052	2,010	1,807	2,034	23,816
	2018	1,920	1,947	1,970	2,000	1,941	1,818	2,046	1,882	2,035	2,085	1,817	1,931	23,392

【入院】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	2017	26	26	29	19	23	25	32	32	27	26	25	27	317
	2018	32	32	26	40	38	36	32	41	32	41	34	36	420

【退院患者疾病分類】

大分類	患者数（人）	比率（％）
I 感染症および寄生虫症	12	3.0
II 新生物	54	13.6
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	4	1.0
IV 内分泌、栄養および代謝疾患	33	8.3
V 精神および行動の障害	3	0.8
VI 神経系の疾患	35	8.8
VIII 耳および乳様突起の疾患	13	3.3
IX 循環器系の疾患	42	10.6
X 呼吸器系の疾患	126	31.7
X I 消化器系の疾患	8	2.0
X II 皮膚および皮下組織の疾患	5	1.3
X III 筋骨格系および結合組織の疾患	14	3.5
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	33	8.3
X VIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	0.3
X IX 損傷、中毒およびその他の外因の影響	15	3.8
計	398	100.0

循環器科

加藤 浩司

スタッフ

前年度と同じく、加藤浩司、後藤拓也医長、宮永大医師の3人で循環器科の診療を継続した。

循環器科の発展

3B 病棟を循環器科の入院病棟として固定し、より専門的に特化した心臓血管疾患患者の診療ができるようにしている。

現在、心房細動の治療の標準術式として、カテーテルアブレーションによる肺静脈電氣的隔離術が確立されて、全世界に普及している。当院循環器科では、2017 年 2 月には、日本国内で初めて、心房細動アブレーションの治療戦略として、dispersion area mapping によるアブレーション法を実施した。この術式は、フランスの病院で開発された新しい心房細動の治療概念であり、2017 年 1 月 24 日に世界で初めて論文が公開された。当院循環器科はその2週後に、この最新の術式を導入することに成功した。その後も、2018 年から 2019 年にかけて、この術式による持続性心房細動のアブレーション治療の症例を積み重ねてきた。2019 年 3 月 14 日以降は、心房細動のアブレーションに、3D-CARTO マッピングに加えて、Ablation Index (AI) を併用し、さらなる治療効果の高い術式となった。

診療内容

従来から、カテーテル室での治療、すなわち、アブレーション、PCI、ペースメーカーを心臓病の治療の3本の柱としてきたが、さらに、下大静脈フィルター留置や、末梢血管に対するインターベンションにも適応を拡大している。また、心エコー、TEE、頸動脈エコー、下肢血管エコー、透析シャントエコーにも検査課と共に力を入れて、より高い診療のレベルを目指している。

検査、治療実績

今年度も、循環器疾患におけるインターベンションの様々な可能性を追求し、さらに、治療の幅を広げて、適応を拡大した。近年、冠動脈疾患のインターベンションの適応については、責任冠動脈の灌流域における心筋虚血の証明が重要視されている。この背景をふまえて、当科でも、プレッシャーワイヤーによる FFR 測定を冠動脈造影において、適時、追加して、より精密に虚血を判定している。また、急性心筋梗塞、不安定狭心症に対する緊急 PCI も従来どおり実施している。24 時間オンコールのスタッフ（臨床検査技師、診療放射線技師、看護師）の協力もあり、夜間、祭日でも治療のタイミングを逸することなく、最短の時間でステント留置を実施している。スタッフの迅速な連携により最短の時間で緊急 PCI を実施することを心がけて、door to balloon time < 90 分を目標としている。PCI では、薬剤溶出性ステントを多くの症例に使用した結果、再狭窄も激減して良好な治療成績となっている。当院の PCI は、ほぼ全例で IVUS（冠動脈内超音波）による観察を駆使し、最適なステントの種類、直径、長さを選

扱するようにしている。PCI の適応は小血管、びまん性病変、長い病変、多枝病変、高度石灰化病変にも拡大している。

深部静脈血栓症の症例の増加に伴い、肺塞栓のハイリスク症例においては、下大静脈フィルター留置を施行している。

当院のカテーテル室は、不整脈の症例を対象とした検査、治療が多いのが特徴である。アブレーションについては、2005 年から 2019 年に至るまで、常時、福井県内において上位を維持することができ、開設以来から 2019 年 3 月末までにおいて、アブレーション通算件数 946 件となった。これらの内訳としては、一般には最も難易度が高いとされている心房細動のアブレーションが数多くを占めている。2017 年 2 月以降は、dispersion area mapping によるアブレーション法を持続性心房細動の全症例に実施している。当科のこれらの治療症例について、2018 年度の日本循環器学会総会、日本不整脈日本心電学会総会で発表し、全国の心房細動アブレーションの第一人者たちと意見を交えることができた。

カテーテル検査	件数	カテーテル治療	件数
冠動脈造影	67	アブレーション	49
FFR	11	PCI（ステントあり）	13
スワンガンツ	3	PCI（バルーン拡張のみ）	2
電気生理検査	55	下肢動脈形成術	4
アブレーションあり	49	シャント血管形成術	25
アブレーションなし	6	ペースメーカー移植術	3
		ペースメーカー交換	14
		下大静脈フィルター留置	3
その他検査	件数		
心エコー	1,650		
TEE	60		
頸動脈エコー（末梢血管エコーも含む）	491		
ホルター心電図	817		
心臓 CT	89		

教育

循環器専門医の養成を目指して、毎週火曜日朝にカンファレンスを行い、心疾患の診療方針を議論している。学術的に価値のある症例は、パワーポイントにまとめ、院内内科症例検討会にも提示し、ディスカッションを行っている。

学会活動

学会・講演・研究発表参照

【退院患者疾病分類】

大分類	患者数（人）	比率（％）
I 感染症および寄生虫症	6	1.2
II 新生物	7	1.4
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1	0.2
IV 内分泌、栄養および代謝疾患	24	4.6
V 精神および行動の障害	4	0.8
VI 神経系の疾患	7	1.4
VIII 耳および乳様突起の疾患	14	2.7
IX 循環器系の疾患	288	55.6
X 呼吸器系の疾患	79	15.3
X I 消化器系の疾患	6	1.2
X II 皮膚および皮下組織の疾患	5	1.0
X III 筋骨格系および結合組織の疾患	5	1.0
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	47	9.1
X VIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3	0.6
X IX 損傷、中毒およびその他の外因の影響	22	4.2
計	518	100.0

消化器・一般外科

佐々木 久

外科診療体制

大澤武医師の退職に伴い、浅田康行副院長を筆頭に、木村成里医師、佐々木久医師の3名で外科診療を担当した。

診療内容

外来

月曜日から金曜日の午前、午後および土曜日の午前の初診・再診を担当し、消化器病疾患、一般・消化器外科疾患、血管外科の診療を行った。第三金曜日に肛門外来夕診を行った。

入院

消化器病疾患、手術、癌の化学療法、終末期、血液透析等の患者を担当し入院治療を行った。

消化器内視鏡検査

午前は2名の外科医が上部消化管内視鏡検査、午後は可能であれば1名の外科医が下部消化管内視鏡検査を行った。

外科総回診

毎週水曜日 8時から8時30分まで病棟の外科総回診を行った。

手術

手術担当医師の減少のため、外科手術日を集約した。火曜日は午前から、月・水・木曜日は午後から手術を行った。手術を安全、確実に履行するため外科医と手術室スタッフが連携を取り情報の共有を行った。手術や手術器具に関する事案は手術室運営会議で討議を行い決定した。

救急車対応

土曜日の午前の救急車対応を担当した。

消化器病カンファレンス

毎週水曜日 17時30分から外科、消化器内科、放射線科医師およびコメディカルで消化器病カンファレンスを行った。カンファレンスでは、周術期の問題点の検討を行い、外科手術例や各種内視鏡治療の症例検討を行った。原則的に消化器病疾患において治療方針は参加医師全員でカンファレンスを行い決定した。

実績件数

【手術数】（手術室使用）

単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10	11	12	9	18	12	15	12	5	7	7	10	128

【手術内訳】

単位：件

皮膚皮下組織		胃、十二指腸	
創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径 5cm 未満）	2	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外） （長径 3cm 以上 6cm 未満）	2	胃切除術（悪性腫瘍手術）	3
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外） （長径 6cm 以上 12cm 未満）	1	胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む。）	2
動脈		胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）	3
上腕動脈表在化法	1	胆嚢、胆道	
血管結紮術（その他のもの）	2	胆嚢摘出術	2
内シャント血栓除去術	8	腹腔鏡下胆嚢摘出術	4
動脈血栓除去術（その他のもの（観血的なもの））	1	総胆管胃（腸）吻合術	1
内シャント設置術	22	肝	
動脈形成術、吻合術（その他の動脈）	1	肝嚢胞切開または縫縮術	1
血管移植術、バイパス移植術（その他の動脈）	3	空腸、回腸、盲腸、虫垂、結腸	
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置 （頭頸部その他）	7	小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	1
静脈		虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	4
下肢静脈瘤手術（抜去切除術）	3	虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	3
中心静脈注射用植込型カテーテル設置 （頭頸部その他に設置した場合）	1	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	2
リンパ管、リンパ節		結腸切除術（小範囲切除）	1
リンパ節摘出術（長径 3cm 未満）	1	結腸切除術（全切除、亜全切除または悪性腫瘍手術）	8
腹壁、ヘルニア		人工肛門造設術	3
腹壁膿瘍切開術	1	直腸	
ヘルニア手術（臍ヘルニア）	1	直腸切除・切断術（切除術）	1
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	20	直腸切除・切断術（低位前方切除術）	4
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	1	肛門、その周辺	
腹膜、後腹膜腸間膜、網膜		痔核手術（脱肛を含む）（硬化療法（四段階注射法））	2
試験開腹術	1	肛門良性腫瘍切除術	1
限局性腹腔膿瘍手術（その他のもの）	1		
急性汎発性腹膜炎手術	1	合計	128

【NCD 登録数】

単位：件

	2013	2014	2015	2016	2017	2018
外科学会（消化器外科学会）	339 (153)	317 (157)	300 (143)	293 (128)	233 (113)	214 (75)

注. () 内の消化器外科学会は内数

【退院患者疾病分類】

大分類	患者数（人）	比率（％）
I 感染症および寄生虫症	2	1.2
II 新生物	55	32.9
IV 内分泌、栄養および代謝疾患	4	2.4
VI 神経系の疾患	1	0.6
IX 循環器系の疾患	8	4.8
X I 消化器系の疾患	79	47.3
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	4	2.4
X VIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	0.6
X IX 損傷、中毒およびその他の外因の影響	13	7.8
計	167	100.0

消化器内科

道鎮 正規

消化器内科は道鎮正規、東田元医師による2名体制で外来・入院診療を行っています。日々の業務は午前の外来診察と、午前・午後の内視鏡検査、内視鏡治療、胆道系の処置、入院患者の診療です。入院は内視鏡検査・内視鏡治療の方が多数ですが、山本誠名誉院長の肝疾患、肝腫瘍の治療の方、また回復期病棟の脳卒中の方、施設からの誤嚥性肺炎の方、急性期病院からの在宅・施設へのリハビリ入院の担当も行っています。午後からの大腸内視鏡検査はドックの方2名から3名、外来・入院の患者さまは1日2名から3名検査施行しております。午前・午後の内視鏡検査には外科の先生方のご協力をいただき大変感謝しております。また、福山医院副院長 福山智基先生、福井医科大学出身の谷川亜希子先生、福井県済生会病院外科 加藤泰史先生には毎週内視鏡検査を手伝っていただいております。毎週土曜日には福井大学消化器内科より1名ずつ検査応援をいただいております。外来診療においては月曜日から金曜日の午前に行う内視鏡検査希望の患者さまが増加していますが、鎮静剤使用ばかりではなく、FUJIFILM社の経鼻内視鏡を使用し正確で苦痛の少ない経鼻内視鏡検査が増加しています。また東田医師は2か月に1回、土曜日の午前外来にて炎症性腸疾患の患者さまの予約診療も行っています。

午後の大腸内視鏡検査も外来検査に大部分移行したため、外来看護師にはお手数をおかけしますが、検査開始までの待ち時間が無くなりスムーズに検査施行できるようになりました。

2名体制のため、あまり重症な症例は担当できませんが、毎週水曜日には外科や放射線科の医師とカンファレンスを行い、的確な診断と治療方針の決定について協力して検討しています。また、定期的に福井県胃腸疾患懇話会や肝胆膵勉強会へも参加し研鑽を積んでいます。しかし、昨今の医療事情を鑑み、悪性腫瘍の症例に関しては当院にて治療可能な早期胃癌の症例を本人ご家族の了承の上治療させていただくこととしました。それ以外は治療可能な施設での治療をお勧めし、進行し緩和医療の段階となった症例は本人ご家族のご希望があれば治療する方針としています。

実績報告

【外来】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	2017	326	363	433	417	419	402	431	406	436	384	311	377	4,705
	2018	331	355	392	386	368	352	427	400	386	363	345	398	4,503
初診数	2017	31	41	40	39	46	54	53	52	46	39	36	44	521
	2018	40	46	51	58	54	57	71	58	40	51	63	53	642
再診数	2017	295	322	393	378	373	348	378	354	390	345	275	333	4,184
	2018	291	309	341	328	314	295	356	342	346	312	282	345	3,861

【入院】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	2017	42	29	39	41	41	46	47	31	33	45	29	48	471
	2018	41	18	19	32	33	29	31	25	19	24	24	20	315

【退院患者疾病分類】

大分類		患者数（人）	比率（％）
I	感染症および寄生虫症	16	4.9
II	新生物	56	17.0
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	4	1.2
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	8	2.4
VI	神経系の疾患	3	0.9
VIII	耳および乳様突起の疾患	4	1.2
IX	循環器系の疾患	14	4.3
X	呼吸器系の疾患	10	3.0
X I	消化器系の疾患	202	61.4
X II	皮膚および皮下組織の疾患	1	0.3
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	5	1.5
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	3	0.9
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1	0.3
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	2	0.6
計		329	100.0

透析センター

羽場 利博

取組み事項

2018 年度、血管透析センターには担当医師に大きな変化はなく、月、水、金曜のグループは前川直美室長が、火、木、土曜のグループは木村記代医長が主治医として担当し、診察の応援として羽場利博、熊本輝彦医長が協力、シャントの作成には消化器・一般外科の佐々木久副部長に、シャント血管内治療（VAIVT）には循環器科の後藤拓也医長にご協力いただきました。入院の際には循環器科の先生方と羽場が主治医として担当しました。長年、透析業務を務めていただいた駒田英里子師長が 3B 病棟師長に異動になり、外来師長の宮腰心師長が透析師長に就任し、岸上香織臨床工学課長と看護師 13 名、臨床工学技士 5 名、看護補助者 2 名と共に透析治療にあたっています。

2015 年 10 月に導入された透析監視装置（東レ・メディカル社製 TR-3300M 28 台）にもすっかり慣れ、事故なく安全に透析治療を実施できています。オンライン HDF（Hemo Dialysis Filtration の略、血液濾過透析）モード、I-HDF（間歇補充型 HDF）モードなど多様な治療法で透析を行うことで、患者さまの透析による負担が軽減し、透析の合併症も減らすことができるとともに、生理食塩液を必要としない自動プライミングやワンタッチでの自動脱血や自動返血など、自動化による業務効率化と安全性向上が図られています。

透析患者数は 2017 年度は 2 月の豪雪の影響もあり平均 78.8 人でしたが、2018 年度は維持透析患者数 80 名以上の受け入れを目標とし平均 83.4 人と増加しました。治療内容については、血液透析、血液透析濾過（複雑）、LDL アフェレーシス、吸着式血液浄化療法（エンドトキシン吸着療法）などを継続して行っています。薬物吸着療法、難治性疾患に対する顆粒球除去療法、難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注法などは対象となる患者さまがおらず、実施していません。

2018 年度の診療報酬改定にて人工透析の診療報酬が引き下げとなりましたが、より高度な透析の実施と患者数の増加により、収益増加を確保できました。近年、糖尿病が原因で腎不全となる患者さまが増加しており、糖尿病から透析に至らないように重症化予防に力を入れていく必要があります。しかし、透析が必要となった患者さまには、他科と連携して治療ができる当院の強みを活かし、体の不自由な患者さまには送迎などのサービスをおこない、積極的に腎不全患者の治療にあたっていきたいと思います。

実績報告

【透析数】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
血液透析	917	999	972	1,002	1,011	945	1,048	1,011	999	1,083	956	1,035	11,978
LDL アフェレーシス	1	1	8	4	1	1	1	1	1	1	1	1	22
エンドトキシン吸着療法						1							1
合計	918	1,000	980	1,006	1,012	947	1,049	1,012	1,000	1,084	957	1,036	12,001

【血液浄化療法患者数、透析数】

単位：人、件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2016	患者数	87	86	84	84	86	81	81	81	83	82	76	83	82.8
	透析数	1,011	1,006	1,015	1,012	1,059	979	939	978	1,002	950	857	990	11,798
2017	患者数	80	79	77	76	81	80	78	78	78	81	79	78	78.8
	透析数	921	976	925	917	975	952	965	991	970	988	905	971	11,456
2018	患者数	80	80	82	83	88	81	84	85	84	84	86	84	83.4
	透析数	918	1,000	980	1,006	1,012	947	1,049	1,012	1,000	1,084	957	1,036	12,001

ストレスケアセンター

杉坂 夏子

ストレスケアセンターの地域連携

当科は総合病院内に存在し、開放病棟（41床）のみを有する精神科です。つまり単科の精神病院とは異なり、精神症状はやや軽度で、身体的な合併症がある方、不定愁訴を訴える方に適している病院です。世間における精神疾患の理解が進歩してきましたが、それでも「自分は胸がっただけでうつ病とかではない。」「あちこちで検査しても異常が見つからないが、つらい。何もしてもらえなかった。」などと訴える人はまだまだ多数いらっしゃいます。ある調査によると、うつ病患者さまが初めに訪れるのは精神科・心療内科ではなく、圧倒的に内科など一般科が多いそうです。地域の開業医の先生方も、この訴えは精神疾患だとわかっていても、精神科を紹介すると「そんな風に私のことを見ていたのか！」と腹をたてる患者さまがいらっしゃるようで、紹介に躊躇すると伺っています。当院ではそこをつなぐ役割ができればいいなと思っています。直接ストレスケア科に紹介しにくい場合は、いったん当院の総合内科などを受診し、そこからストレスケア科に紹介ということもよくあります。厚生労働省は抗不安薬の制限にも着手しているので、地域の開業医の先生方は困っておられることだと思います。

2018年度の紹介患者数は合計で370人でした（2017年度は349人）。うち入院に至った方は95人でした（2017年は97人）。表1に示します。当科の入院患者の4割は紹介患者であると前年度報告させていただいたように、当科は紹介患者で支えられている状況です。

私も時々悪化した患者さまを単科精神病院の閉鎖病棟に転院させざるを得ないことがあります。その時は、かなりの心労を味わいます。何件あっても、見つからない時は疲労困憊です。そんな思いを開業医の先生方にはさせたくないと思い、なるべく躊躇せず「喜んで！」と引き受けるように心がけています。スタッフには「どうして入院させたのですか！？」とお叱りを受ける時もありますが…。軽症で入院の必要はないと判断されるケースでも、教育入院は非常に効果的です。軽症でも紹介していただけたら幸いです。

今後ともストレスケアセンターをよろしくお願いします。

表1 紹介患者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	22	20	25	19	21	22	34	24	22	21	20	25	275
入院	9	8	4	5	8	7	9	4	7	9	8	17	95
合計	31	28	29	24	29	29	43	28	29	30	28	42	370

実績報告

【外来】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	2017	2,481	2,652	2,775	2,613	2,712	2,626	2,612	2,555	2,509	2,413	1,996	2,679	30,623
	2018	2,451	2,634	2,646	2,633	2,732	2,383	2,761	2,698	2,699	2,644	2,516	2,723	31,520
初診数	2017	39	32	46	42	49	43	46	42	43	36	25	35	478
	2018	33	48	36	27	41	44	53	49	35	35	36	41	478
再診数	2017	2,418	2,586	2,610	2,606	2,691	2,339	2,708	2,649	2,664	2,609	2,480	2,682	31,042
	2018	2,442	2,620	2,729	2,571	2,663	2,583	2,566	2,513	2,466	2,377	1,971	2,644	30,145

【入院】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	2017	17	24	17	19	22	23	29	22	29	22	13	27	264
	2018	27	30	17	28	15	16	17	19	19	25	15	13	241

整形外科

古澤 修章

今年度の整形外科は、5月より再び1人体制となつてしまい、かなりの診療の縮小が懸念されましたが、コメディカルスタッフ、非常勤医師などの協力もあって、外来、入院患者数、手術件数など、前年度に遜色ない数値を残すことができました。また病診、病病連携に関しても前年度同様にスムーズな対応ができ、他院より多くのご紹介をいただきました。

疾患ではやはり高齢者が中心で、外来は変形性関節症や骨粗鬆症など、入院は高齢者の大腿骨頸部骨折、腰椎圧迫骨折などの症例が多かったと思います。これら高齢者の場合、合併症がある場合が多く、入院患者においては内科の先生方の助けをいただいて何とか大きな問題もなく診療していくことができ、感謝しています。しかし今後も1人体制で、現在のように非常に多くの患者に対応していけるかは、私個人の気力、体力に負うところが大きく、未確定であると思っています。やはり安定的に診療を続けていくためには、医師の増員が不可欠であると思います。今後も高齢化社会で整形外科患者は増え続けると思われ、できる限り、地域の患者さまのニーズに答えていきたいと思っています。

実績報告

【手術数】

単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10	6	4	9	6	1	6	2	5	7	4	7	67

【手術内訳】

術式	件数
陥入爪手術	1
偽関節手術	1
骨折観血的手術	25
骨折経皮的鋼線刺入固定術	1
骨内異物（挿入物）除去術	5
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術	1
神経剥離術	3
人工関節置換術	4
人工骨頭挿入術	9
椎間板摘出術	1
腱鞘切開術	16
合計	67

【退院患者疾病分類】

大分類	患者数（人）	比率（％）
Ⅱ 新生物	1	0.4
Ⅳ 内分泌、栄養および代謝疾患	2	0.7
Ⅵ 神経系の疾患	2	0.7
XⅠ 消化器系の疾患	1	0.4
XⅡ 皮膚および皮下組織の疾患	5	1.9
XⅢ 筋骨格系および結合組織の疾患	43	16.0
XⅦ 先天奇形、変形および染色体異常	1	0.4
XⅨ 損傷、中毒およびその他の外因の影響	214	79.6
計	269	100.0

放射線科

高橋 範雄

前年度より引き続き、福井大学から、月曜日午前に非常勤医師を派遣してもらい、休日施行した画像検査の報告書をより迅速に作成しています。さらに木曜日午前に主として巡回健診読影を担当する非常勤医師を派遣してもらっています。

保険診療の検査に関しては従来通り、CT、MRI 検査は全例読影し、単純写真および消化管造影検査は読影依頼のあるものを読影しています。US に関しては画像課技師が担当する腹部および表在検査をチェックしています。外来の胸腹部単純撮影に関しては、読影依頼の無い症例も報告書を作成し、異常所見があった場合には依頼医にメールで報告しています。

CT 造影検査の立会いは、午前中は他科の先生にお願いし、午後のみ担当しています。

健診業務は CT および MRI、院内の胸部写真全例を読影しました。腹部超音波は月・木曜日以外は一次読影者から相談のあった症例のみチェックしました。明らかな異常所見があり、早急な受診が望ましいと判断した場合には、健診担当医に連絡しています。

画像診断管理加算 1 は+38%と大幅に増加した一方、保険診療の CT および MRI 検査数（コンピュータ断層診断）と画像診断管理加算 2 は微減しました。

毎週木曜日朝の画像カンファレンスでは過去 1 週間の教育的あるいは興味深い症例の画像を供覧、毎週水曜日夕方の消化器病カンファレンスにも参加しています。

福井県肝胆膵勉強会、北陸画像診断勉強会、JCR ミッドサマーセミナー、日本医学放射線学会総会および秋期臨牀大会等院外の研究会、学会に参加し、研鑽を積んでいます。

実績報告

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比
読影														
画像診断管理加算 1	504	570	532	537	548	497	528	486	544	573	479	521	6,319	138%
画像診断管理加算 2	440	480	511	472	504	462	492	455	443	413	423	463	5,558	98%
コンピュータ断層診断	436	480	512	471	502	462	494	456	443	413	423	463	5,555	97%
アンギオ														
血管塞栓術(腹腔内血管)	2		2	2		2		1	1	1			11	122%

婦人科

福岡 哲二

婦人科では、2019 年 1 月より、銅愛医師（常勤）による月曜午前、平崎真由子医師（非常勤）による火曜午前、水曜午後の外来診療が開始し、月曜から土曜の毎日の診療体制ができました。

当科で治療している婦人科疾患は、月経困難症、月経前緊張症、月経異常、過多月経、性行為感染症、鉄欠乏性貧血、更年期障害、子宮筋腫、子宮内膜症など多岐にわたります。10～20 歳代ではクラミジア感染、ヘルペス感染などの性行為感染症、月経困難症が多く、30～50 歳までは、月経異常、子宮筋腫、子宮内膜症、鉄欠乏性貧血、卵巣嚢腫が多くなります。45 歳から 55 歳の閉経前後では、特に月経不順、不正性器出血、更年期障害の頻度が増加します。閉経後では、陰部不快（疼痛、掻痒）、骨盤内臓脱（子宮、膣）が多くなり、高齢社会を反映し寝たきり女性の子宮嚕腫も増加しています。閉経後の女性には、骨密度検査を積極的にすすめ、骨量減少症には生活指導、骨粗鬆症には内服治療を行い、骨折予防による寝たきり防止に努めています。

水曜から土曜の午前の外来では、2015 年 8 月より、福井県の医療機関で初めての「冷え症・漢方外来」（福岡が担当）を併設し漢方診療を行っています。「冷えは万病のもと」という言葉があるように、「冷え」を放置していると免疫力の低下、代謝機能低下を引き起こし、生活習慣病に発展していきます。『冷え性』とは手や足や腰などの体の一部が冷えてつらいと自覚している状態をいいますが、西洋医学では特別な疾患がない限りは体質として扱われます。それに対して、漢方医学における『冷え症』とは、体の内部の体温低下（冷え）が、手足の冷えやそのほか様々な症状（頭痛、胃痛、腹痛、腰痛、関節痛、神経痛等）を引き起こしている状態をいい、病気として扱います。

西洋医学にはこの体の内部の体温低下（冷え）に対して治療方法はありませんが、漢方医学には、漢方薬による体を温める治療があります。また、漢方薬治療は、心と身体を一体のものとして扱う「全人的医療」であり、気血水のバランスを整えることにより自然治癒力を高めて治す「守りの医療」であり、かつ個々の人に合わせた「オーダーメイド医療」です。

「冷え症・漢方外来」では冷え症のみならず、体と心の悩み・症状に対して漢方薬治療を行っています。例えば西洋薬でよくならない腰痛、関節痛、肩こり、頭痛、不眠、便秘、腹部膨満感、下痢症、動悸や不安を伴うパニック発作などです。沢山の患者さまが漢方薬のすばらしさを実感されています。漢方薬は薬ですから、副作用がないわけではありません。使い方を間違えれば、患者さまを苦しめることになります。治療の成否は、患者さまの「証＝漢方医学的診断」をいかに、問診、視診、触診（脈診、腹診）などで正しく診断するかにかかっています。これからも、診断力を高めながら、患者さまの訴えに真摯に耳を傾け、一人でも多くの方が快適な毎日が送れるよう、努力していきます。

形成外科

多田 朋子

2018 年度 4 月より形成外科は、常勤医 1 名、非常勤医 3 名体制となり週 5 日の診療を行えるようになりました。

保険診療では、診療日数の増加に伴い初診、再診ともに患者数を増やすことができました。また、他院から紹介を頂くことで外来患者数の増加に伴い、手術件数も増やすことができました。外来での主な診療は外傷による創傷や軽度の熱傷に対する処置や、日帰りで行えるような皮膚腫瘍切除術や皮膚切開術などの小手術を行っています。入院患者の褥瘡の処置と併せて週 1 回の褥瘡回診を行い、予防法などの指導も行っています。

自由診療ではレーザーを使用した皮膚腫瘍の切除やフォトフェイシャルを用いた肌老化に対する美容施術なども行なっています。

2019 年度からはさらに 1 人常勤医が増え 2 人体制となるため、より外来診療の時間を拡充できるようになります。形成外科という分野はあまり周知されていないようなので、今後は診療領域について周知を図るとともに、地域医療に貢献できたらと考えています。

実績報告

1) 保険診療部門

【外来】

単位：人

	年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
患者数	2017	23	26	25	21	22	23	37	27	36	26	12	16	294
	2018	16	54	62	49	55	32	41	46	46	41	33	67	542
初診数	2017	1	1	3	3	2	2	1	4	1			2	20
	2018	4	4	3	3	6	4	6	3	5	6	3	5	52
再診数	2017	22	25	22	18	20	21	36	23	35	26	12	14	274
	2018	12	50	59	46	49	28	35	43	41	35	30	62	490

【手術件数】

術式	件数
皮膚切開術（長径 10cm 未満）	23
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2cm 未満）	15
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2cm 以上 4cm 未満）	5
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3cm 未満）	13
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3cm 以上 6cm 未満）	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（大腿）	1
ひょう疽手術（軟部組織のもの）	1
陥入爪手術（簡単なもの）	1
足底異物摘出術	1
眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	4
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）	2
眼瞼内反症手術（皮膚切開法）	1
皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（25cm ² 未満）	1
合計	69

2) 自由診療部門

【施術件数】

施術名	件数
イオン導入	5
ピアッシング 両耳	2
ボトックスビスタ（50 単位）	1
リードファインリフト（顔）	2
レーザー治療しみ 1cm ² あたり	4
レーザー治療ほくろ、いぼ～2mm	13
レーザー治療ほくろ、いぼ 2mm～3mm	1
レーザー治療ほくろ、いぼ 4mm～	4
光線治療 1 回	4
光線治療 5 回セット	10
光線治療 6 回以降 1 年まで	33
光線治療顔全体照射ヤグレーザー1 回	1
光線治療顔全体照射ヤグレーザー5 回セット	3
光線治療顔全体照射ヤグレーザー6 回以降 1 年迄	2
光線治療手指のヤグレーザー1 回	1
合計	86

看護部

酒井 多貴子

看護部では、地域包括ケアシステムの中で、患者さまがその人らしい生活を送るために、専門職としての高い倫理観を持ち、安全で質の高い看護の実践を目指しています。

そのために、医療チームの一員としての役割が果たせる看護職の育成に取り組んでいます。

以下、看護部年間活動目標と活動状況を記載いたします。

看護部理念

私たちは、患者さまに温かく心の通う看護
質の高い安全な看護を提供します

活動目標および取組み事項

基本方針

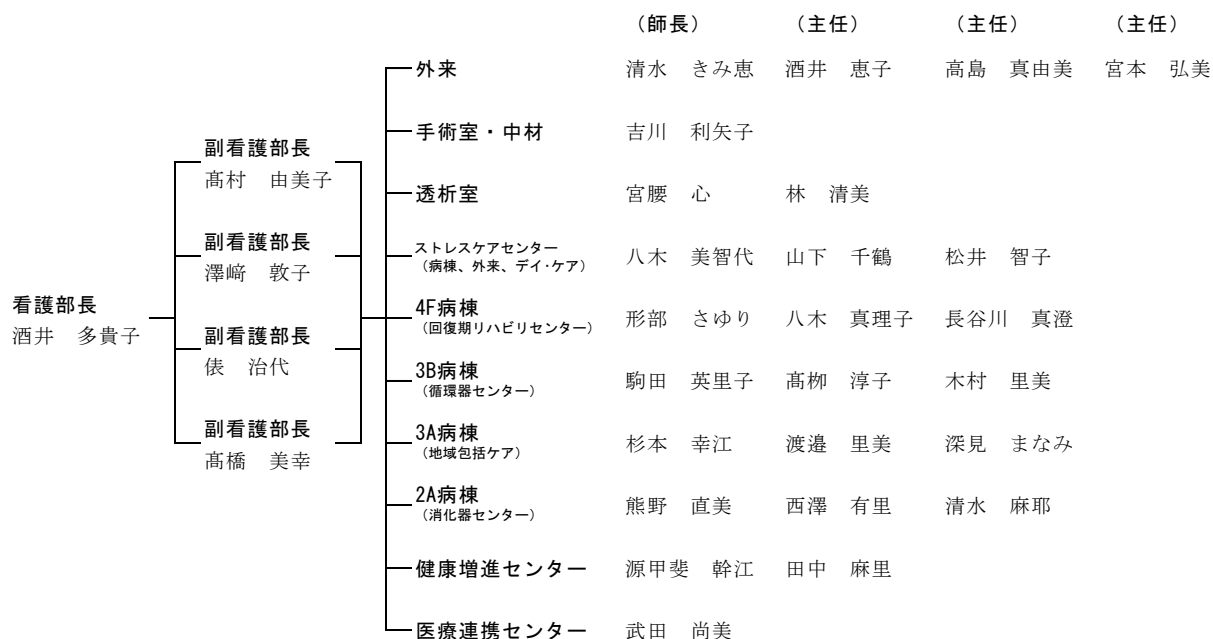
患者さまが居心地良く過ごせ、スタッフが生きいきと看護できる職場環境整備

重点目標

- 1 安心・安全で質の高い看護の提供
 - 2 人材育成
 - 3 働き続けられる職場環境整備
 - 4 病院経営への参画
-
- 1ー①インシデント KYT の充実による安全意識の醸成
 - ②ダブルチェックによる事故防止対策
 - ③標準予防策の遵守
 - ④地域包括ケアシステムに於ける役割遂行
 - 2ー①教育ラダーシステム、ポートフォリオの定着
 - ②科学的根拠に基づいたアセスメントができる看護師の育成
 - ③学研 e ラーニングの活用促進
 - ④院内外研修会への参加促進
 - ⑤ペア制業務の定着
 - 3ー①業務整理による定時退社励行
 - ②連続有給休暇取得促進
 - ③業務改善活動
 - 4ー①病床利用率 85%以上確保
 - ②物品の適正管理による経費削減

2018 年 4 月

看護部組織図



(2019年3月31日)

看護職員離職率

常勤看護職員離職率	8.2%
新卒看護職員離職率	0.0%

有資格者・研修受講者一覧

感染管理認定看護師	中島 治代
皮膚・排泄ケア認定看護師	宮腰 心
医療安全管理者	酒井 多貴子、森川 裕美、源甲斐 幹江、駒田 英里子
認定心理士	松井 智子
日本糖尿病療養指導士	林 清美
福井糖尿病療養指導士	宮本 弘美、渡邊 里美、武田 尚美、林田 あゆ美
消化器内視鏡技師	高島 真由美、酒井 恵子、佐々木 里枝、松田 美津紀、 林 清美、浅井 美津江
精神保健福祉士	澤崎 敦子、清水 きみ恵
院内臓器移植コーディネーター	武田 尚美、熊野 直美
認定看護管理者研修 ファーストレベル 修了者	高村 由美子、澤崎 敦子、源甲斐 幹江、吉川 利矢子 宮腰 心、武田 尚美、八木 美智代、清水 きみ恵、 熊野 直美、駒田 英里子、杉本 幸江、深見 まなみ、 山下 千鶴、松井 智子、浅井 信子、森川 裕美、高橋 美幸

認定看護管理者研修 セカンドレベル 修了者	澤崎 敦子、高橋 美幸
臨地実習指導者研修 修了者	八木 美智代、高柳 淳子、長谷川 真澄、中野 謙吾、 塚谷 友花里、玉村 真衣

看護部教育活動

研修会参加状況

院内研修：延 1,083 名参加

月	日	研修項目	参加人数
4	4・5	看護補助者研修（感染予防・安全）	新人看護補助者 3 名
	5	食事介助・感染予防・医療安全	新人看護師 15 名、 看護補助者 1 名
	6	採血・血糖検査・血液培養採取・経管栄養	新人看護師 15 名
	9	筋肉・皮下注射・口腔ケア・全身清拭・陰部洗浄・排泄物	新人看護師 15 名
	13・16	輸液ポンプ・シリンジポンプ	新人看護師 15 名
	19	看護管理者研修（重点課題実行計画について）	看護職員 14 名
	19・23	静脈注射・生食ロック	新人看護師 15 名
5	7・10	滅菌物の取扱い	新人看護師 15 名
	14・17	導尿	新人看護師 15 名
	17	看護管理者研修（重点課題実行計画）	看護職員 14 名
	21・24	与薬業務シミュレーション	新人看護師 15 名
	28	呼吸器フィジカルアセスメント	新人看護師 15 名
	29・31	看護補助者研修（清潔のお世話）	看護補助者 37 名
6	4・7	吸引	新人看護師 15 名
	11	3 か月フォローアップ	新人看護師 15 名
	18・21	排泄介助（排便・浣腸）	新人看護師 15 名
	21	看護管理者研修（中間発表 1 回目）	看護職員 14 名
	25・28	留置カテーテル	新人看護師 15 名
7	2	輸血	新人看護師 15 名
	12・23	身体拘束	新人看護師 15 名
	13	循環器フィジカルアセスメント	新人看護師 15 名
	19	プリセプター研修（フォローアップ研修）	看護職員 15 名
	19	看護管理者研修（グループワーク）	看護職員 14 名
	23・26	看護補助者研修（排泄のお世話）	看護補助者 35 名
	26	深部静脈血栓予防	新人看護師 15 名
8	6・9	エンゼルケア	新人看護師 15 名
	13・16	気管挿管	新人看護師 15 名
	16	看護管理者研修（グループワーク）	看護職員 14 名
	20	インシュリン製剤の取扱い	新人看護師 15 名
9	10・13	看護補助者研修（食事のお世話）	看護補助者 34 名
	20	6 か月フォローアップ	新人看護師 15 名
	20	認定看護師出前講座（認知症看護）	看護職員 24 名
	20	看護管理者研修（中間発表 2 回目）	看護職員 14 名
10	15	酸素吸入	新人看護師 15 名

月	日	研修項目	参加人数
10	18	看護管理者研修（グループワーク）	看護職員 14 名
	23	上期伝達講習会	看護職員 46 名
	25	プリセプター研修（コーチング）	看護職員 14 名
11	8	ラダーⅡ研修（ストレス対処法）	看護職員 15 名
	12・15	看護補助者研修（移動のお話）	看護補助者 31 名
	15	看護管理者研修（中間発表 3 回目）	看護職員 14 名
	19	造影剤／麻薬	新人看護師 15 名
	29	認定看護師出前講座（慢性呼吸器疾患看護）	看護職員 24 名
12	10	認定看護師出前講座（精神科看護）	看護職員 24 名
	13・20	ラダーⅢ研修（後輩看護師の学びを助ける）	看護職員 23 名
	17	9 か月フォローアップ	新人看護師 15 名
	20	看護管理者研修（グループワーク）	看護職員 14 名
	26	プリセプター研修（悩み相談）	看護職員 14 名
1	10・24	ラダーⅣ研修（リーダーシップ）	看護職員 57 名
	17	看護管理者研修（まとめ）	看護職員 14 名
	21・24	モニター心電図／12 誘導	新人看護師 15 名
	22・25	看護補助者研修（感染予防の基本を学ぶ）	看護補助者 40 名
2	5・14	ラダーⅤ研修（リフレクション）	看護職員 18 名
	18	グリーフケア	新人看護師 15 名
3	18	1 年目の振り返り（看護観）	新人看護師 15 名
	19	下期伝達講習会	看護職員 46 名
	26・29	看護補助者研修（業務の責任と倫理）	看護補助者 37 名

院外研修：延 172 名参加

月	日	研修項目	参加人数
4	13	医療安全セミナー	2 名
5	12	他科に誇れる精神科の専門技術	4 名
	18	やってみよう！看護研究 実践編	8 名
	26・27	社会生活技能訓練（SST）初級研究	2 名
	31～	実習指導者講習（～8/31）	1 名
6	6・7	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	1 名
	8	時代が求める病院の役割	1 名
	16	看護研究を始めよう 研究的視点をもつための基礎的な研究方法を学ぶ	1 名
	23	アンガーマネジメント	1 名
	24	18 重症度、医療・看護必要度評価者研修	3 名
	29～	訪問看護師養成講習会（～11/28）	1 名
	30	精神科基礎研修Ⅰ 主な精神疾患の特徴と治療	4 名
7	2・6	新人看護研修「看護協会の組織とは」	9 名
	7	看護学教育モデル・コア・カリキュラムについて	1 名
	7～8	透析療法従事職員研修	1 名
	12・30	認知症対応力向上研修	5 名
	13	現場でいかせる BSC（バランス・スコアガード）	1 名
	21	ディズニーランドの接遇・モチベーション講座	2 名

月	日	研修項目	参加人数
7	29	僕が発達障害だからできること	3名
8	3	新人看護職員研修「医療看護安全の基礎知識」	11名
	6	認知症対応力向上研修	5名
	18	がん患者の意向を支えるコミュニケーションと多職種チームで行う退院支援	4名
	21～22	災害支援ナースの第一歩	1名
	25	医療的ケア教員講習会・喀痰吸引教員講習会	1名
	26	18 重症度、医療・看護必要度評価研修	2名
	27	テルモメディカルセミナー当院におけるインスリン関連インシデント取組み	4名
9	4～	第 25 回認定看護管理者教育課程 ファーストレベル（～11/8）	1名
	12～	退院支援研修（～11/28）	2名
	17	スキンケアセミナー	2名
	18	教育担当者研修 共に育つ	3名
	22	医療現場での抑制しない看護のチャレンジ	2名
	26	東日本大震災の被災体験から学ぶ災害対策や授受体制	2名
	29	精神科病棟における身体抑制について	1名
10	4	薬剤耐性菌対策を学ぼう	1名
	5	認知症の方の暴言、暴力、介護拒否への対応	1名
	11・12	多死社会に求められる看取りの看護	2名
	13	フィジカルアセスメントシリーズ 10 呼吸のアセスメント	3名
	13	看護が見える！重症度、医療、看護必要度の記録のポイント	2名
	18・26	認知症対応力向上研修	5名
	20	災害看護研修実践編「事例を通して災害支援ナースの活動を考えよう」	2名
	20	地域包括ケアシステムと看護師の役割	3名
	20～21	第 10 回北陸がんリハビリテーション研修会	1名
	27	看護師職能 I・II 合同研修会	1名
	30	糖尿病ケアの基本と最新情報	2名
11	2	認知症対応力向上研修	5名
	9	看護師のクリニカルラダーについて	4名
	16	看護イノベーション自分も元気に、組織も元気に	4名
	17	看護現場での指導スキルを磨こう	4名
	17	発達障害の理解とケア	1名
	17	他科に誇れる精神科看護の専門技術	1名
	18	摂食障害の理解とケア	1名
	21	薬剤耐性菌対策を学ぼう	2名
	28	教育担当者研修 新人職員を教育する体制づくり	2名
	28	若手・中堅社員の育成に関する無料フォーラム	1名
	30	働き続けられる、労働環境づくり WLB 推進取組報告	7名
12	8	高齢者の皮膚の特徴とケア・スキンケアの発生要因と予防	1名
	9	福井県緩和医療研究会	1名
1	19	急性期病院・回復期病棟病院・地域包括ケア病棟と在宅をつなぐネットワーク作り	1名
	25	平成 30 年度医療研究会	11名
	30	緩和ケア 見える事例検討会	1名
2	9～11	北越ストーリーリハビリテーション講習会	1名
	20	2 年目に向けてこれからの自分の目標を考える	4名
	26	認知症高齢者のせん妄に対するケア	1名

月	日	研修項目	参加人数
2	27	新人看護職員研修「スタッフ全員で新人を育てる組織づくりにむけて」	4名
3	5	誰も教えてくれない抄録の書き方、スライドの作り方	1名
	15	はじめよう！看護研究 基礎編	9名

学会参加：延 19 名参加

月	日	学会名	参加人数
6	15～17	第 43 回日本精神科看護学会	1名
	29～	日本透析医学会学会（～7/1）	1名
7	19～20	日本看護学会 精神看護学会	1名
	27～28	日本うつ病学会	1名
8	30～31	人間ドック学会	1名
10	4～5	第 7 回日本精神科医学会学会	1名
	25～27	第 25 回日本精神科看護専門学会	1名
11	23～24	日本手術看護学会年次大会	2名
2	14	第 34 回日本静脈経腸栄養学会学会	1名
	22～23	日本環境感染学会 第 34 回総会・学会	2名
3	9	第 32 回近畿・北陸地方学会 看護研究イノベーション	2名
	9	第 15 回日本褥瘡学会中部地方学会 教育セミナー	5名

看護部年間活動

	活動内容
4 月	新人看護職員研修
5 月	看護の日 記念行事 看護師養成施設 訪問 福井高校 就職説明会参加 福井医療短期大学 合同就職説明会参加 福井高校衛生看護科 成人看護実習受け入れ
6 月	第 1 回採用試験・面接 重症度、医療・看護必要度 指導者研修
7 月	高等学校訪問 サマー求人説明会参加 看護補助者プチ体験開催（初） 里帰り研修 第 2 回採用試験・面接 看護必要度 e-learning 実施 福井高校衛生看護科 基礎 I 実習受け入れ 福井高校衛生看護専攻科 慢性期実習受け入れ 美山ふれあいまつり 救護班派遣

活動内容

8 月	高校生 1 日看護体験 インターンシップ研修 看護必要度講義・演習・テスト 第 3 回採用試験・面接
9 月	第 4 回採用試験・面接 美山地区敬老会 救護班派遣 福井高校 戴帽式出席 認知症看護認定看護師 出前講座 福井高校衛生看護専攻科 急性期実習受け入れ
10 月	中学生職場体験受け入れ 各部署防災訓練実施 美山地区そば祭り、文化祭 救護班派遣 福井高校衛生看護科 基礎Ⅱ実習受け入れ 福井高校衛生看護専攻科 急性期実習受け入れ 福井高校衛生看護専攻科 統合実習受け入れ
11 月	中学生職場体験受け入れ 福井高校衛生看護科 基礎Ⅲ実習受け入れ 福井高校衛生看護専攻科 老年看護学実習受け入れ 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 出前講座
12 月	職員満足度調査 実施 認知症加算研修 精神科認定看護師 出前講座
1 月	院内研究発表会 WLB 活動発表（看護協会） 看護師養成施設・高校訪問
2 月	看護師養成施設・高校訪問 師長・教育異動 実施 近畿厚生局監査
3 月	福井県立看護専門学校 就職説明会 就職説明会

リハビリ課

桑野 寛之

事業方針

- 1 安全で質の高い技術の提供
同類インシデントの再発防止および KYT の促進
- 2 人材育成と確保
人事考課シートの有効活用
職員の能力を把握し最大限に生かした目標を設定
来年度採用計画の早期対応
- 3 職場環境の整備
働きやすく明るい職場づくり（部門内および部門間の連携強化）
残業時間の偏り防止・効率化
- 4 実績の維持・向上
部門単位の実績・傾向把握および対策
新規事業（短時間型通所リハビリセンター）への取組み
コスト削減に向けての職員一人ひとりの意識変革

実績報告

【医療保険部門】

1) 各療法別推移

単位：実施単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
理学療法	12,548	13,869	13,773	13,536	13,445	12,466	12,122	11,431	11,809	11,601	11,147	11,475	149,222	86.6%
作業療法	5,987	6,125	6,384	6,239	6,201	6,116	6,510	6,071	5,990	6,218	5,709	5,707	73,257	105.4%
言語療法	727	905	838	975	1,017	815	765	673	556	500	484	609	11,560	125.8%
摂食療法	140	141	161	140	166	181	263	288	308	296	290	322		
合計	19,402	21,040	21,156	20,890	20,829	19,578	19,660	18,463	18,663	18,615	17,630	18,113	234,039	93.2%
物理療法	38	41	53	40	44	59	160	145	112	124	145	121	1,082	145.6%

2) 部門別推移

単位：実施単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
外来	5,646	5,980	6,112	6,288	6,259	5,649	6,038	5,440	5,643	5,525	5,098	4,739	68,417	94.6%
一般入院	4,000	4,995	4,818	4,796	4,798	4,364	4,151	4,444	4,175	4,431	4,038	4,758	53,768	86.0%
包括ケア	3,660	3,497	3,630	3,687	3,174	3,155	2,754	2,373	2,830	2,768	2,886	2,783	37,197	90.0%
回復期	6,096	6,568	6,596	6,119	6,598	6,410	6,717	6,206	6,015	5,891	5,608	5,833	74,657	99.8%
合計	19,402	21,040	21,156	20,890	20,829	19,578	19,660	18,463	18,663	18,615	17,630	18,113	234,039	93.2%

3) 疾患別リハビリ推移

単位：実施単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
外来														
運動器	5,131	5,495	5,593	5,766	5,688	5,143	5,511	4,966	5,167	5,049	4,677	4,364	62,550	94.8%
脳血管	481	443	482	491	520	462	490	410	425	440	388	342	5,374	90.3%
呼吸器	8	10	8	10	6	6	4	8	8	8	8	8	92	91.1%
心大血管	20	21	23	21	45	38	30	48	26	24	20	20	336	211.3%
摂食	6	11	6				3	8	17	4	5	5	65	55.1%
入院														
運動器	8,359	9,055	9,506	8,731	7,773	7,468	8,078	7,720	8,019	7,924	7,846	8,733	99,212	94.6%
脳血管	2,438	2,788	2,413	3,315	3,771	3,273	2,327	2,161	2,484	2,336	2,030	2,027	31,363	99.7%
廃用	882	1,160	977	811	999	1,290	1,211	907	720	963	1,070	1,108	12,098	95.1%
呼吸器	1,166	1,033	1,022	747	978	785	956	1,185	975	1,004	515	360	10,726	71.1%
心大血管	331	252	307	207	351	394	441	397	382	294	406	439	4,201	111.3%
がんリハ	446	642	664	651	532	538	349	373	149	277	380	390	5,391	55.3%
摂食	134	130	155	140	166	181	260	280	291	292	285	317	2,631	267.7%
合計	19,402	21,040	21,156	20,890	20,829	19,578	19,660	18,463	18,663	18,615	17,630	18,113	234,039	93.2%

【介護保険部門】

短時間型通所リハビリセンター（しあわせ元気リハ）

単位：実施単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
理学療法	29	74	124	172	242	219	260	277	250	253	261	283	2,444
作業療法							31	33	29	30	31	33	187
言語療法		4	7	9	13	12	15	16	15	15	15	17	138
合計	29	78	131	181	255	231	306	326	294	298	307	333	2769

まとめ

- ①リハビリ課全体の医療保険の実績は前年度比 93.2%と低下した。要因としてはリハビリ課職員の年間平均常勤換算が前年度に比べ 1.375 減少していることと、②に示すように外来患者のうち、要介護認定者が新規介護保険事業として開設した「短時間型通所リハビリセンター」に移行したことが挙げられる。また、疾患別では「がんリハ」の入院対象者の減少によりリハビリ件数も大きく減少となっているものの、心大血管および摂食療法の件数は増加した。特に摂食療法に関しては診療情報管理室との連携により対象者をリストアップし、さらに主治医に嚥下造影検査を依頼し、単位が取得できるよう積極的に働きかけた。

- ②2019 年 4 月より入院以外の患者について要介護被保険者等に対する疾患別リハビリテーション料の算定が認められなくなる制度改正に向け、4 月よりリハビリ室内に「短時間型通所リハ（しあわせ元気リハ）」を開設した。要介護認定を受けている外来患者の 95%は 9 月までに介護保険に移行できており、また、包括・居宅事業所に積極的に広報を行ったことにより、新規利用者の紹介もあり、件数も増加傾向となっている。
- ③審査支払機関からの返戻件数減少に向けて、医事課と対応策を検討し取り組んだ結果、返戻件数の大きな減少へと繋がった。

画像課

笠原 耕司

取組み事項

高度医療機器の有効活用と稼働率の向上

- ・画像課全体の業務量は、42,980 件と前年度比 5%（－2170 件）の減少

業務改善事項

- ・CT、MR、一般撮影等すべてのマニュアルの訂正、作成
- ・一般撮影の表示画像を統一化
- ・5S 活動の実施
- ・一般撮影時の待ち時間対策
- ・外科用イメージの線量管理

教育

- ・学会への参加
- ・認定資格の新規取得（乳房撮影認定技師 1 名）
- ・循環器医師との勉強会を実施
- ・新人教育

環境

- ・外科用イメージ装置の入替え

まとめ

今年度画像課では、4 名の職員が入職した。教育に力を入れ、新人教育プログラムを立案し計画通りに進める事ができた。

全体の業務量は前年度比 5%減少した。超音波検査は増加したものの、一般撮影、CT、DEXA の減少が目立った。

来年度の病院機能評価更新に備えマニュアルの整備を行い、新たなマニュアルを作成した。

診療用放射線に係る安全管理体制について、医療法施行規則が改正され 2020 年 4 月 1 日より施行される。CT 装置、血管撮影装置において被曝線量の管理及び記録を行うこととなり、運用方法について情報を収集し今後検討していく。

実績報告

【合計】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	1,888	2,132	2,277	2,229	2,130	1,936	2,234	2,126	1,909	1,827	1,748	1,463	23,899
超音波	509	620	711	708	737	634	728	647	610	564	545	439	7,452
CT	346	355	401	361	388	382	374	338	352	330	326	335	4,288
MRI	185	212	247	201	210	178	234	204	184	175	183	202	2,415
乳房	156	187	207	180	220	179	237	213	197	181	150	80	2,187
心カテ	15	11	10	21	17	12	14	11	15	12	13	7	158
アンギオ	1		2	2		2		1	1	1			10
DEXA	56	46	50	38	47	31	47	32	31	25	22	35	460
胃透視	136	175	229	201	158	184	204	189	171	111	127	67	1,952
その他	23	24	7	15	9	10	11	14	10	8	7	21	159
合計	3,315	3,762	4,141	3,956	3,916	3,548	4,083	3,775	3,480	3,234	3,121	2,649	42,980

【保険診療】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	1,006	1,096	1,112	1,010	1,095	861	1,024	947	950	1,012	904	974	11,991
超音波	207	215	204	219	229	198	225	194	180	181	179	223	2,454
CT	335	345	386	353	373	364	348	317	323	311	310	322	4,087
MRI	153	175	198	160	179	137	188	167	152	135	139	186	1,969
乳房			4	1	1	1	2	2	1		2	2	16
心カテ	15	11	10	21	17	12	14	11	15	12	13	7	158
DEXA	42	36	38	30	37	21	35	22	25	19	13	26	344
胃透視	8	10	10	6	8	6	8	6	8	6	9	4	89
その他	24	24	9	17	9	12	11	15	11	9	7	21	169
合計	1,790	1,912	1,971	1,817	1,948	1,612	1,855	1,681	1,665	1,685	1,576	1,765	21,277

【健診・ドック（院内）】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	882	1,036	1,165	1,219	1,035	1,075	1,210	1,179	959	815	844	489	11,908
超音波	302	405	507	489	508	436	503	453	430	383	366	216	4,998
CT	11	10	15	8	15	18	26	21	29	19	16	13	201
MRI	32	37	49	41	31	41	46	37	32	40	44	16	446
乳房	156	187	203	179	219	178	235	211	196	181	148	78	2,171
DEXA	14	10	12	8	10	10	12	10	6	6	9	9	116
胃透視	128	165	219	195	150	178	196	183	163	105	118	63	1,863
合計	1,525	1,850	2,170	2,139	1,968	1,936	2,228	2,094	1,815	1,549	1,545	884	21,703

検査課

佐々木 眞弘

取組み事項

- ・ 外来処置室業務である採血に加え、検体採取にも検査技師応援体制を構築
- ・ 病理診断の迅速化対応として病理免疫染色を開始
- ・ 血液培養陽性のグラム染色を開始し、陽性時の報告を迅速化
- ・ 病棟検体採取容器管理を定数管理に変更し、補充や使用期限の管理簡素化
- ・ 糖尿病患者さまへの自己血糖測定穿刺器具・測定器の説明を検査技師が中心となり実施
- ・ 尿沈渣で尿路感染が疑わしい場合は ICN を通じて培養検査追加できるように報告と検体保管を行うようにし、培養実施率の向上に寄与
- ・ 検査の質向上のため、積極的に研修会へ参加（合計 33 回）

実績報告

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生理機能													
心電図	1,054	997	1,072	994	860	971	904	939	938	935	958	1,106	11,728
長時間心電図	66	68	83	64	46	59	71	66	66	73	73	68	803
心臓超音波	220	229	272	249	209	215	227	220	196	191	213	227	2,668
呼吸機能	13	9	16	17	15	14	23	16	15	15	19	18	190
脳波	18	6	12	5	19	7	15	5	10	3	9	6	115
筋電図	1	4	2	2	5	3	6	5	6	3	2	6	45
聴力検査	62	54	40	20	56	38	50	49	43	41	37	31	521
病理													
病理	99	138	131	121	117	87	99	126	118	109	106	124	1,375
細胞診													
細胞診	169	200	273	265	241	226	248	250	209	250	239	138	2,708
検体													
術中迅速	1		2	2		2	3	3	1		1		15
尿検査	956	851	965	914	969	993	954	997	1,008	1,076	938	996	11,617
血液検査	2,095	2,081	2,158	2,089	2,230	2,217	2,133	2,173	2,160	2,181	2,066	2,283	25,866
血清検査	606	649	700	695	777	742	666	742	752	703	645	713	8,390
生化学検査	2,558	2,495	2,600	2,456	2,636	2,324	2,420	2,595	2,590	2,597	2,401	2,593	30,265
細菌													
細菌検査	124	105	134	173	176	159	163	210	165	163	134	169	1,875

前年度実績と比較すると、生理機能検査においては、すべての検査件数が前年度を上回っています。検体検査においては、病理・細胞診検査も前年度を上回っており、生化学・尿・血液検査が前年実績を下回り、その他の検体検査は増加する傾向でした。

まとめおよび今後の課題

採血および検体採取など、検査技師が対応可能な処置室業務について引き続き協力体制を整え迅速な業務運営ができるようにします。

コミュニケーションを図れる職場づくりに努めます。

検査機器では今後老朽化機器の更新として、入替え機器の選定が必要となります。

今後の課題として各検査技師の質の向上とモチベーションアップを目指し、各々が抱えている問題点を探り、いかに解決の方向へ導くかが重要と考えます。

栄養課

天野 美鶴

取り組み事項

患者満足度の向上

- ・新厨房の建築と給食委託業者変更の準備
- ・在宅患者への訪問栄養指導

チーム医療の推進

- ・NST、褥瘡回診への積極的な参加と緩和チームの一員としての活動
- ・肝臓病教室の定期的開催
- ・入院時カンファレンスへの参加
- ・退院時カンファレンスへの参加

管理栄養士個人のレベル向上

- ・課内での勉強会を継続
- ・学会、研修会への積極的な参加
- ・気になることは調べ、相談する

実績報告

【栄養指導数】

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来初回	15	13	9	8	10	7	12	14	6	10	12	8	124
外来２回目以降	48	64	47	56	38	46	61	47	62	50	50	54	623
外来透析初回					1	4	1		4				10
外来透析２回目以降	10	13	7	3	14	10	3	16	27	5	3	2	113
入院初回	32	32	43	35	35	28	35	29	32	34	21	22	378
入院２回目以降	13	3	8	16	11	6	6	5	5	4	8	5	90
非加算	7	5	5	6	5	8	7	3	1	3	4	6	60
ドック	12	10	15	16	18	14	18	20	17	16	15	10	181
訪問									2	2			4
合計	137	140	134	140	132	123	143	134	156	124	113	107	1,583

【入院食数】

単位：食

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般食	8,228	8,491	7,727	7,558	7,941	8,729	8,165	7,280	6,884	7,681	7,247	9,102	95,033
経管栄養	385	430	458	128	286	401	1,025	1,040	897	887	712	402	7,051
治療食	5,067	4,393	5,289	5,207	4,493	4,404	4,333	4,007	4,845	4,823	4,535	5,296	56,692
合計	13,680	13,314	13,474	12,893	12,720	13,534	13,523	12,327	12,626	13,391	12,494	14,800	158,776

まとめおよび今後の課題

従来、未算定での在宅訪問栄養指導を数回実施していましたが、在宅訪問栄養指導（介護保険での居宅療養管理指導）体制を整備し、居宅療養管理指導加算を算定することができました。

個人のレベル向上として、日本静脈経腸栄養学会北陸支部学術集会、栄養管理食育研究会、日本栄養改善学会北陸支部学術総会で演題発表ができました。特に、栄養管理食育研究会での演題発表について推薦を受け日本栄養改善学会北陸支部学術総会で発表できたことは、光栄なことでした。

また本年度は、新厨房の建築と給食委託業者変更に伴う準備を行い、大きな問題もなく移行できました。しかし、変更に伴い食事内容に関して対応できなくなった部分があります。そこを新業者と検討し、更に患者サービス向上につなげられるように努力していきたいと考えます。

薬剤課

吉田 明弘

取組み事項

- ・ 病棟常駐に向けた取組み
- ・ チーム医療への積極的参加
- ・ 監査、調剤ミスの減少
- ・ 薬剤師の確保
- ・ 注射薬の払い出しと電子カルテ実施の検証
- ・ 後発医薬品の採用の促進
- ・ 有効性・安全性向上のための処方監査徹底
- ・ 医薬品情報の収集、伝達
- ・ 医薬品安全管理責任者業務の取組み強化

実績報告

【処方箋数】

単位：枚

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院外	6,159	6,289	6,434	6,171	6,614	5,846	6,549	6,252	6,433	6,411	5,781	6,224	75,163
院内	211	339	249	274	233	206	196	195	267	484	218	206	3,078
外来合計	6,370	6,628	6,683	6,445	6,847	6,052	6,745	6,447	6,700	6,895	5,999	6,430	78,241
入院処方箋	2,227	2,184	2,295	2,117	2,086	2,031	2,256	2,076	2,334	2,298	2,123	2,495	26,522
入院注射箋	1,539	1,398	1,245	1,147	1,436	1,491	1,564	1,279	1,145	1,193	1,204	1,324	15,965
入院合計	3,766	3,582	3,540	3,264	3,522	3,522	3,820	3,355	3,479	3,491	3,327	3,819	42,487

【服薬指導数】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤管理指導料1	125	121	119	149	119	109	132	120	125	120	119	143	1,501
薬剤管理指導料2	87	90	99	81	105	78	96	98	73	91	95	91	1,084
退院時薬剤情報 管理指導料	60	65	72	73	69	69	71	63	60	55	57	62	776
麻薬管理指導加算	6	14	14	4	7	6	12	8	8	6	5	2	92
合計	278	290	304	307	300	262	311	289	266	272	276	298	3,453

保険請求点数（点）	81,475	81,780	84,575	89,715	85,905	73,280	88,350	83,520	77,025	80,425	81,475	89,595	997,120
-----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

【持参薬確認数】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
持参薬確認数	118	93	115	132	143	119	125	110	118	128	111	128	1,440

【化学療法混合調製数】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
無菌製剤処理料1（閉鎖式）	1	1		1	1	1		3	2	2	1		13
無菌製剤処理料1（閉鎖式以外）	16	15	14	15	12	11	16	11	20	21	18	17	186

【TDM（特定薬剤治療管理料）数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
TDM 数（件）	2						1						3
保険請求点数（点）	940						470						1,410

【前年度と今年度の比較（1 か月平均）】

	2017 年度	2018 年度
処方箋数（枚）		
院外	6,489.6	6,263.6
院内	246.4	256.5
外来合計	6,736.0	6,520.1
入院処方箋	2,363.5	2,210.2
入院注射箋	1,671.8	1,330.4
入院合計	4,035.3	3,540.6
服薬指導数（件）		
薬剤管理指導料 1	89.7	125.1
薬剤管理指導料 2	80.2	90.3
退院時薬剤情報管理指導料	59.8	64.7
麻薬管理指導加算	4.7	7.7
合計	234.3	287.8
保険請求点数（点）	65,738.3	83,093.3
持参薬確認数（件）	103.5	120.0
無菌調製処理料 1（閉鎖式）（件）	1.8	1.1
無菌調製処理料 1（閉鎖式以外）（件）	26.3	15.5
TDM（特定薬剤治療管理料）数（件）	0.3	0.3

まとめ

新卒薬剤師が1名入職した。教育が順調に進み、服薬指導数は前年度平均より22.8%増加した（保険請求点数126.4%）。

後発医薬品の採用切替えを積極的に行い、後発品使用量割合70%越えの算定から2019年1月より80%越えの算定にランクアップすることができた。

医師のオーダーを薬剤師の視点で調剤前に点検する文化が根付き、全オーダーを点検し、活発な疑義照会を行い有効性、安全性の向上に努めている。また前年同様にチーム医療としてNST、ICT、医療安全、さらに緩和ケアに参加してきた。診療科の追加や診療変化、新薬の発売やガイ

ドライン等に対応できるよう幅広い知識の習得とともに総合力、経験の必要性を感じている。2A、3Bの一般病棟で病棟常駐を継続しており、診療報酬を得るためにはさらにストレスケア病棟の常駐が求められている。新人の育成が完了次第、ストレスケア病棟の常駐を開始してより良い薬物治療となるよう入院治療に貢献したい。

医薬品卸業者によるSPDにより、部署払い出し管理をしている。この部署払い出し管理と電子カルテ内の薬剤実施記録の突合点検を注射剤に関して毎月検証をしているが大きな差はない。引き続き検証作業を続けていく。

臨床工学課

岸上 香織

取組み事項

機器管理業務

- ・呼吸支援装置治療支援システム（帝人社 ネムリンク）運用開始
- ・300L 酸素ボンベカート、バルブ購入。院内貸出開始（5月～）
- ・カテ室の電気メス使用前点検開始（5月～）
- ・300L 酸素ボンベカート、バルブ購入。院内貸出開始（7月～）
- ・人工呼吸器院内保有 3 台→1 台へ削減。2 台目はレンタル対応（12月～）

透析業務

- ・人工血管用シャント肢消毒薬クロルヘキシジン綿棒→脱脂綿へ変更。コストダウンを図る。
- ・患者毎、体重管理シート作成
- ・透析液溶解装置内部設定見直し（月 12 回以上実施可能患者：79 名→約 81 名）

手術室業務

- ・清潔操作の一部介助を開始（1月～）

実績報告

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日常点検の確実な実施													
輸液ポンプ返却時点検	60	95	79	79	84	85	85	76	79	75	60	68	925
シリンジポンプ返却時点検	20	40	37	37	26	28	28	26	23	26	28	25	344
麻酔器日常点検	22	18	22	22	17	11	10	16	12	17	11	17	195
人工呼吸器（NPPV 含む）													
返却時点検数（ハミルトンのみ）	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	13
使用中点検数	1	不使用	4	4	8	5	19	28	24	35	15	19	162
定期点検													
輸液ポンプ		5	30					9	26				70
シリンジポンプ					25						24		49
透析液清浄化													
透析液水質確保加算（10 点）	911	999	972	1,002	1,012	945	1,048	1,011	999	1,084	956	1,035	11,974
特殊血液浄化													
LDL-A 等	1	1	8	4	1	2	1	1	1	1	1	1	23
手術立会い													
手術立会い件数	22	20	19	19	26	11	23	18	12	16	14	25	225

今後の課題

非透析日にシャントエコー実施のため来院される患者の負担を軽減するため、透析日に実施できる体制を整備する。

また、院内および他院への情報共有のためシャント情報シートを作成する。

医療連携センター

武田 尚美

取組み事項

- ・ 紹介患者増加の推進
- ・ 医師の事務作業軽減・協力への取組み
- ・ 紹介転院患者の受入れ
- ・ 医療と介護の連携推進 入退院支援体制の充実（入退院支援加算、介護連携指導等）
- ・ 地域連携パスを通しての連携（脳卒中パス・大腿骨頸部骨折パス会議への参加）
- ・ 福井市第一医師会市民公開講座への協力

実績報告

紹介目的別紹介数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	9	11	15	13	15	20	19	24	15	14	18	12	185
診察	112	142	134	106	98	86	115	91	121	102	99	123	1,329
処置	9	6	3	6	5	6	4	7	6	2	4	4	62
リワーク デイ・ケア	4	2	1	4	6	4	7	4	3		3	3	41
放射線	27	32	44	24	30	32	25	17	29	25	44	30	359
入院	14	13	7	12	18	12	13	16	7	10	8	25	155
転院	16	13	16	17	29	27	17	14	22	25	26	14	236
合計	191	219	220	182	201	187	200	173	203	178	202	211	2,367

逆紹介転院数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
逆紹介転院	10	10	11	8	1	1	20	8	9	7	11	4	100

連携パス紹介数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳卒中	6	2	4	9	4	5	2	2	3	6	2	2	47
大腿骨頸部骨折	4	1	3	2	5	4	3		1	2	5	3	33
合計	10	3	7	11	9	9	5	2	4	8	7	5	80

入・転院受入れ相談

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入・転院受入れ相談	19	17	15	17	22	23	25	18	16	29	23	15	239

渉外活動

- ・ 年末年始挨拶
- ・ 顔の見える連携 情報交換訪問 217 件
- ・ 施設病院間の情報交換会

2018 年 7 月 25 日（水） 41 名参加（院外 31 名、院内 20 名）

「スキンケア」について 福井厚生病院 皮膚排泄ケア認定看護師 宮腰心
「療養病棟の現状と今後の動向」 田中病院 社会福祉士 反保智史先生
グループディスカッション

2019 年 3 月 19 日（火） 52 名参加（院外 34 名、院内 18 名）

「地域包括ケアシステムにおける救急総合診療医の役割と野望」
福井厚生病院 救急・総合診療科 内山崇医師
グループディスカッション

- ・ 第 15 回福井第一医師会市民公開講座 ～肥満対敵！！～ 11 月 17 日（土） 113 名参加
「甘くない糖尿病のお話」 福井中央クリニック 内科部長 笈田 耕治医師
「肥満から脂肪肝・肝がんへ」 福井厚生病院 名誉院長 山本 誠医師
- ・ 医療連携勉強会・懇親会開催 12 月 1 日（土）
症例発表
「内分泌のお話」 福井厚生病院 内分泌・代謝・糖尿病内科 藤井美紀医師
「失神について」 福井厚生病院 循環器科 宮永大医師

退院調整に伴う加算

単位：件

	点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院支援加算	600	51	60	53	52	63	50	71	51	47	26	38	64	626
介護支援連携指導料	400	37	51	28	40	47	42	42	31	29	40	43	53	483
精神保健福祉士配置加算	30	1,112	1,160	1,121	1,068	962	979	1,038	1,013	1,069	1,043	885	1,038	12,488
地域連携診療計画加算	300	9	5	7	4	3	14	9	3	5	5	1	5	70
退院時共同指導料 2	400	5	1	1		2		3	1				1	14
保険医等 3 者以上 共同指導加算	2,000			1		1								2

相談業務

- ・週3回（月・水・金）に行う「入院時カンファレンス」で、入院患者の早期の情報交換を関係スタッフ間で行い、退院時の課題を予測することで、入院中の看護や医療ケアの共通認識につながり、退院調整に有益となっている。
- ・2F病棟を除く4病棟において、3名の医療ソーシャルワーカー（MSW）と1名の退院調整看護師を配属し、入院日より情報を捉え、本人に携わる関係スタッフと密な情報交換を行えるような体制となっている。
- ・入職3年以下の新人ソーシャルワーカーに対し、5年目以上のスタッフが指導者となって毎月勉強会を実施。面接技術や記録、アセスメントを中心に、相談業務におけるソーシャルワーカーの専門性向上にむけ取り組んでいる。
- ・毎朝、それぞれの病棟 MSW からの申し送りと本日の予定を確認し、病院全体の退院調整の状況を医療連携センター全体で把握することでベットコントロールの全体的状況を把握することができている。

まとめ

- ・4月からメディカルネット開示病院となって、医療連携センターにて患者様への説明及び開示登録を一括して行うようになり、職員への周知もスムーズにできた。
- ・4月より、予約入院案内を行う際に、入院前支援として対象患者さまへ担当 MSW と看護師が説明を行うようになり、更に患者さまとの関りを持てるようになった。
- ・8月より、転院調整の強化として、医療機関から依頼を受けた時点で得る情報収集を、より詳細化した転院相談受付票にまとめ、転院前面談を省略し転院までの日程のスピードアップを図った。
- ・地域包括ケア体制の構築に向け、急性期から在宅に到るまでの機関間・職種間の連携が更に求められている。地域包括ケアシステムの中で役割を果たせるよう、今後も地域に開かれた医療連携センターとして院外の病院、診療所との連携や介護事業所との交流を深め、更なる連携強化に努めていきたい。

健康増進センター

北 泰郎

事業実績

受診者月別実績および前年度比較

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
協会けんぽ															
院内	2017	645	543	548	470	422	473	454	534	444	449	436	292	5,710	86.0%
	2018	498	494	567	476	409	451	432	463	360	293	306	159	4,908	
巡回	2017	305	586	1,214	452	314	698	940	912	208	171	162	157	6,119	103.9%
	2018	369	491	1,120	504	351	786	849	963	234	253	286	154	6,360	
人間ドック															
1 日	2017	140	253	306	300	343	305	323	312	319	296	287	167	3,351	98.9%
	2018	128	233	295	269	339	271	348	329	310	329	294	170	3,315	
2 日	2017	15	20	21	21	24	20	17	19	17	21	16	12	223	79.8%
	2018	12	10	13	16	17	14	18	20	17	16	15	10	178	
定期健康診断															
院内	2017	209	232	279	317	297	264	355	277	217	114	130	177	2,868	113.3%
	2018	268	306	313	404	252	307	366	307	240	167	171	148	3,249	
巡回	2017	1,083	2,376	3,184	2,389	2,738	1,558	2,245	2,231	682	922	567	654	20,629	94.0%
	2018	1,047	2,403	2,845	2,367	2,772	1,269	2,277	2,069	610	251	822	666	19,398	

- ・人間ドックにおいて受診者数は前年比 81 人減であった
- ・巡回健診において協会けんぽ、定期健康診断併せて新たに 5 社と契約した
- ・ストレスチェック実施（64 事業所 8,694 人実施）

事後指導実績

院内健診、巡回健診にて胃がん・胸部 X 線・大腸がん検査の有所見者に対し二次検診を積極的に勧め、当院での受診に繋げた。

検査名	受診者総数	有所見者数	当院精検受診者数*
胃がん検査（X 線造影）	4,639 人	231 人	32 人
胸部 X 線検査	33,801 人	716 人	97 人
大腸がん検査（便潜血）	16,391 人	837 人	70 人

*当院精検受診者数については巡回健診および人間ドックの計とする

総括

- ・内視鏡枠の縮小による売上の落込みを健診単価アップ等によりカバーした
- ・来年度に向け、人間ドックの受入れ数、更なる単価アップ、巡回健診における新規企業の契約獲得を目標とする

介護事業部

林 眞智子

取組み事項（年度目標）

【魅力ある介護事業の継続】

医療と福祉を融合したトータルケア

新規事業所の早期安定化

- ・ 介護職員の資質向上
- ・ 人材確保

経営参画

- ・ 介護事業部全体の収入実績は目標の 99.5%、件数は目標の 97.3%となり、減少傾向が続いたものの、減少幅はやや改善した。
- ・ サービス付き高齢者向け住宅「すまいる・厚生」は重度の介護度や医療依存度の高い方がおられるため、入院や入退室はあるが、51 室（入居者数 52 名）ほぼ満室状態である。
- ・ 看護小規模多機能型居宅介護「あったかホームひまわり」は、登録目標数 27 名のところ、平均利用者登録数が 26.9 名となり、ほぼ目標を達成した。「あったかホームひまわり」の収入実績は目標の 115%、登録数は目標の 99.7%となった。
- ・ 4 月の介護報酬改定で、通所系は基本単価が 5%ダウンとなったが、新たな加算要件を満たすことや利用者増を図ることで、「通所リハビリセンター」と「デイサービスさくら」で収入実績が前年対比・計画対比で 100%を超えた。
- ・ 職員定数配置を確認しながら採用を行うことで、各事業所の職員数にバラツキが少なくなっているが、退職職員の補充が追い付いていない状況である。

まとめ

今年度も、さくら・ひまわりグループ合同でグループ長会議・管理者会議を開催し、情報を共有し・経営状況の分析結果を基に意見交換・対応策を検討している。

また、「デイサービスさくら」を、看護小規模多機能型居宅介護「あったかホームさくら」に事業所形態を変更するにあたり、大野市役所との調整・今の利用者様が継続して利用して頂けるかなど、家族やケアマネジャーと相談しながら進めていった。看護小規模多機能型居宅介護の公募（東足羽圏域）に応募し、8 月 8 日に選定、「あったかホームひまわりサテライト」開設に向けての補助金申請や建築業者・備品購入等の準備を行なった。

また職員の退職に伴い、中央在宅介護支援事業所を休止（11 月 1 日～年 3 月 31 日）し、厚生病院介護保険相談センターに業務を統合した。

実績および前年比

単位：件

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018
包括支援 東足羽包括支援センター	170	198	172	192	170	200	177	203	168	208	183	212	183	214
居宅介護支援	523	490	533	503	532	497	525	490	515	491	521	470	520	459
介護保険相談センター	185	165	191	165	183	158	186	157	178	157	182	167	175	245
中央在宅介護支援	143	131	143	133	141	131	140	127	140	125	140	93	140	—
さくら在宅介護支援	195	194	199	205	208	208	199	206	197	209	199	210	205	214
訪問看護	1,424	1,629	1,525	1,716	1,550	1,621	1,544	1,637	1,608	1,698	1,640	1,518	1,686	1,694
ひまわりステーション	802	906	828	959	864	893	858	880	847	910	880	775	926	905
美山サテライト	269	224	279	218	269	185	283	195	250	210	247	205	247	205
さくらステーション	353	499	418	539	417	543	403	562	511	578	513	538	513	584
訪問介護 さくらのヘルパーさん	1,192	1,176	1,267	1,271	1,196	1,223	1,210	1,273	1,144	1,127	1,120	1,147	1,119	1,245
通所リハビリ・通所介護	3,026	2,941	3,136	3,152	3,170	3,057	3,162	2,998	3,222	2,935	3,169	2,751	3,190	3,055
通所リハビリセンター	965	960	1,082	1,020	1,032	968	1,025	944	1,001	949	1,012	863	1,039	1,025
さくらの家	791	767	765	807	848	791	837	784	878	775	859	733	828	763
ぶる～夢森目	854	797	881	862	871	843	879	810	925	770	893	704	912	767
ほっとかん	416	417	408	463	419	455	421	460	418	441	405	451	411	500
認知症通所介護 デイサービスさくら	212	224	214	251	236	236	228	233	187	260	191	242	175	268
看護小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわり(登録数)	28	26	28	29	29	27	27	29	28	27	29	26	29	26
グループホーム	1,070	1,063	1,094	1,108	1,062	1,050	1,098	1,020	1,047	984	988	959	1,012	1,008
匠	533	540	552	558	540	539	558	521	550	540	508	534	543	549
さくら日和	537	523	542	550	522	511	540	499	497	444	480	425	469	459
サービス付き高齢者向け住宅 すまいる・厚生(人)	51	50	51	50	52	52	52	52	52	52	52	50	52	50

	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合計		前年度 比較	対前年 度比
	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018	2017	2018		
包括支援 東足羽包括支援センター	180	224	180	228	178	225	176	234	187	228	2,124	2,566	442	120.8%
居宅介護支援	506	452	499	457	484	433	485	427	491	438	6,134	5,607	▲527	91.4%
介護保険相談センター	168	241	166	243	160	231	158	227	162	235	2,094	2,391	297	114.2%
中央在宅介護支援	138	—	133	—	134	—	130	—	130	—	1,652	740	—	—
さくら在宅介護支援	200	211	200	214	190	202	197	200	199	203	2,388	2,476	88	103.7%
訪問看護	1,624	1,712	1,649	1,549	1,499	1,530	1,296	1,505	1,682	1,640	18,727	19,449	722	103.9%
ひまわりステーション	885	888	908	815	818	850	674	842	907	915	10,197	10,538	341	103.3%
美山サテライト	246	247	251	188	215	163	170	171	226	217	2,952	2,428	▲524	82.2%
さくらステーション	493	577	490	546	466	517	452	492	549	508	5,578	6,483	905	116.2%
訪問介護 さくらのヘルパーさん	1,129	1,255	1,011	1,184	966	1,002	929	900	1,109	967	13,392	13,770	378	102.8%
通所リハビリ・通所介護	3,120	2,953	3,122	2,789	2,681	2,611	2,284	2,706	3,122	2,971	36,404	34,919	▲1485	95.9%
通所リハビリセンター	974	1,018	1,018	1,023	850	982	718	1034	1,034	1,119	11,750	11,905	155	101.3%
さくらの家	810	714	819	679	724	579	640	597	807	647	9,606	8,636	▲970	89.9%
ぶる～夢森目	886	764	836	688	731	622	604	621	836	737	10,108	8,985	▲1123	88.9%
ほっとかん	450	457	449	399	376	428	322	454	445	468	4,940	5,393	453	109.2%
認知症通所介護 デイサービスさくら	190	261	203	262	190	241	159	218	200	228	2,385	2,924	539	122.6%
看護小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわり(登録数)	28	28	27	27	28	26	27	27	26	25	334	323	▲11	96.7%
グループホーム	981	1,015	1,071	1,079	1,102	1,114	993	1,001	1,080	1,084	12,598	12,485	▲113	99.1%
匠	524	531	556	533	558	558	490	504	545	527	6,457	6,434	▲23	99.6%
さくら日和	457	484	515	546	544	556	503	497	535	557	6,141	6,051	▲90	98.5%
サービス付き高齢者向け住宅 すまいる・厚生(人)	52	50	52	50	52	51	51	51	51	50	620	608	▲12	98.1%

医療法人 厚生会 福井厚生病院

2018 年度年報

発行日 2019 年 10 月 29 日

発 行 医療法人 厚生会 福井厚生病院
〒918 - 8537 福井市下六条町 201 番地
TEL 0776 - 41 - 3377 (代表)



FUKUI KOSEI HOSPITAL